この説明書は古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/



Sony Corporation Printed in Japan

2-891-218-**06** (1)

SONY

Data Projector

簡易説明書	JP
Quick Reference Manual	GB
Guide de référence rapide	FR
Manual de referencia rápida	ES
Kurzreferenz	DE
Guida rapida all’uso	IT
快速参考手册	CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と別冊の「安全のために」および付属の CD-ROM に入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-FE40/FE40L/FX40/FX40L
VPL-FX41/FX41L/FW41/FW41L

付属の説明書について

本機は、以下の説明書とソフトウェアを付属しています。
Macintosh では、取扱説明書と特約店様用設置説明書のみご覧いただけます。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（本書）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（CD-ROM に収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク編）（CD-ROM に収録）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

特約店様用設置説明書（CD-ROM に収録）

別売レンズの取り付け方法や詳細な設置情報が記載されています。

ソフトウェア（CD-ROM に収録）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（日本語・英語のみ）

コンピューターの画像をプロジェクターへ転送するためのアプリケーションソフトウェアです。

この説明書について

この説明書では、本機を接続してから映すまでの簡単な操作方法を説明しています。
また使用上のご注意やメンテナンスの際に必要な情報が記載されています。
操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。
また安全のための注意事項は、別冊の「安全のために」をご覧ください。

本説明書で特に注記のない場合、FE40 は FE40/FE40L、FX40 は FX40/FX40L、FX41 は FX41/FX41L、FW41 は FW41/FW41L を指します。

CD-ROM 取扱説明書の見かた

付属の CD-ROM には、ReadMe、取扱説明書および特約店様用設置説明書が収録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語）。まず最初に ReadMe をご覧ください。

準備

付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader5.0 以降が必要です。Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。（無料）

取扱説明書を読むには

付属のCD-ROMを、コンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROMが自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROMの中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROMが自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

(Windowsの場合)

① 「マイコンピュータ」を開く。
② 「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

(Macintoshの場合)

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
② 「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htmファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- MacintoshはApple Inc.の米国及びその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国及び各国での登録商標です。

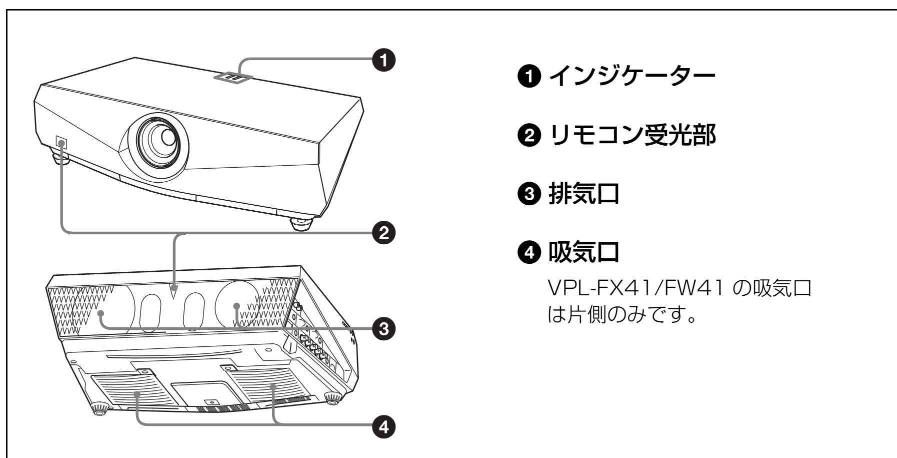
その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中でTM、®マークは明記しておりません。

JP

使用上のご注意

吸気・排気口についてのご注意

吸気・排気口をふさがないでください。吸気・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。以下イラストにて吸気・排気口の位置をご確認ください。



画像を映す

接続する

接続するときは

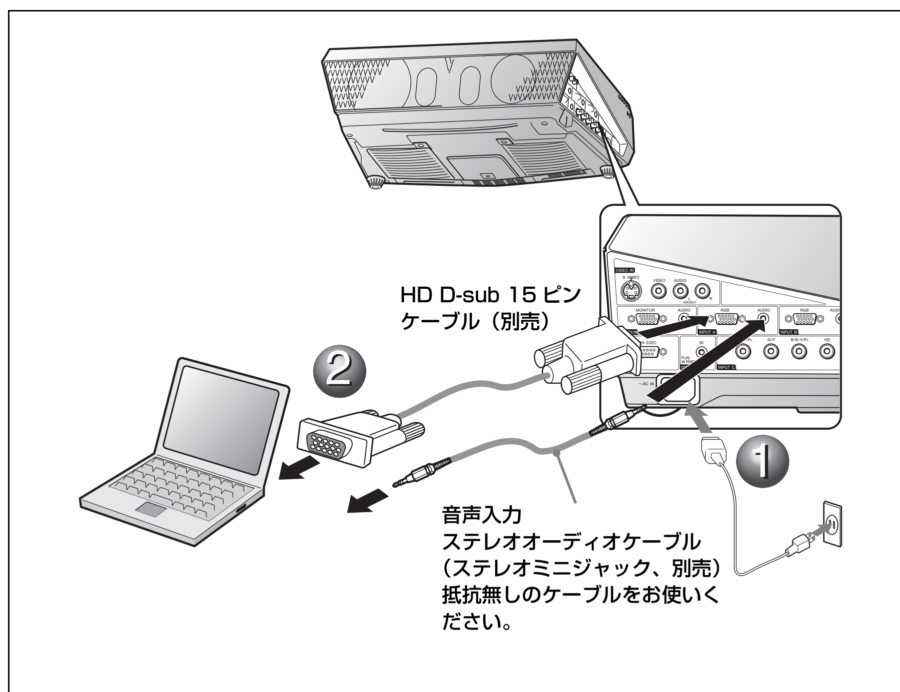
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューター（アナログ）との接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

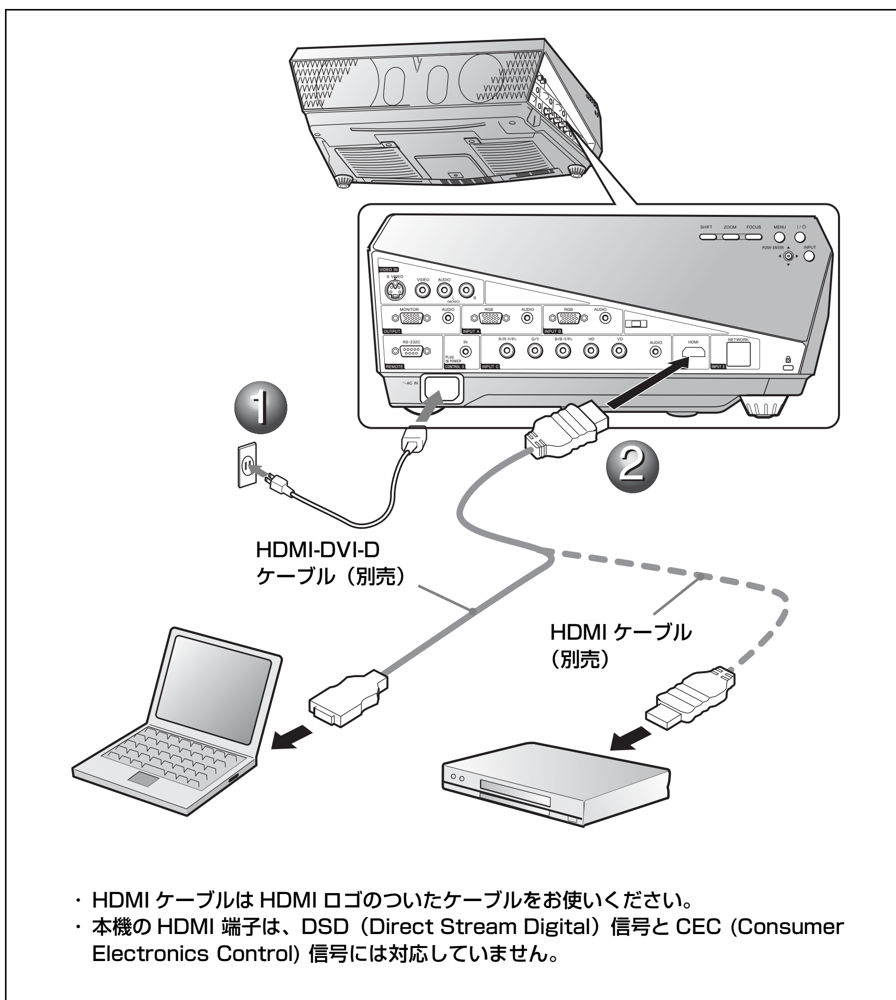
❷ 本機とコンピューターをケーブルでつなぐ。



コンピューター（デジタル）やビデオ機器（デジタル）との接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

❷ 本機とコンピューターやビデオ機器をケーブルでつなぐ。

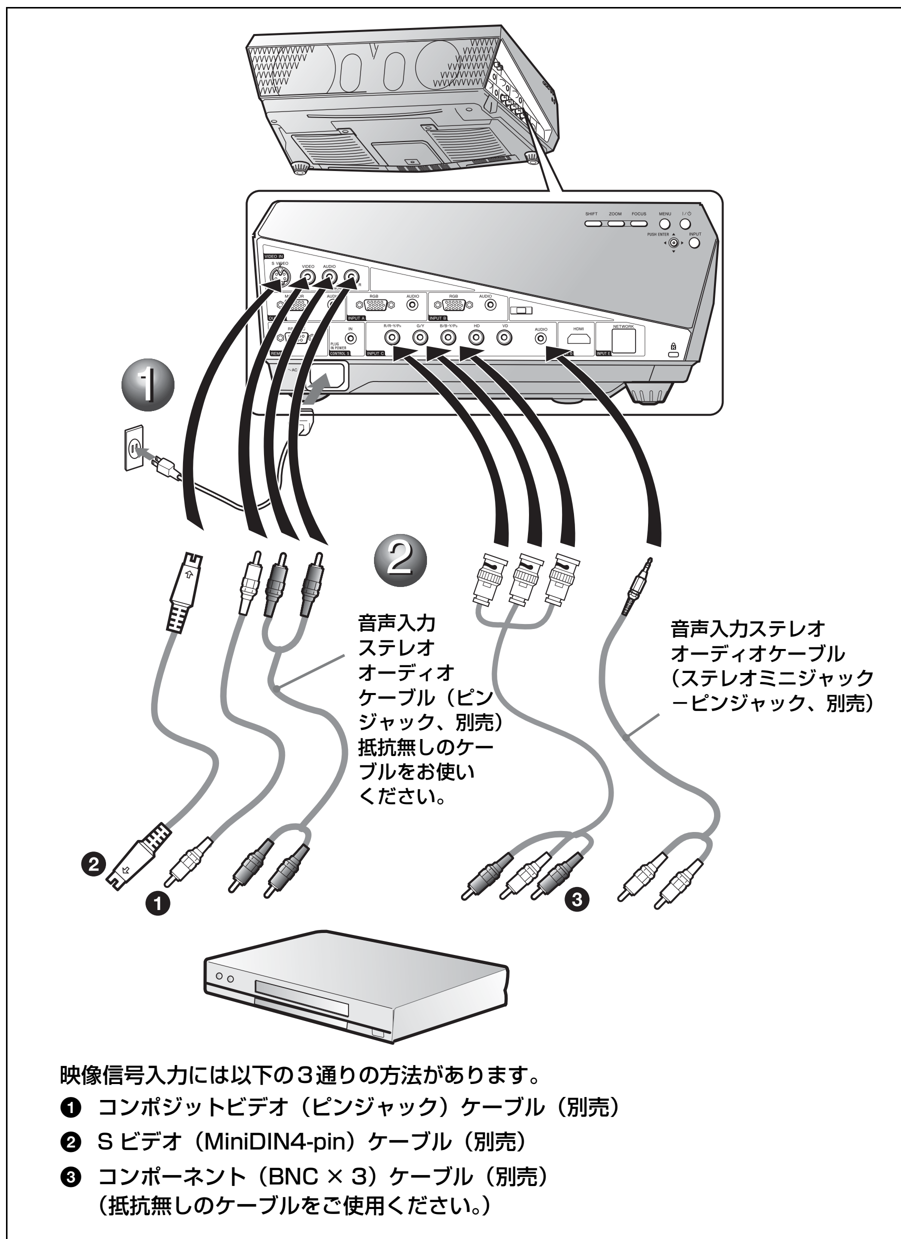


・ HDMI ケーブルは HDMI ロゴのついたケーブルをお使いください。
・ 本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

ビデオ・DVD 機器との接続

❶ 本機の電源ケーブルをコンセントに差し込む。

❷ 本機とビデオ機器をケーブルでつなぐ。



映像信号入力には以下の３通りの方法があります。

❶ コンポジットビデオ（ピンジャック）ケーブル（別売）

❷ S ビデオ（MiniDIN4-pin）ケーブル（別売）

❸ コンポーネント（BNC × 3）ケーブル（別売）
（抵抗無しのケーブルをご使用ください。）

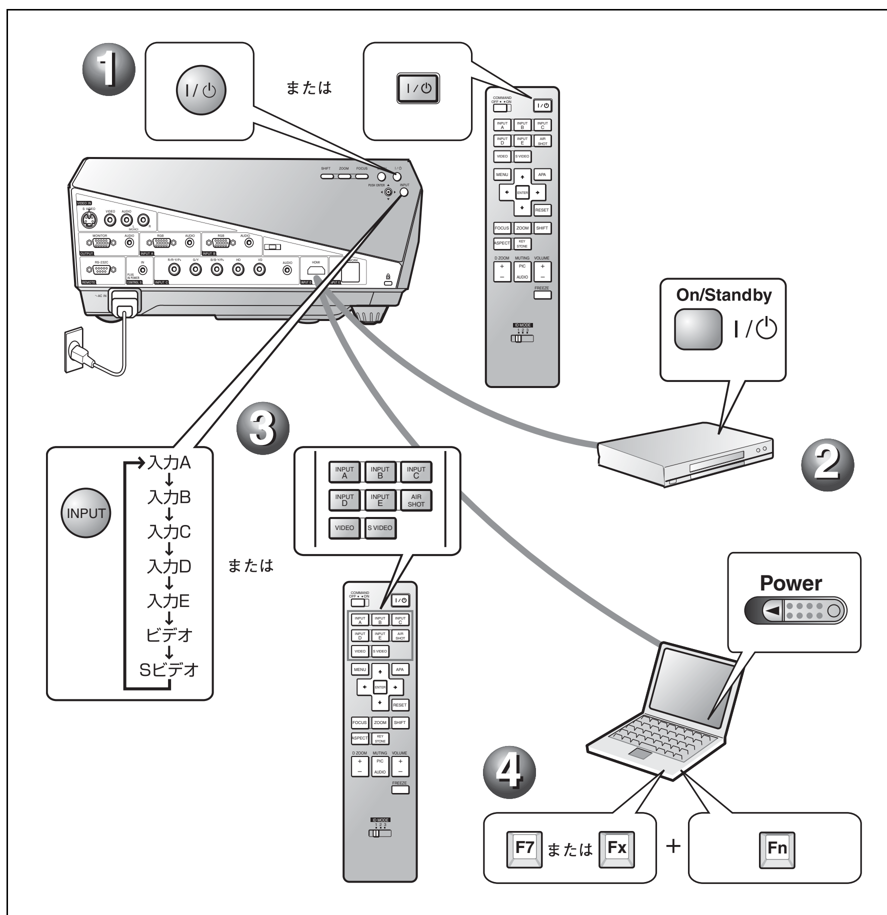
映す

❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

❸ リモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

❹ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。



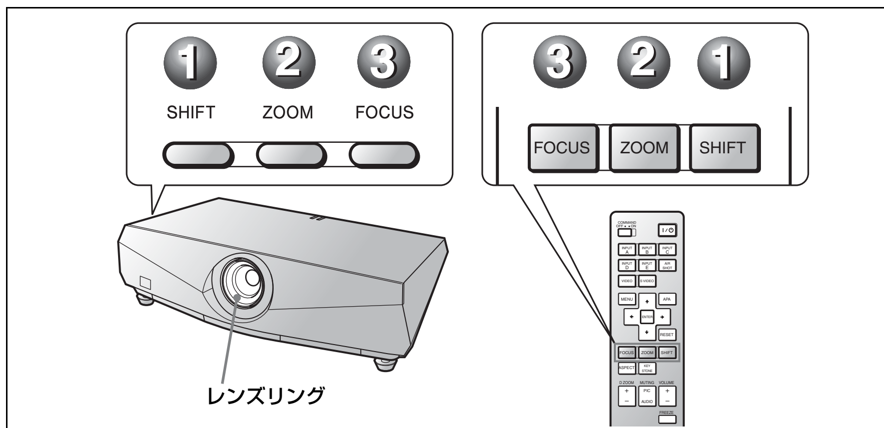
調整する

❶ **画像の上下左右の位置を調整する。**

❷ **画像の大きさを調整する。**

❸ **画像のフォーカスを調整する。**

画質モードを選べる画質設定メニューや、最適な画面のアスペクト比（縦横比）を選べるスクリーン設定メニューがあります。



ご注意

・VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L はレンズ別売です。

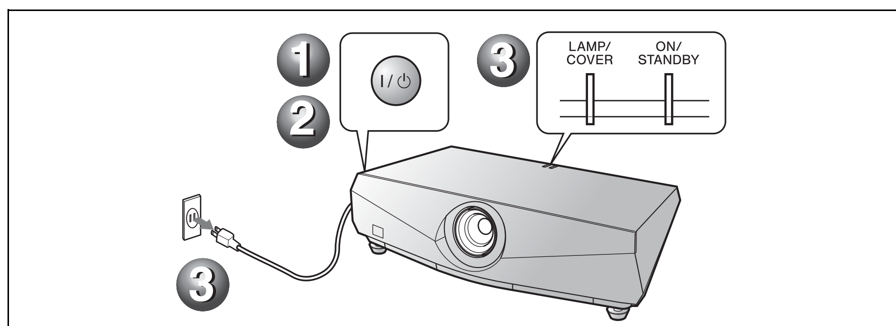
・VPLL-1008 は、シフト、ズーム機能はありません。また、フォーカスはレンズリングを回して調整してください。

電源を切る

❶ **I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。**

❷ **メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。**

❸ **ファンが止まり、ON/STANDBY（オン / スタンバイ）インジケーターが赤く点灯したら、電源コードを抜く。**



ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換し、フィルターを掃除してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点滅したとき（3 回点滅パターンの繰り返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプ LMP-F270 をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切ってから 1 時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

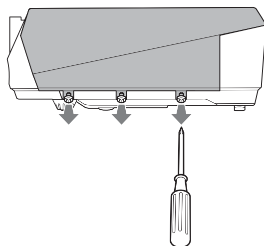
・ランプが破損している場合は、使い方相談窓口にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のノブをつまんで引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に取り出し、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

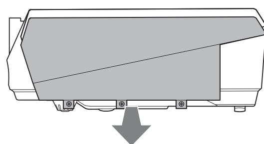
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

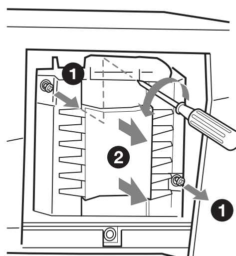
2 ランプカバーのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめる。



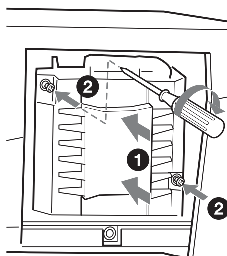
3 本機側面下のスリットに指をかけ、手前に引き上げランプカバーをはずす。



4 ランプのネジ（2 本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ノブをつまんで（❷）ランプを引き出す。



5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2 本）を締める（❷）。



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。

・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを元の位置にもどし、ネジ（3 本）をプラスドライバーで締める。

ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

7 電源コードを接続する。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。

8 I/⏻ キーを押して電源を入れる。

9 MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。

10「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。

メッセージが表示されます。

11「はい」を選び、ENTER キーを押す。

ランプタイマーが 0 に初期化され、「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

12「はい」を選ぶ。

⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

ご注意

メッセージを消す場合は、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

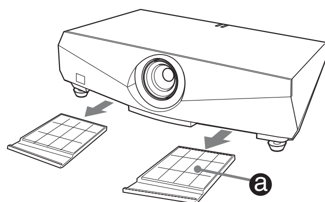
エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。
クリーニング時期は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

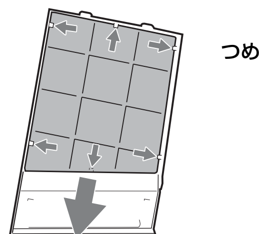
1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーを手前に引き出し取りはずす。

VPL-FX41/FW41 のエアフィルターは片側ⓐのみです。



3 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（6ヶ所）から外す。



4 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

5 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（6ヶ所）にはめて、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。

⚠注意

エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

ご注意

- フィルターを掃除機で掃除しても汚れが落ちないときは、新しいフィルターに交換してください。新しいフィルターについては、お買い上げ店、または使い方相談窓口にご依頼ください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィルターカバーの形に合わせて枠が見えるように入れてください。
- メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキー、または、コントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM 内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約 60 秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。 ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔ INPUT キーで正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔ PIC MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。 ➔ ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数と LCD パネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。

症状	原因と対処
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔ スクリーン設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。
画面がちらつく。	スクリーン設定メニューの「フェーズ」の設定が合っていない。 ➔ スクリーン設定メニューの「フェーズ」の数値を設定しなおしてください。

インジケーター一覧

メッセージ	意味と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ カバーをしっかりはめてください。
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（3 回点滅パターンの繰り返し）	・ランプの交換時期がきた。 ➔ ランプを交換してください。 ・ランプが高温になっている。 ➔ 60 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・内部が高温になっている。 ➔ 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔ 高地モードが「入」に設定されているか確認してください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（4 回点滅パターンの繰り返し）	ファンが故障している。 ・お買い上げ店にご相談ください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（6 回点滅パターンの繰り返し）	電源コードを抜いて、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ・お買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル　VPL-FE40：0.79 インチ（20.1 mm）SXGA+ パネル、441 万画素（1400 × 1050 × 3）
VPL-FX40/FX41：0.79 インチ（20.1 mm）XGA パネル、約 236 万画素（1024 × 768 × 3）
VPL-FW41：0.75 インチ（19.1 mm）WXGA パネル、約 307 万画素（1280 × 800 × 3）

レンズ　1.3 倍電動ズームレンズ
* VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L はレンズ別売

ランプ　275 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40 ～ 600 型（1,016 ～ 15,240 mm）（VPLL-1008 は 60 ～ 300 型（1,524 ～ 7,620 mm））

光出力　VPL-FE40/FX40：4000 lm[1)]
VPL-FX41：5200 lm[1)]
VPL-FW41：4500 lm[1)]
（ランプモード高のとき）

[1)] 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離（床置き）

VPL-FE40/FX40/FX41:
（VPL-FE40 は SXGA+ 入力時、VPL-FX40/FX41 は XGA 入力時）

スクリーンサイズ		距離（m）
型	mm	
40	1,016	1.5 ～ 1.9
60	1,524	2.3 ～ 2.9
80	2,032	3.0 ～ 3.9
100	2,540	3.8 ～ 4.8
150	3,810	5.7 ～ 7.3
200	5,080	7.7 ～ 9.7
300	7,620	11.6 ～ 14.6
400	10,160	15.4 ～ 19.5
500	12,700	19.3 ～ 24.4
600	15,240	23.2 ～ 29.4

（設計値のため多少の誤差あり）

VPL-FW41:
(スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき)

スクリーンサイズ		距離（m）
型	mm	
40	1,016	1.6 ～ 2.0
60	1,524	2.4 ～ 3.0
80	2,032	3.2 ～ 4.1
100	2,540	4.0 ～ 5.1
120	3,048	4.8 ～ 6.1
150	3,810	6.0 ～ 7.7
200	5,080	8.1 ～ 10.2
300	7,620	12.1 ～ 15.4
400	10,160	16.2 ～ 20.5
500	12,700	20.2 ～ 25.7
600	15,240	24.3 ～ 30.8

（設計値のため多少の誤差あり）

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N PAL60 自動／手動切り換え

対応コンピューター信号
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
(最高入力解像度信号 : UXGA 1600 × 1200 fV: 60Hz)

対応ビデオ信号
15k RGB ／コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

外形寸法　532 × 145 × 352 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量	約 9.8 kg（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41） 約 9.0 kg（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L）
電源	AC100 V、4.1 A、50/60 Hz
消費電力	最大 400 W スタンバイ時（標準）：15 W スタンバイ時（低）：0.5W
付属品	リモートコマンダー（1） 単 3 形乾電池（2） レンズキャップ（1）（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41） 電源コード（1） レンズホールカバー（1）（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L） CD-ROM（取扱説明書、アプリケーションソフトウェア）（1） 簡易説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） セキュリティラベル（1）

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-F270（交換用）
プロジェクターサスペンションサポート
PSS-610
プレゼンテーションツール
RM-PJPK1
プロジェクションレンズ
短焦点固定レンズ VPLL-1008
短焦点ズームレンズ VPLL-Z1014
中焦点ズームレンズ VPLL-Z1024
長焦点ズームレンズ VPLL-Z1032

別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

About the Supplied Manuals

The following manuals and softwares are supplied with the projector.
On Macintosh system, you can read only the Operating Instructions and Installation Manual for Dealers.

Manuals

Safety Regulations (separately printed manual)

This manual describes important notes and cautions to which you have to pay attention when handling and using this projector.

Quick Reference Manual (this manual)

This manual describes basic operations for projecting pictures after you have made the required connections.

Operating Instructions (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes the setup and operations of this projector.

Operating Instructions for Network (on the CD-ROM)

This Operating Instructions describes how to set up and operate the network presentation.

Installation Manual for Dealers (on the CD-ROM)

This manual describes the information for mounting the optional lenses on the projector and installing the projector.

Software (on the CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (Japanese and English only)

This is an application software for transmitting data from a computer to the projector.

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the connections and basic operations of this unit, and gives notes on operations and information required for maintenance.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.
For safety precautions, refer to the separate "Safety Regulations."

Unless otherwise specified in notes, the VPL-FE40 described in this manual refers to both the VPL-FE40 and VPL-FE40L, the VPL-FX40 refers to both the VPL-FX40 and VPL-FX40L, the VPL-FX41 refers to both the VPL-FX41 and VPL-FX41L and the VPL-FW41 refers to both the VPL-FW41 and VPL-FW41L.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions, ReadMe file and Installation Manual for Dealers in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish, Chinese and Russian. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.

The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open “My Computer.”

② Right-click the CD-ROM icon and select “Explorer.”

③ Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

Notes

If you cannot open “index.htm” file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in “Operating_Instructions” folder.

On trademarks

- Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Macintosh is a registered trademark of Apple Inc. in the United States and/or other countries.
- Adobe and Acrobat Reader is a registered trademark of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks and registered trademarks are trademarks or registered trademarks of their respective holders. In this manual, ™ and ® marks are not specified.

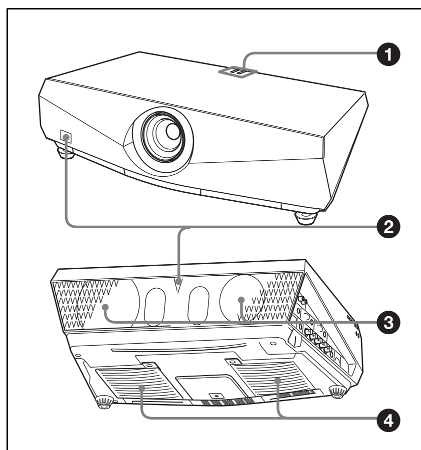
GB

Notes on Use

Note on the Ventilation Holes

Do not block ventilation holes (exhaust/ intake). If they are blocked, internal heat may build up and cause fire or damage to the unit.
Check the positions of the ventilation holes shown in the following illustrations.

For other precautions, read the separate "Safety Regulations" carefully.



❶ **Indicators**

❷ **Remote control detector**

❸ **Ventilation holes (exhaust)**

❹ **Ventilation holes (intake)**
The ventilation hole (intake) of VPL-FX41/ FW41 is on one side only.

Projecting

Connecting the Projector

When you connect the projector, make sure to:

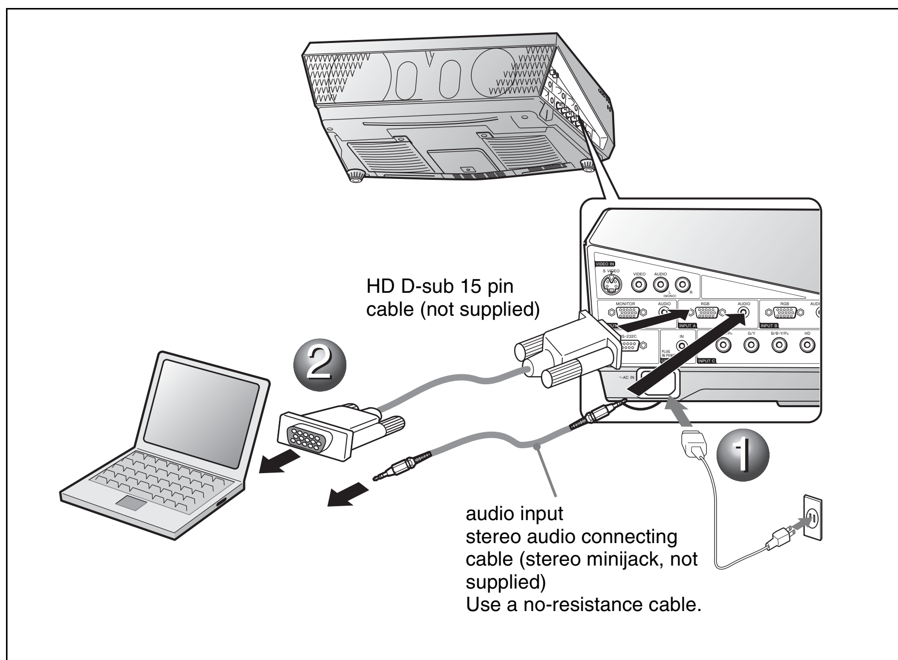
- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.

Refer also to the instruction manual of the equipment to be connected.

To connect a computer (Analog)

❶ Plug the AC power cord into a wall outlet.

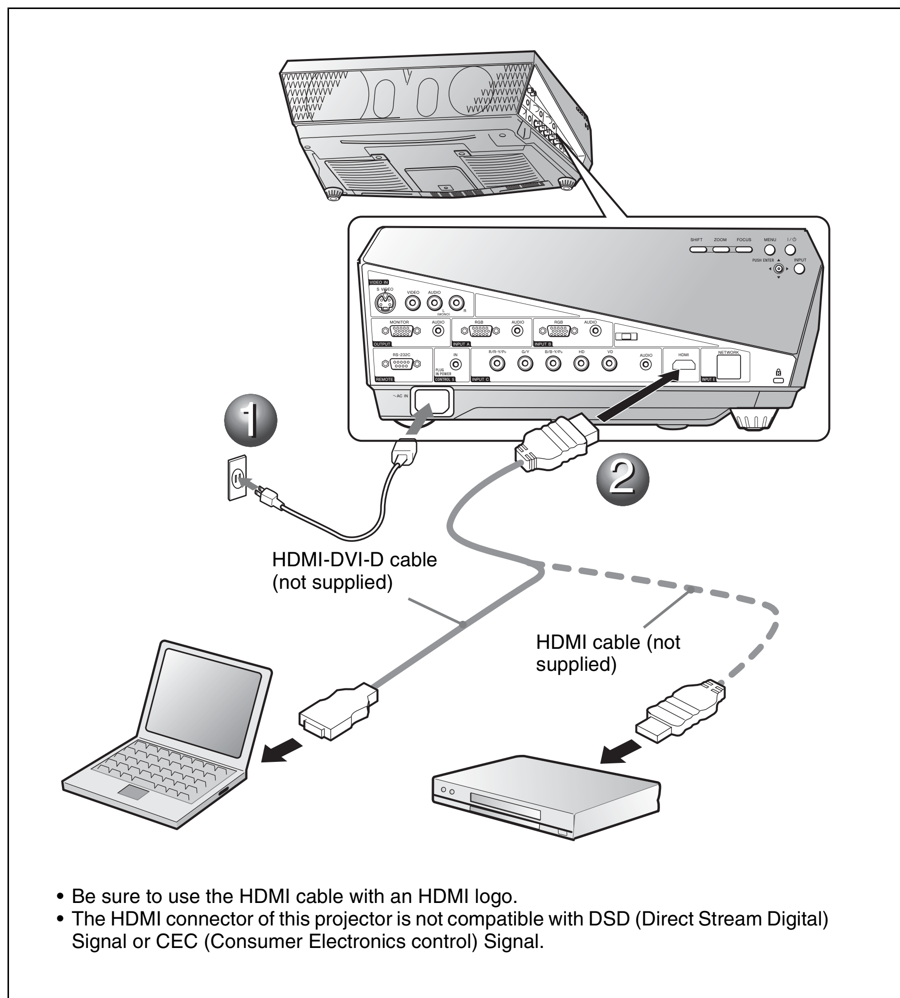
❷ Connect the projector to a computer.



To connect a computer (Digital) or video equipment (Digital)

❶ **Plug the AC power cord into a wall outlet.**

❷ **Connect the projector to a computer or video equipment.**

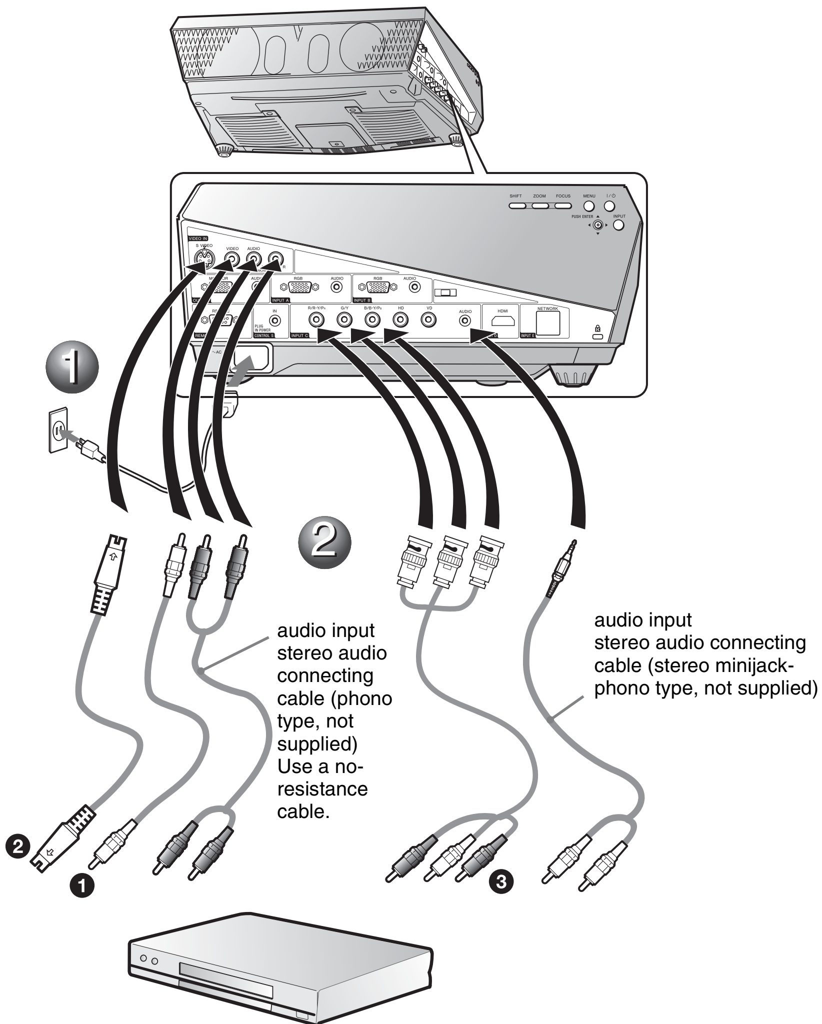


- Be sure to use the HDMI cable with an HDMI logo.
- The HDMI connector of this projector is not compatible with DSD (Direct Stream Digital) Signal or CEC (Consumer Electronics control) Signal.

To connect a VCR/DVD player

❶ **Plug the AC power cord into a wall outlet.**

❷ **Connect the projector to a video equipment.**



For video signal connections, the following three connecting options are available:

❶ Composite video (phono plug) cable (not supplied)

❷ S video (Mini DIN 4-pin) cable (not supplied)

❸ Component (BNC × 3) cable (not supplied) (Use a no-resistance cable)

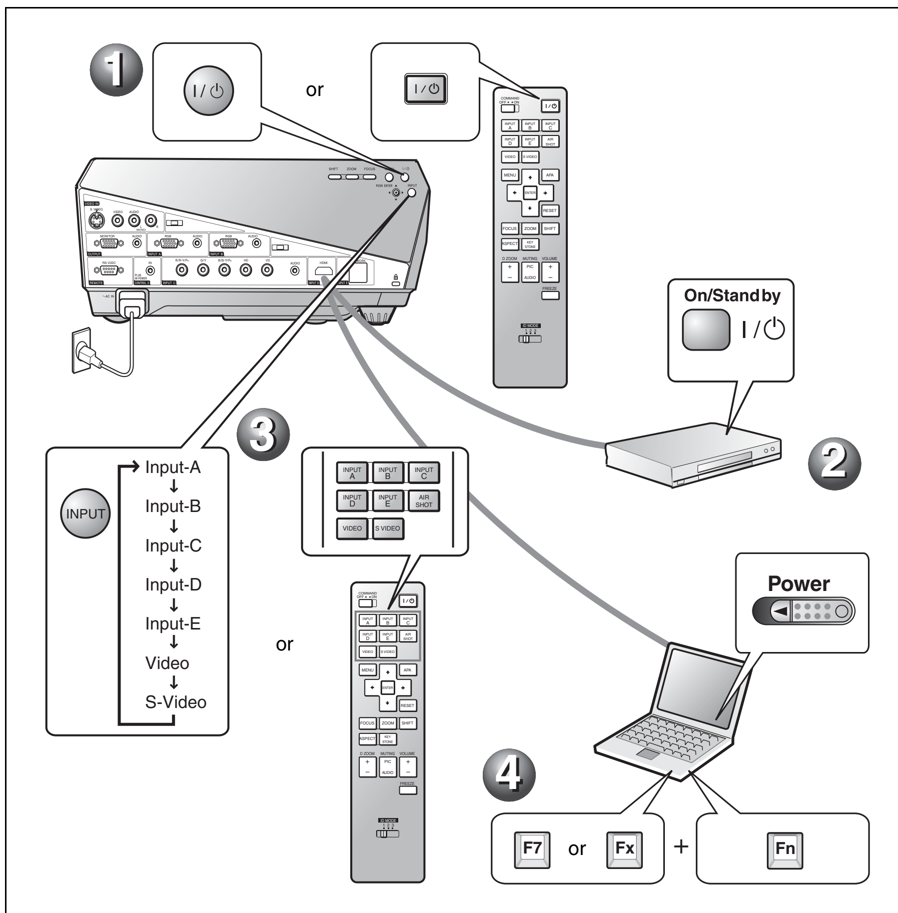
Projecting

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

❸ **Press the INPUT key on the Remote Commander or the control panel to select the input source.**

❹ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**



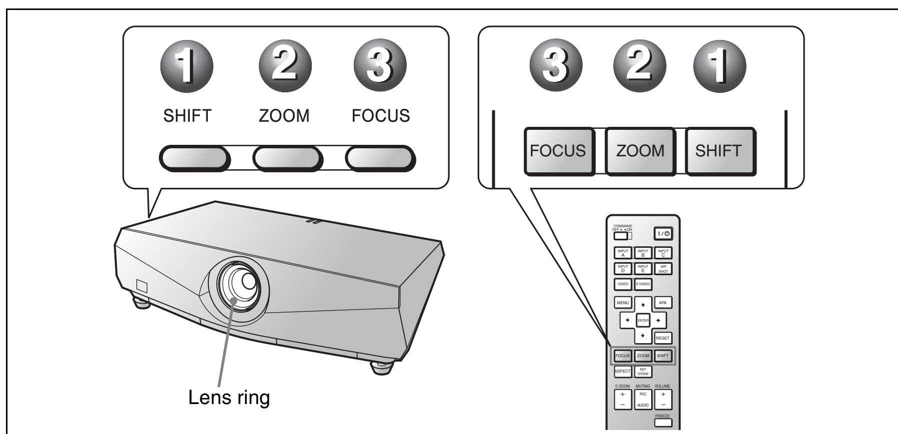
Adjusting the Projector

❶ **Adjust the upper, lower, left or right position of the picture.**

❷ **Adjust the size of the picture.**

❸ **Adjust the focus.**

The projector is equipped with the Picture menu to select the picture mode, and the Screen menu to select the appropriate aspect ratio of the picture.



Notes

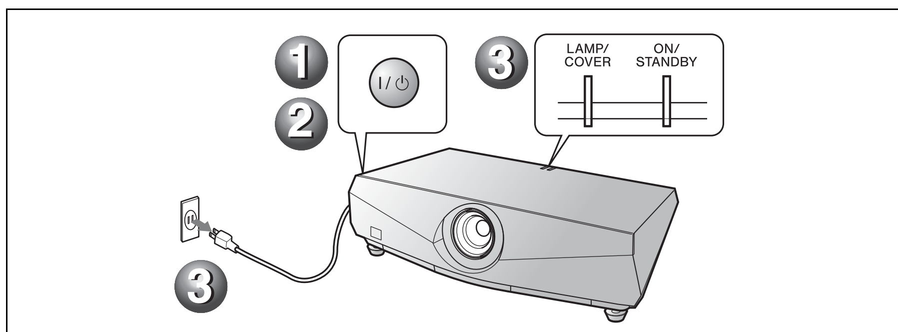
- The lens is not supplied with the VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.
- The VPLL-1008 does not have the shift/zoom function. To adjust the focus of the picture, turn the lens ring.

Turning off the Power

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **When a message appears, press the I/⏻ (on/standby) key again.**

❸ **Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the ON/STANDBY indicator has lit in red.**



Replacing the Lamp

The lamp used as a light source is a consumable product. Thus replace this lamp with a new one in the following cases.

- When the lamp has burnt out or dims
- "Please replace the Lamp and clean the Filter." appears on the screen
- The LAMP/COVER indicator flashes in red. (Repetition rate of 3 flashes)

The lamp life varies depending on conditions of use.
Use an LMP-F270 Projector Lamp as the replacement lamp.
Use of any other lamps than the LMP-F270 may cause damage to the projector.

Caution

The lamp remains hot after the projector is turned off with the I/⏻ key. **If you touch the lamp, you may burn your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour for the lamp to cool.**

Notes

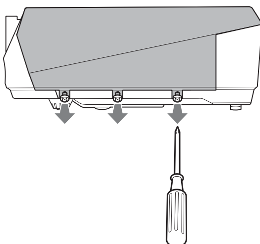
- If the lamp breaks, consult with qualified for personal.
- Pull out the lamp by holding the knob. If you touch the lamp, you may be burned or injured.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight out. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while it is tilted and if the lamp breaks, the pieces may scatter, causing injury.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

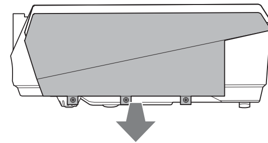
Note

When replacing the lamp after using the projector, wait for at least an hour for the lamp to cool.

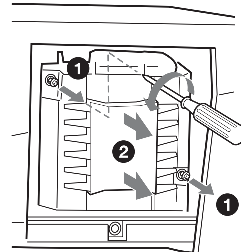
2 Open the lamp cover by loosening the three screws with a Phillips screwdriver.



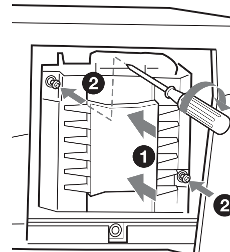
3 Remove the lamp cover by lifting it forward with the fingers placed on the slit of the projector.



4 Loosen the two screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶), hold the knob (❷), then pull out the lamp unit.



5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place (❶). Tighten the two screws (❷).



Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Restore the lamp cover to the original position and tighten the three screws with the Phillips Screwdriver.

Note

Be sure to attach the lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

7 Connect the power cord.
The ON/STANDBY indicator lights in red.

8 Press the I/⏻ key to turn the projector on.

9 Press the MENU key, and then select the Setup menu.

10 Select "Lamp Timer Reset", and then press the ENTER key.
A message is displayed.

11 Select "Yes", and then press the ENTER key.
The Lamp Timer is initialized to 0, and "Lamp Timer Reset Complete!" is displayed in the menu screen.

12 Select "OK."

Caution

Do not put your hands into the lamp replacement slot, and do not allow any liquid or other objects into the slot **to avoid electrical shock or fire.**

Note

To erase a message, press any key on the control panel of the projector or on the Remote Commander.

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA

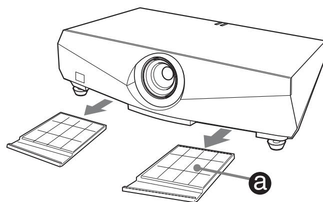
Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

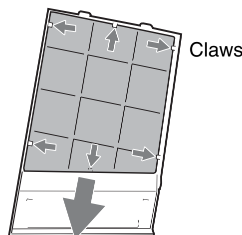
The air filter should be cleaned whenever you replace the lamp.
Remove the air filter, and then remove the dust with a vacuum cleaner.
The time needed to clean the air filter will vary depending on the environment or how the projector is used.

1 Turn the power off and unplug the power cord.

2 Remove the air filter covers.
The air filter of the VPL-FX41/FW41 is on one side ⓐ only.



3 Remove the air filter from the each claws (6 positions) on the air filter cover.



4 Clean the air filter with a vacuum cleaner.

5 Attach the air filter so that it fits into the each claws (6 positions) on the air filter covers and replace the cover.

Caution

If you neglect to clean the air filter, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.

Notes

- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with a new one.
  For details on new air filter, consult with qualified Sony personnnel.
- Be sure to attach the air filter cover firmly; the power can not be turned on if it is not closed securely.
- The air filter has face and reverse side. Attach the air filter so that the frames on the air filter are visible.
- To erase a message, press any key on the control panel of the projector or on the remote commander.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The power has been turned off and on with the I / ⏻ key at a short interval. → Wait for about 60 seconds before turning on the power. • The lamp cover is detached. → Close the lamp cover securely. • The air filter cover is detached. → Close the air filter cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	• Cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • Input selection is incorrect. → Select the input source correctly using the INPUT key. • The picture is muting. → Press the PIC MUTING key to release the muting function. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. → Set the computer signal to output only to an external monitor. → Depending on the type of your computer, for example a notebook, or an all-in-one LCD type, you may have to switch the computer to output to the projector by pressing certain keys or by changing your computer's settings. For details, refer to the computer's operating instructions supplied with your computer.
The picture is noisy.	Noise may appear on the background depending on the combination of the numbers of dot input from the connector and numbers of pixel on the LCD panel. → Change the desktop pattern on the connected computer.
The picture is not clear.	• Picture is out of focus. → Adjust the focus. • Condensation has occurred on the lens. → Leave the projector for about two hours with the power on.
The image extends beyond the screen.	The APA key is pressed although there are black edges around the image. → Display the full image on the screen and press the APA key. → Adjust "Shift" in the Screen menu properly.

Symptom	Cause and Remedy
The picture flickers.	"Phase" in the Screen menu has not been adjusted properly. ➔ Adjust "Phase" in the Screen menu properly.

Indicators

Message	Meaning and Remedy
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 2 flashes)	The lamp cover or the air filter cover is detached. ➔ Attach the cover securely.
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 3 flashes)	• The lamp has reached the end of its life. ➔ Replace the lamp. • The lamp has reached a high temperature. ➔ Wait for 60 seconds to cool the lamp and then turn on the power again.
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 2 flashes)	• The internal temperature is unusually high. ➔ Check to see that nothing is blocking the ventilation holes. • The projector is being used at a high altitude. ➔ Ensure that "High Altitude Mode" on the Setup menu is set to "On."
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 4 flashes)	The fan is broken. ➔ Consult with qualified Sony personnel.
ON/STANDBY flashes in red. (Repetition rate of 6 flashes)	Unplug the AC power cord from the wall outlet after the ON/STANDBY indicator goes out, plug the power cord to the wall outlet, and then turn the projector on again. If the ON/STANDBY flashes in red and the problem persists, the electrical system has failed. ➔ Consult with qualified Sony personnel.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, 3 primary color shutter system

LCD panel
VPL-FE40: 0.79-inch (20.1 mm) SXGA+ panel, 4,410,000 pixels (1400 × 1050 × 3)
VPL-FX40/FX41: 0.79-inch (20.1 mm) XGA panel, 2,359,296 pixels (1024 × 768 × 3)
VPL-FW41: 0.75-inch (19.1 mm) WXGA panel, 3,072,000 pixels (1280 × 800 × 3)

Lens
1.3 times zoom lens (powered)
* The lens is not supplied with the VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.

Lamp
275 W Ultra high pressure lamp

Projected picture size
40 to 600-inches (1,016 to 15,240 mm) (When the VPLL-1008 is used: 60 to 300-inch (1,524 to 7,620 mm))

Light output
VPL-FE40/FX40: 4000 ANSI lumen
VPL-FX41: 5200 ANSI lumen
VPL-FW41: 4500 ANSI lumen
(When the Lamp Mode is set to "High")

Throwing distance (When placed on the floor.)
VPL-FE40/FX40/FX41:
(When an SXGA+ (VPL-FE40)/XGA (VPL-FX40/FX41) signal is input)
40-inch (1,016 mm): 1.5 to 1.9 m (4.9 to 6.2 feet)
60-inch (1,524 mm): 2.3 to 2.9 m (7.4 to 9.5 feet)
80-inch (2,032 mm): 3.0 to 3.9 m (9.9 to 12.7 feet)
100-inch (2,540 mm): 3.8 to 4.8 m (12.5 to 15.9 feet)
150-inch (3,810 mm): 5.7 to 7.3 m (18.8 to 23.9 feet)
200-inch (5,080 mm): 7.7 to 9.7 m (25.2 to 32.0 feet)
300-inch (7,620 mm): 11.6 to 14.6 m (37.9 to 48.0 feet)
400-inch (10,160 mm): 15.4 to 19.5 m
(50.6 to 64.1 feet)
500-inch (12,700 mm): 19.3 to 24.4 m
(63.3 to 80.2 feet)
600-inch (15,240 mm): 23.2 to 29.4 m
(76.0 to 96.3 feet)

VPL-FW41:
(When "Aspect" on the Screen menu is set to "Full 2" or "Full")
40-inch (1,016 mm): 1.6 to 2.0 m (5.1 to 6.5 feet)
60-inch (1,524 mm): 2.4 to 3.0 m (7.8 to 9.9 feet)
80-inch (2,032 mm): 3.2 to 4.1 m (10.4 to 13.3 feet)
100-inch (2,540 mm): 4.0 to 5.1 m (13.1 to 16.7 feet)
120-inch (3,048 mm): 4.8 to 6.1 m (15.8 to 20.1 feet)
150-inch (3,810 mm): 6.0 to 7.7 m (19.8 to 25.1 feet)
200-inch (5,080 mm): 8.1 to 10.2 m (26.4 to 33.5 feet)
300-inch (7,620 mm): 12.1 to 15.4 m (39.7 to 50.4 feet)
400-inch (10,160 mm): 16.2 to 20.5 m (53.1 to 67.3 feet)
500-inch (12,700 mm): 20.2 to 25.7 m (66.4 to 84.2 feet)
600-inch (15,240 mm): 24.3 to 30.8 m (79.7 to 101.1 feet)

There may be a slight difference between the actual value and the design value shown above.

Color system
NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 system, switched automatically/manually

Acceptable computer signals
fH: 19 to 92 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input resolution signals: UXGA 1,600 × 1,200 fV: 60Hz)

Compatible video signal
15k RGB 50/60Hz,
Progressive Component 50/60Hz, DTV, Composite video, Y/C video

Dimensions
532 × 145 × 352 mm (21 × 5 3/4 × 13 7/8 inches) (w/h/d) (without the projection parts)

Mass
Approx. 9.8 kg (21 lb 10 oz) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Approx. 9.0 kg (19 lb 13 oz) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)

Power requirements
AC 100 to 240 V, 4.1 - 1.7 A, 50/60 Hz

Power consumption
Max. 400 W
(in standby (standard): 15 W, in standby (low): 0.5 W)

Supplied accessories

Remote Commander (1)
Size AA (R6) batteries (2)
Lens cap (1) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Lens hole cover (1) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)
AC power cord (1)
CD-ROM (Operating Instructions, Application software) (1)
Quick Reference Manual (1)
Safety Regulations (1)
Security Label (1)

Design and specifications of the unit, including the optional accessories, are subject to change without notice.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-F270 (for replacement)

Projector Suspension Support
PSS-610

Presentation Tool
RM-PJPK1

Projection Lens
Fixed short focus lens
VPLL-1008
Short Focus Zoom Lens
VPLL-Z1014
Middle focus zoom lens
VPLL-Z1024
Long focus zoom lens
VPLL-Z1032

Not all optional accessories are available in all countries and area.
Please check with your local Sony Authorized Dealer

Notes sur les manuels fournis

Les manuels et logiciels suivant sont fournis avec le projecteur.
Sur un système d'exploitation Macintosh, il n'est possible de lire que le Mode d'emploi et le Manuel d'installation pour les revendeurs.

Manuels

Règlements de sécurité (manuel imprimé séparé)

Ce manuel comprend d'importantes remarques et des mises en garde dont vous devez tenir compte lorsque vous manipulez ou utilisez ce projecteur.

Guide de référence rapide (ce manuel)

Ce guide décrit les opérations de base pour la projection d'images après avoir effectué les raccordements requis.

Mode d'emploi (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi décrit l'installation et l'utilisation de ce projecteur.

Mode d'emploi pour le réseau (sur le CD-ROM)

Ce Mode d'emploi explique comment installer et utiliser l'appareil pour des présentations en réseau.

Manuel d'installation pour les revendeurs (sur le CD-ROM)

Ce manuel décrit comment monter les objectifs en option sur le projecteur et comment installer le projecteur.

Logiciel (sur le CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (en japonais et en anglais uniquement)

Il s'agit d'un logiciel d'application pour la transmission des données entre un ordinateur et le projecteur.

A propos du guide de référence rapide

Ce Guide de référence rapide décrit les raccordements requis et les opérations de base de cet appareil, et donne des informations concernant son entretien.
Pour obtenir des informations détaillées sur le fonctionnement de cet appareil, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM fourni.
Pour obtenir des informations sur les précautions de sécurité à observer, consultez « Règlements de sécurité » qui est imprimé séparément.

Sauf indication contraire dans les remarques, le VPL-FE40 décrit dans ce mode d'emploi fait référence à la fois au VPL-FE40 et au VPL-FE40L, le VPL-FX40 fait référence à la fois au VPL-FX40 et au VPL-FX40L, le VPL-FX41 fait référence à la fois au VPL-FX41 et au VPL-FX41L et le VPL-FW41 fait référence à la fois au VPL-FW41 et au VPL-FW41L.

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Le CD-ROM fourni comporte les modes d'emploi, le fichier ReadMe et le Manuel d'installation pour les revendeurs, en japonais, en anglais, en français, en allemand, en italien, en espagnol, en chinois et en russe. Veuillez tout d'abord consulter le fichier ReadMe.

Préparation

Pour pouvoir lire le mode d'emploi sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0, ou une version ultérieure, doit être installé. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger une version gratuite de ce logiciel depuis le site Internet de Adobe Systems.

Pour lire le mode d'emploi

Le mode d'emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur. Il démarrera automatiquement après quelques instants. Sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Sur certains ordinateurs le CD-ROM ne démarrera pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d'emploi de la façon suivante.

(Avec un système d'exploitation Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Faites un clic droit sur l'icône du CD-ROM et sélectionnez « Explorer ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Avec un système d'exploitation Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône du CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

Remarques

Si vous n'êtes pas en mesure d'ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le mode d'emploi que vous souhaitez lire dans le dossier « Operating_Instructions ».

Marques

- Windows est une marque déposée de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Macintosh est une marque déposée de Apple Inc. aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Adobe et Acrobat Reader sont des marques déposées d'Adobe Systems Incorporated aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.

Toutes les autres marques de commerce et marques de commerce déposées appartiennent à leurs propriétaires respectifs. Dans ce manuel, les symboles ™ et ® ne sont pas spécifiés.

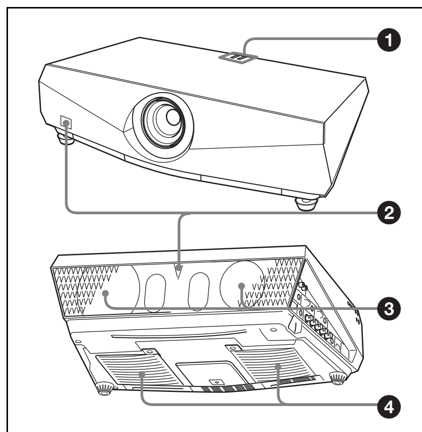
FR

Remarques concernant l'utilisation

Remarque sur les orifices de ventilation

N'obstruez pas les orifices de ventilation (sortie et prise d'air). S'ils sont bloqués, une surchauffe interne risque de se produire et causer un incendie ou endommager l'appareil.
Vérifiez la position des orifices de ventilation dans les illustrations suivantes.

Pour plus d'informations sur les précautions à prendre, lisez attentivement la « Règlements de sécurité » qui est imprimée séparément.



1 Indicateurs

2 Capteur de télécommande

3 Orifices de ventilation (sortie d'air)

4 Orifices de ventilation (prise d'air)

Le VPL-FX41/FW41 à des orifices de ventilation (prise d'air) uniquement sur un côté.

Projection

Raccordement du projecteur

Lors du raccordement du projecteur :

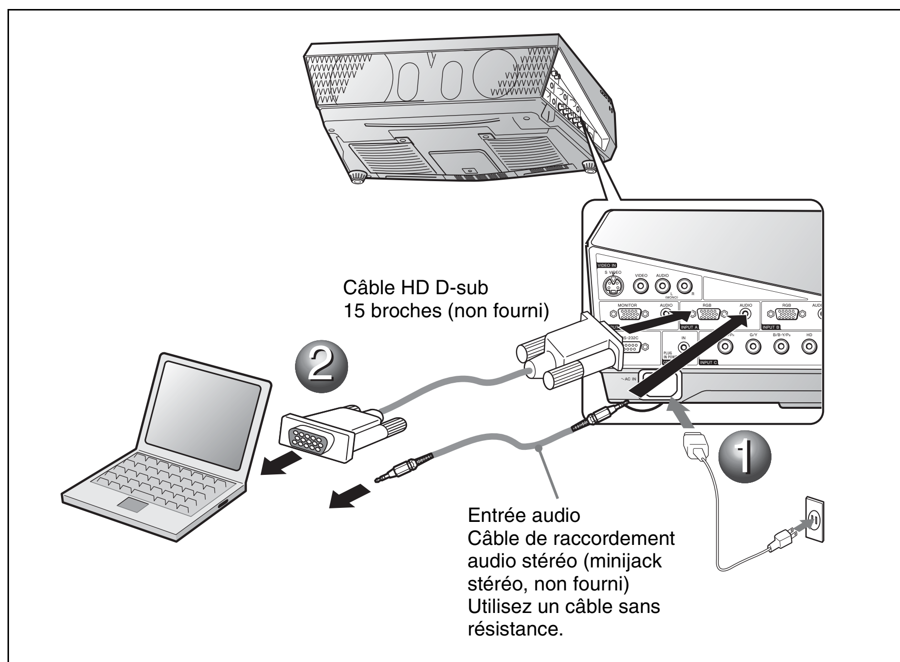
- Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
- Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
- Insérez fermement les fiches de câble. Débranchez les cables en les tenant par leur fiche. Ne tirez pas sur le cable lui-même.

Consultez également le Mode d’emploi de l’équipement raccordé.

Pour raccorder un ordinateur (analogique)

1 Branchez le cordon d’alimentation secteur à une prise murale.

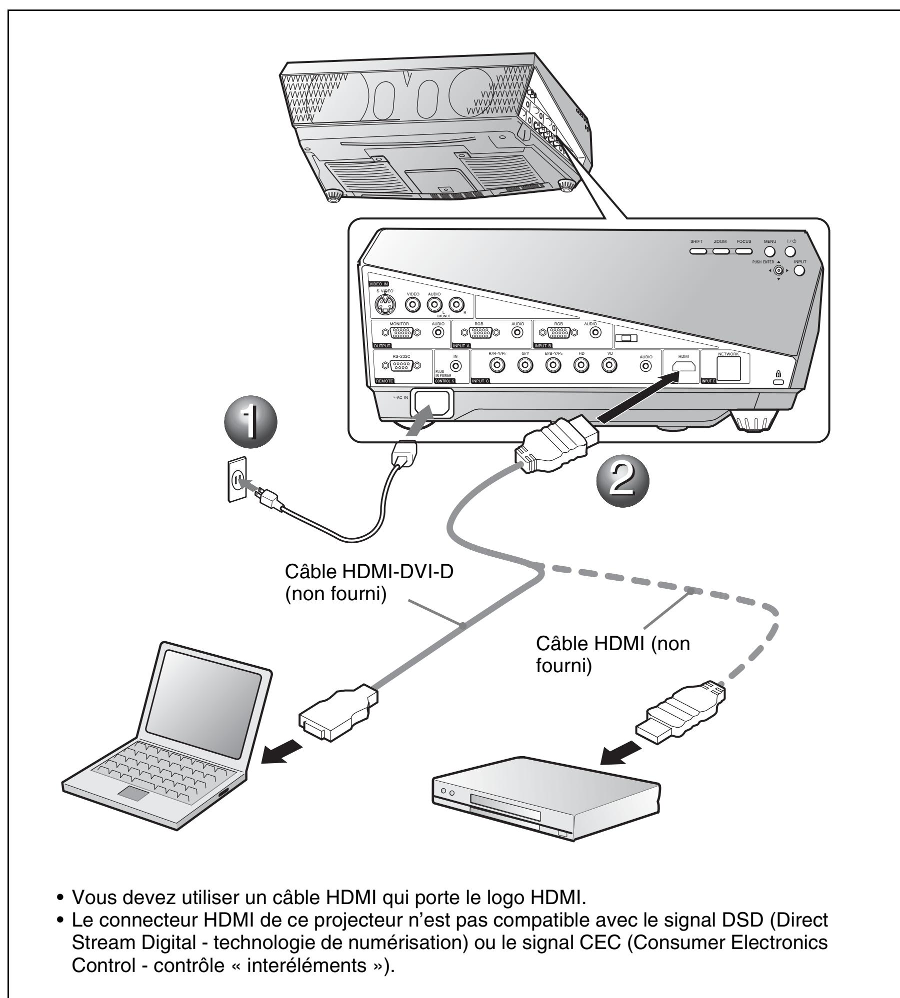
2 Raccordez le projecteur à l’ordinateur.



Pour raccorder un ordinateur (numérique) ou un appareil vidéo (numérique)

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.

2 Raccordez le projecteur à l'ordinateur ou à l'appareil vidéo.

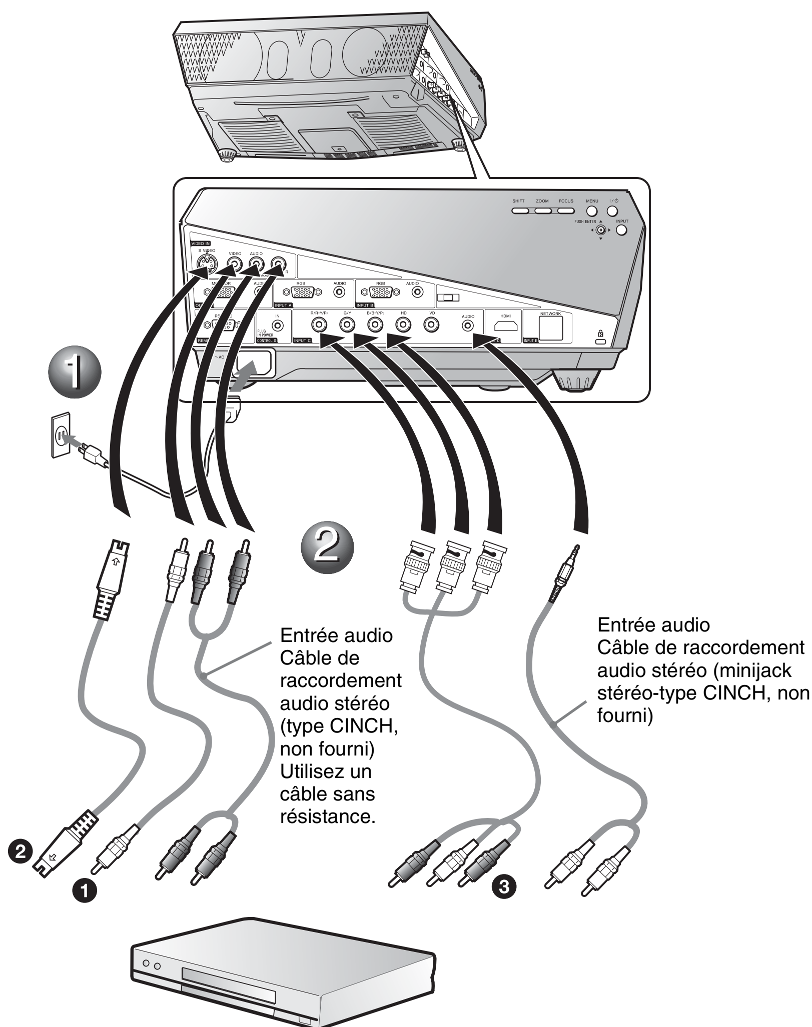


- Vous devez utiliser un câble HDMI qui porte le logo HDMI.
- Le connecteur HDMI de ce projecteur n'est pas compatible avec le signal DSD (Direct Stream Digital - technologie de numérisation) ou le signal CEC (Consumer Electronics Control - contrôle « interéléments »).

Pour raccorder un magnétoscope ou un lecteur de DVD

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur à une prise murale.

2 Raccordez le projecteur à un appareil vidéo.

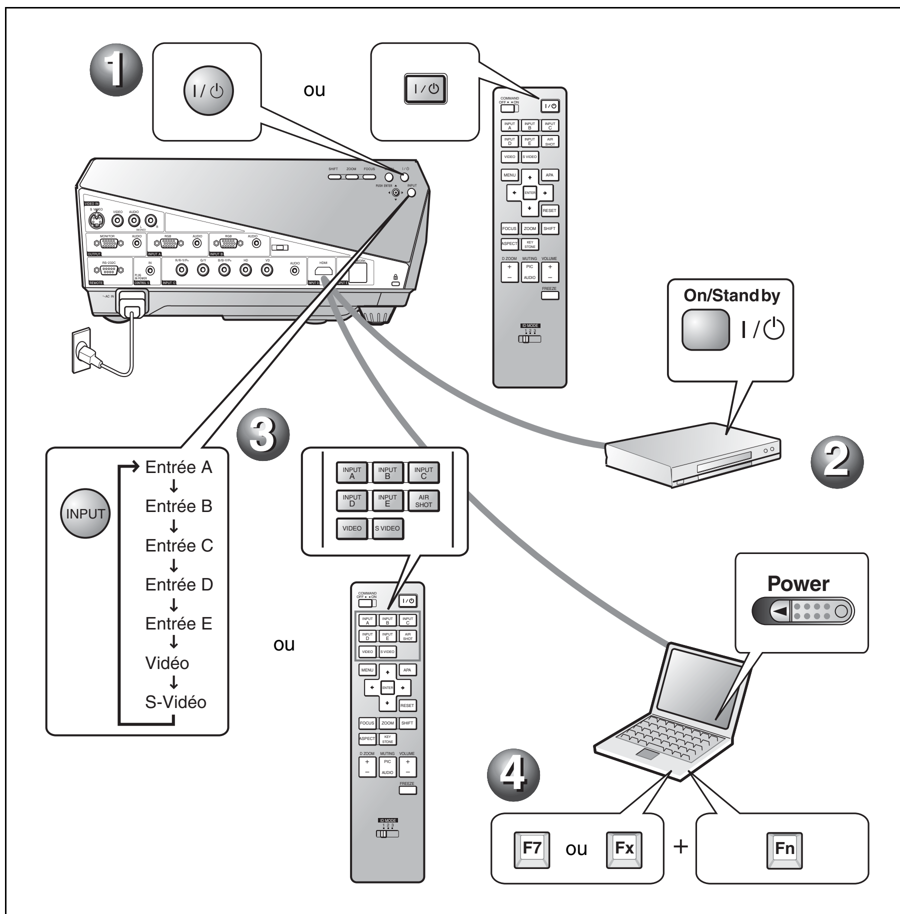


Les trois options de raccordement suivantes sont disponibles pour le signal vidéo :

1. Câble vidéo composite (fiche phono) (non fourni)
2. Câble S-vidéo (fiche mini DIN 4 broches) (non fourni)
3. Câble en composante (BNC × 3) (non fourni) (Utilisez un câble sans résistance.)

Projection

1. **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**
2. **Mettez l'appareil raccordé au projecteur sous tension.**
3. **Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande ou du panneau de commande pour sélectionner la source d'entrée.**
4. **Une fois l'ordinateur raccordé, réglez-le pour que le signal soit envoyé seulement au moniteur externe.**



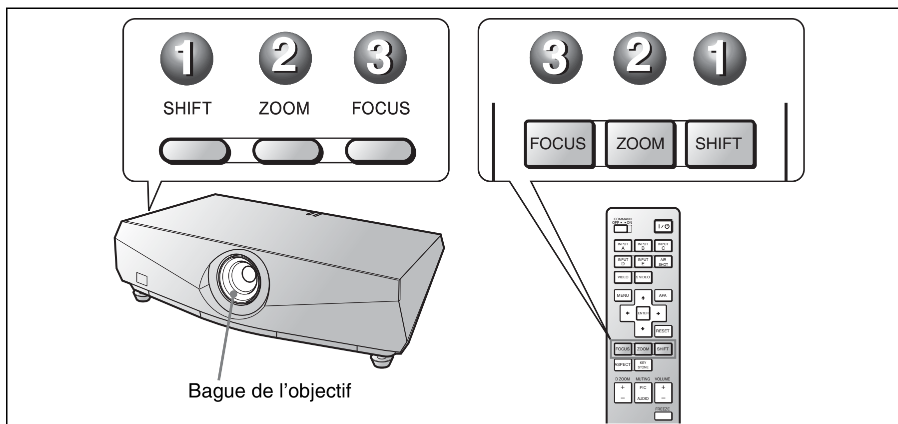
Ajustement du projecteur

❶ **Réglez la position supérieure, inférieure, gauche ou droite de l'image.**

❷ **Réglez la taille de l'image.**

❸ **Réglez la mise au point.**

Le projecteur est équipé d'un menu Image permettant de sélectionner le mode de projection de l'image et d'un menu Ecran permettant de sélectionner le rapport hauteur/largeur de l'image.



Remarques

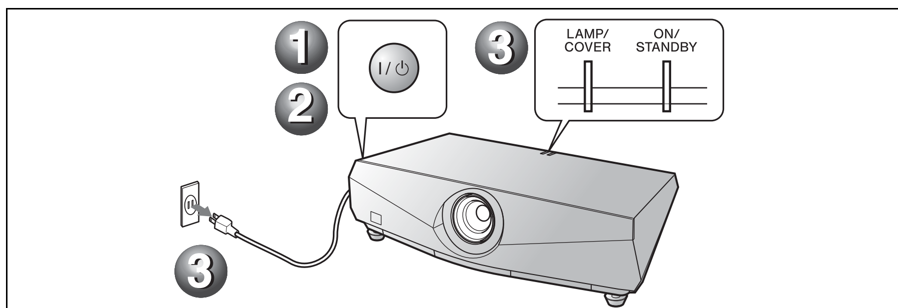
- L'objectif n'est pas fourni avec le VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.
- Le VPLL-1008 n'a pas la fonction de déplacement/zoom. Pour régler la mise au point de l'image, tournez la bague de l'objectif.

Mise hors tension

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❷ **Lorsqu'un message apparaît, appuyez une nouvelle fois sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

❸ **Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois que le ventilateur s'est arrêté et que l'indicateur ON/STANDBY est allumé en rouge.**



Remplacement de la lampe

La lampe utilisée comme source d'éclairage est un produit consommable. Par conséquent, remplacez la lampe par une neuve dans les cas suivants.

- Lorsque la lampe a grillé ou perdu de sa luminosité
- « Remplacer la lampe et nettoyer le filtre. » apparaît sur l'écran.
- Le témoin LAMP/COVER clignote en rouge. (Taux de répétition de 3 clignotements)

La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.
Utilisez une lampe pour projecteur LMP-F270 comme lampe de rechange.
L'utilisation d'une lampe autre que LMP-F270 peut provoquer des dommages au projecteur.

Précaution

La lampe reste chaude après la mise hors tension du projecteur avec la touche I/⏻. **Ne la touchez pas car vous pourriez vous brûler les doigts. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.**

Remarques

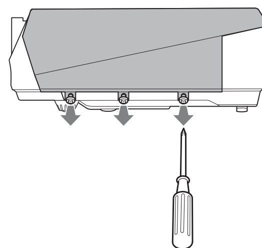
- Si la lampe se casse, consultez un technicien qualifié.
- Retirez la lampe en tenant le bouton. Ne touchez pas la lampe car vous pourriez vous brûler ou vous blesser.
- Lorsque vous retirez la lampe, assurez-vous qu'elle demeure à l'horizontale, et tirez bien droit. N'inclinez pas la lampe. Si vous retirez la lampe en l'inclinant et qu'elle se casse, vous risquez d'être blessé par des projections de verre.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise de courant.

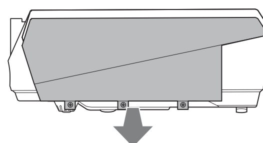
Remarque

Avant de remplacer la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.

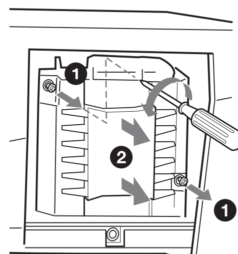
2 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant les trois vis avec un tournevis cruciforme.



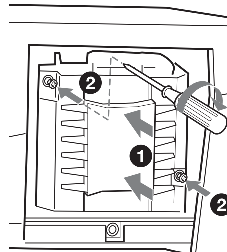
3 Retirez le couvercle de lampe en le soulevant vers l'avant avec les doigts placés sur la fente du projecteur.



4 Desserrez les deux vis de la lampe à l'aide d'un tournevis à pointe cruciforme (❶), tenez le bouton (❷), puis retirez la lampe.



5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place (❶). Serrez les deux vis (❷).



Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

6 Remettez en place le couvercle de la lampe et serrez les trois vis à l'aide du tournevis à pointe cruciforme.

Remarque

Assurez-vous de remettre solidement en place le couvercle de lampe à sa position initiale. Sinon le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

7 Branchez le cordon d'alimentation. L'indicateur ON/STANDBY clignote en rouge.

8 Appuyez sur la touche I/⏻ pour mettre le projecteur sous tension.

9 Appuyez sur la touche MENU, puis sélectionnez le menu Réglage.

10 Sélectionnez « Réinitialiser la durée de lampe », puis appuyez sur la touche ENTER.
Un message s'affiche.

11 Sélectionnez « Oui », puis appuyez sur la touche ENTER.
La durée de lampe est remise à 0, et « Réinitialisation de durée de lampe terminée! » s'affiche sur l'écran de menu.

12 Sélectionnez « OK ».

Précaution

N'introduisez pas les doigts dans la fente de remplacement de la lampe et veillez à ce qu'aucun liquide ou objet ne tombe à l'intérieur de la fente **pour éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie.**

Remarque

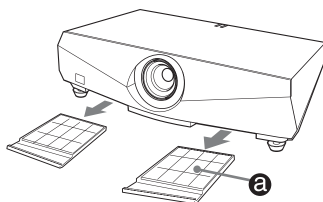
Pour effacer un message, appuyez sur n'importe quelle touche du panneau de commande du projecteur ou de la télécommande.

Nettoyage du filtre à air

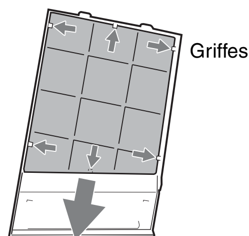
Vous devez nettoyer le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.
Retirez le filtre à air, puis enlevez la poussière à l'aide d'un aspirateur.
Le temps nécessaire au nettoyage du filtre à air varie suivant l'environnement ou les conditions d'utilisation du projecteur.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Retirez les couvercles des filtres à air. Le VPL-FX41/FW41 a un filtre à air uniquement sur un côté ⓐ.



3 Retirez le filtre à air de chacune des griffes (6 positions) du couvercle de filtre à air.



4 Nettoyez le filtre à air à l'aide d'un aspirateur.

5 Posez le filtre à air en l'engageant dans les griffes (6 positions) des couvercles du filtre à air, puis remettez le couvercle en place.

Précaution

Si vous ne nettoyez pas le filtre à air, la poussière risque de s'y accumuler et de l'obstruer. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et causer un dysfonctionnement ou un incendie.

Remarques

- S’il n’est pas possible d’enlever la poussière du filtre à air, remplacez ce dernier par un neuf. Pour plus d’informations sur le filtre à air neuf, consultez le personnel Sony qualifié.
- Fixez le couvercle du filtre à air correctement. Le projecteur ne peut pas être mis sous tension si le couvercle est mal fermé.
- Le filtre à air possède une face avant et une face arrière. Fixez le filtre à air de sorte que ses cadres soient visibles.
- Pour effacer un message, appuyez sur n’importe quelle touche du panneau de commande du projecteur ou de la télécommande.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de renseignements sur ce problème, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM.

Tension

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le projecteur a été mis hors et sous tension à brefs intervalles à l'aide de la touche I/⏻. ➔ Attendez environ 60 secondes avant de mettre l'appareil sous tension. • Le couvercle de lampe est mal fixé. ➔ Fermez bien le couvercle de la lampe. • Le couvercle du filtre à air est mal fixé. ➔ Fermez solidement le couvercle du filtre à air.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Vérifiez que les raccordements sont corrects. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez la source d'entrée correcte en utilisant la touche INPUT. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour faire réapparaître l'image. • Le signal de l'ordinateur n'est pas réglé sur sortie vers un moniteur externe ou réglé sur sortie vers un moniteur externe et un moniteur LCD d'un ordinateur. ➔ Réglez le signal d'ordinateur sur la sortie seulement vers un moniteur externe. ➔ Selon le type d'ordinateur que vous utilisez - un ordinateur portable ou un ordinateur avec moniteur LCD - vous risquez de devoir commuter la sortie vers le projecteur en appuyant sur certaines touches ou en modifiant les paramètres de votre ordinateur. Pour plus d'informations, consultez le mode d'emploi de votre ordinateur.
L'image est parasitée.	Des parasites peuvent apparaître à l'arrière-plan de l'image avec certaines combinaisons du nombre de pixels du signal reçu par le connecteur et du nombre de pixels sur le panneau LCD. ➔ Changez la configuration du bureau sur l'ordinateur utilisé.
L'image n'est pas nette.	• Netteté de l'image déréglée. ➔ Réglez la mise au point. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.

Symptôme	Cause et remède
L'image dépasse de l'écran.	Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. → Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. → Réglez « Déplacement » correctement dans le menu Ecran.
L'image tremblote.	Le paramètre « Phase » n'est pas réglé correctement dans le menu Ecran. → Réglez « Phase » correctement dans le menu Ecran.

Indicateurs

Message	Signification et remède
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 2 clignotements)	Le couvercle de la lampe ou du filtre à air est mal fixé. → Fixez fermement le couvercle.
Le témoin LAMP/COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 3 clignotements)	• La lampe a atteint la fin de sa durée de vie. → Remplacez la lampe. • La lampe a atteint une température élevée. → Attendez 60 secondes pour que la lampe se refroidisse, puis remettez le projecteur sous tension.
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. → Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Le projecteur est utilisé à haute altitude. → Assurez-vous que « Mode haute altit. » du menu Réglage est sur « On ».
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 4 clignotements)	Le ventilateur est défectueux. → Consultez le service après-vente Sony.
ON/STANDBY clignote en rouge. (Taux de répétition de 6 clignotements)	Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois le témoin ON/STANDBY éteint, puis rebranchez-le et remettez le projecteur sous tension. Si le témoin ON/STANDBY clignote en rouge et que le problème persiste, le circuit électrique est en panne. → Consultez le service après-vente Sony.

Spécifications

Système de projection
Panneaux 3 LCD, 1 lentille, système d'obturation à 3 couleurs primaires

Panneau LCD VPL-FE40 : Panneau SXGA+ 0,79 pouce (20,1 mm), 4 410 000 pixels (1400 × 1050 × 3)
VPL-FX40/FX41 : Panneau XGA 0,79 pouce (20,1 mm), 2 359 296 pixels (1024 × 768 × 3)
VPL-FW41 : Panneau WXGA 0,75 pouce (19,1 mm), 3 072 000 pixels (1280 × 800 × 3)

Objectif Objectif zoom 1,3 fois (motorisé)
* L'objectif n'est pas fourni avec le VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.

Lampe Lampe ultra haute pression 275 W

Dimensions de l'image projetée
40 à 600 pouces (1 016 à 15 240 mm) (Lors de l'utilisation du VPLL-1008 : 60 à 300 pouces (1 524 à 7 620 mm))

Sortie de lumière
VPL-FE40/FX40: 4000 ANSI lumen
VPL-FX41: 5200 ANSI lumen
VPL-FW41 : 4500 ANSI lumen
(Lorsque Mode de lampe est sur « Haut »)

Distance de projection (Lorsque placé sur le plancher.)

VPL-FE40/FX40/FX41:
(Lorsqu'un signal SXGA+ (VPL-FE40)/XGA (VPL-FX40/FX41) est reçu)
40 pouces (1 016 mm) : 1,5 à 1,9 m (4,9 à 6,2 pieds)
60 pouces (1 524 mm) : 2,3 à 2,9 m (7,4 à 9,5 pieds)
80 pouces (2 032 mm) : 3,0 à 3,9 m (9,9 à 12,7 pieds)
100 pouces (2 540 mm) : 3,8 à 4,8 m (12,5 à 15,9 pieds)
150 pouces (3 810 mm) : 5,7 à 7,3 m (18,8 à 23,9 pieds)
200 pouces (5 080 mm) : 7,7 à 9,7 m (25,2 à 32,0 pieds)
300 pouces (7 620 mm) : 11,6 à 14,6 m
(37,9 à 48,0 pieds)
400 pouces (10 160 mm) : 15,4 à 19,5 m (50,6 à 64,1 pieds)
500 pouces (12 700 mm) : 19,3 à 24,4 m(63,3 à 80,2 pieds)
600 pouces (15 240 mm) : 23,2 à 29,4 m (76,0 à 96,3 pieds)

VPL-FW41:
(Lorsque « Aspect » sur le menu Ecran est défini sur « Plein2 » ou « Plein »)
40 pouces (1 016 mm) : 1,6 à 2,0 m (5,1 à 6,5 pieds)
60 pouces (1 524 mm) : 2,4 à 3,0 m (7,8 à 9,9 pieds)
80 pouces (2 032 mm) : 3,2 à 4,1 m (10,4 à 13,3 pieds)
100 pouces (2 540 mm) : 4,0 à 5,1 m (13,1 à 16,7 pieds)
120 pouces (3 048 mm) : 4,8 à 6,1 m (15,8 à 20,1 pieds)
150 pouces (3 810 mm) : 6,0 à 7,7 m (19,8 à 25,1 pieds)
200 pouces (5 080 mm) : 8,1 à 10,2 m (26,4 à 33,5 pieds)
300 pouces (7 620 mm) : 12,1 à 15,4 m (39,7 à 50,4 pieds)
400 pouces (10 160 mm) : 16,2 à 20,5 m (53,1 à 67,3 pieds)
500 pouces (12 700 mm) : 20,2 à 25,7 m (66,4 à 84,2 pieds)
600 pouces (15 240 mm) : 24,3 à 30,8 m (79,7 à 101,1 pieds)

Il se peut qu'il y ait une légère différence entre la valeur réelle et la valeur théorique indiquée ci-dessus.

Standard couleur
Système NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle

Signaux d'ordinateur compatibles
fH : 19 à 92 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée : UXGA 1600 × 1200 fV : 60 Hz)

Signal vidéo pris en charge
15 k RGB 50/60Hz, composantes progressives 50/60 Hz, DTV, vidéo composite, vidéo Y/C

Dimensions 532 × 145 × 352 mm (21 × 5 3/4 × 13 7/8 pouces) (l/h/p) (sans pièces de projection)

Poids 9,8 kg (21 lb 10 oz) environ (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
9,0 kg (19 lb 13 oz) environ (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)

Alimentation 100 à 240 V CA, 4,1 à 1,7 A, 50/60 Hz

Consommation électrique
400 W max.
(en veille (standard) : 15 W, en veille (bas) : 0,5 W)

Accessoires fournis
Télécommande (1)
Piles de format AA (R6) (2)
Cache-objectif (1) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Cache d'orifice d'objectif (1) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)
Cordon d'alimentation secteur (1)
CD-ROM (Mode d'emploi, Logiciel d'application) (1)
Guide de référence rapide (1)
Règlements de sécurité (1)
Étiquette de sécurité (1)

La conception et les spécifications de l'appareil et de ses accessoires en option sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Accessoires en option

Lampe de projecteur
LMP-F270 (pour remplacement)

Support de suspension de projecteur
PSS-610

Outil de présentation
RM-PJPK1

Objectif de projection
Objectif à courte focale fixe
VPLL-1008
Objectif à courte focale
VPLL-Z1014
Objectif à focale moyenne
VPLL-Z1024
Objectif à longue focale
VPLL-Z1032

Les accessoires en option ne sont pas tous disponibles dans tous les pays et régions. Pour plus d'informations, veuillez contacter votre revendeur Sony agréé.

Acerca de los manuales que se suministran

Con el proyector se suministran los manuales y programas de software siguientes.
En un sistema Macintosh, sólo podrá leer el Manual de instrucciones y el Manual de instalación para proveedores.

Manuales

Normativa de seguridad (manual impreso por separado)

Este manual describe notas y precauciones importantes a las que debe prestar atención cuando manipule y utilice este proyector.

Manual de referencia rápida (este manual)

Este manual describe operaciones básicas para la proyección de imágenes una vez realizadas las conexiones necesarias.

Manual de instrucciones (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe la instalación y el funcionamiento de este proyector.

Manual de instrucciones para red (en el CD-ROM)

Este Manual de instrucciones describe cómo configurar y operar las presentaciones de red.

Manual de instalación para proveedores (en el CD-ROM)

Este manual contiene información de montaje de objetivos opcionales en el proyector y de instalación del proyector.

Software (en el CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Versión 2.xx) (sólo en japonés y en inglés)

Es un software de aplicación que permite transmitir datos desde un ordenador hasta el proyector.

Acerca del manual de referencia rápida

Este manual de referencia rápida explica las conexiones y las operaciones básicas de esta unidad, y ofrece notas sobre el funcionamiento e información necesarias para el mantenimiento.
Para ver información detallada sobre el funcionamiento, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM que se suministra.
Para ver las precauciones de seguridad, consulte por separado las “Normativa de seguridad”.

A menos que se especifique lo contrario en las notas, el VPL-FE40 que se describe en este manual se refiere tanto al VPL-FE40 como al VPL-FE40L, el VPL-FX40 se refiere tanto al VPL-FX40 como al VPL-FX40L, el VPL-FX41 se refiere tanto al VPL-FX41 como al VPL-FX41L y el VPL-FW41 se refiere tanto al VPL-FW41 como al VPL-FW41L.

Usar los manuales del CD-ROM

El CD-ROM suministrado contiene el manual de instrucciones, el archivo ReadMe y el manual de instalación para proveedores en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español, chino y ruso. En primer lugar, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones del CD-ROM necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no tiene Adobe Acrobat Reader instalado en el ordenador, puede descargar de forma gratuita el software de Acrobat Reader desde la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones están en el CD-ROM que se suministra. Inserte en la unidad de CD-ROM del ordenador el CD-ROM que se suministra; el CD-ROM se iniciará automáticamente después de unos momentos. Selecciones el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que el CD-ROM no se inicie automáticamente, según el ordenador. En este caso, abra el archivo de manual de instrucciones de la manera siguiente:

(En el caso de Windows)

① Abra “Mi PC”.

② Haga clic con el botón derecho del ratón en el icono de CD-ROM y seleccione “Explorar”.

③ Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(En el caso de Macintosh)

① Haga doble clic en el icono de CD-ROM en el escritorio.

② Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Notas

Si no puede abrir el archivo “index.htm”, haga doble clic en el manual de instrucciones que desee leer de entre las de la carpeta “Operating_Instructions”.

Sobre las marcas comerciales

- Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Macintosh es una marca comercial registrada de Apple Inc. en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Adobe y Acrobat Reader son marcas comerciales registradas de Adobe Systems Incorporated en Estados Unidos y/o en otros países.

Las restantes marcas comerciales y marcas comerciales registradas son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos titulares. En este manual no se indican las marcas ™ y ®.

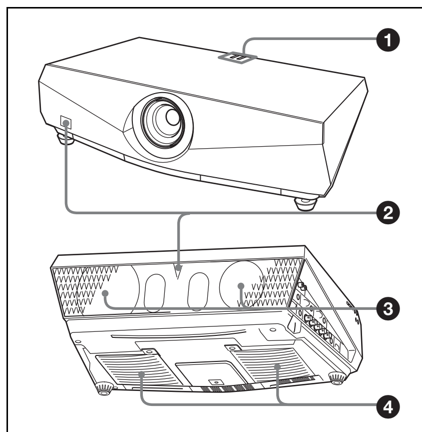
ES

Notas sobre la utilización

Nota sobre los orificios de ventilación

No bloquee los orificios de ventilación (escape/aspiración). Si se bloquean, el calor puede acumularse en el interior y provocar un incendio o daños para la unidad.
Compruebe las posiciones de los orificios de ventilación que se muestran en las ilustraciones siguientes.

Para ver otras precauciones, lea detenidamente, por separado, la “Normativa de seguridad”.



1. **Indicadores**
2. **Detector del mando a distancia**
3. **Orificios de ventilación (escape)**
4. **Orificios de ventilación (aspiración)**
   El orificio de ventilación (aspiración) del VPL-FX41/FW41 sólo se encuentra en un lado.

Proyección

Conexión del proyector

Cuando conecte el proyector, asegúrese de lo siguiente:

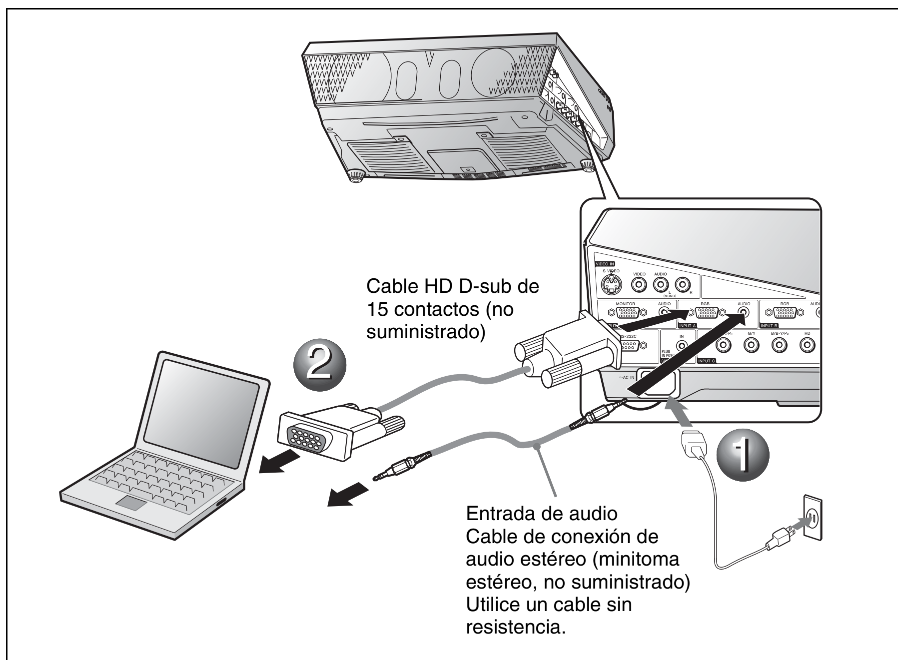
- Apagar todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilizar los cables apropiados para cada conexión.
- Insertar firmemente las clavijas de los cables. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del cable.

Consulte también el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.

Para conectar un ordenador (analógico)

1 Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.

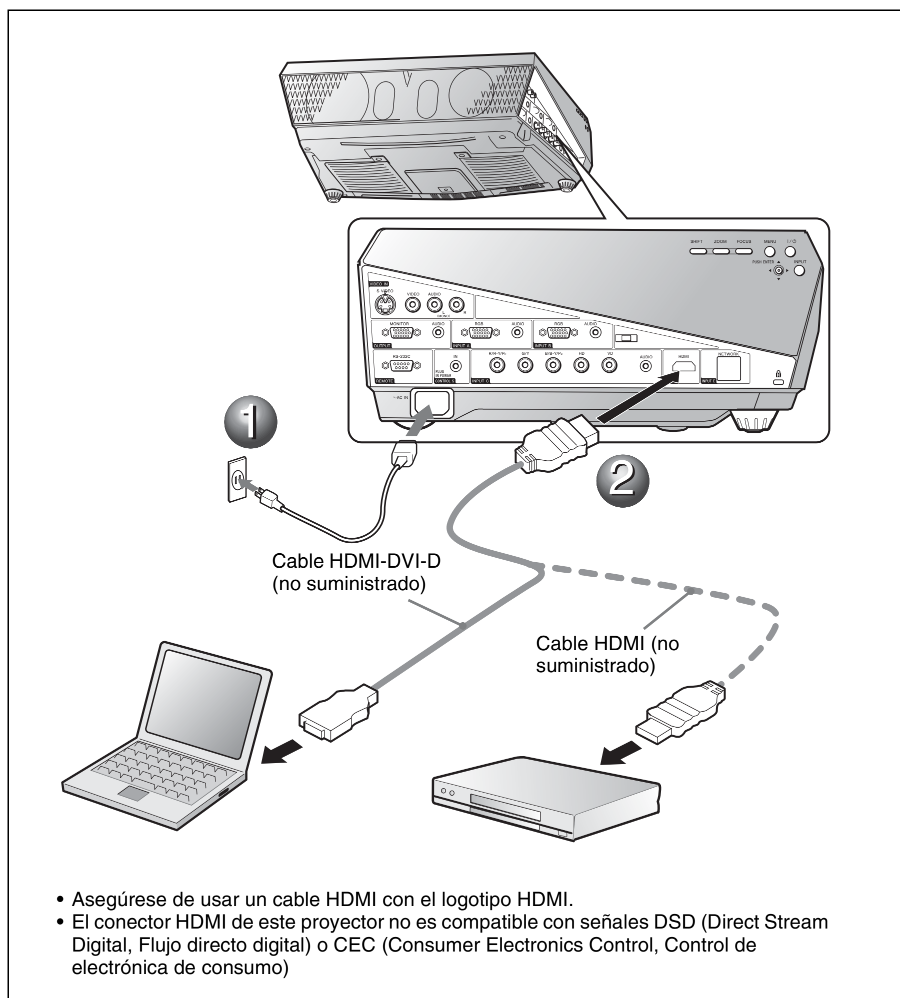
2 Conecte el proyector al ordenador.



Para conectar un ordenador (digital) o un equipo de vídeo (digital)

❶ **Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.**

❷ **Conecte el proyector al ordenador o a un aparato de vídeo.**

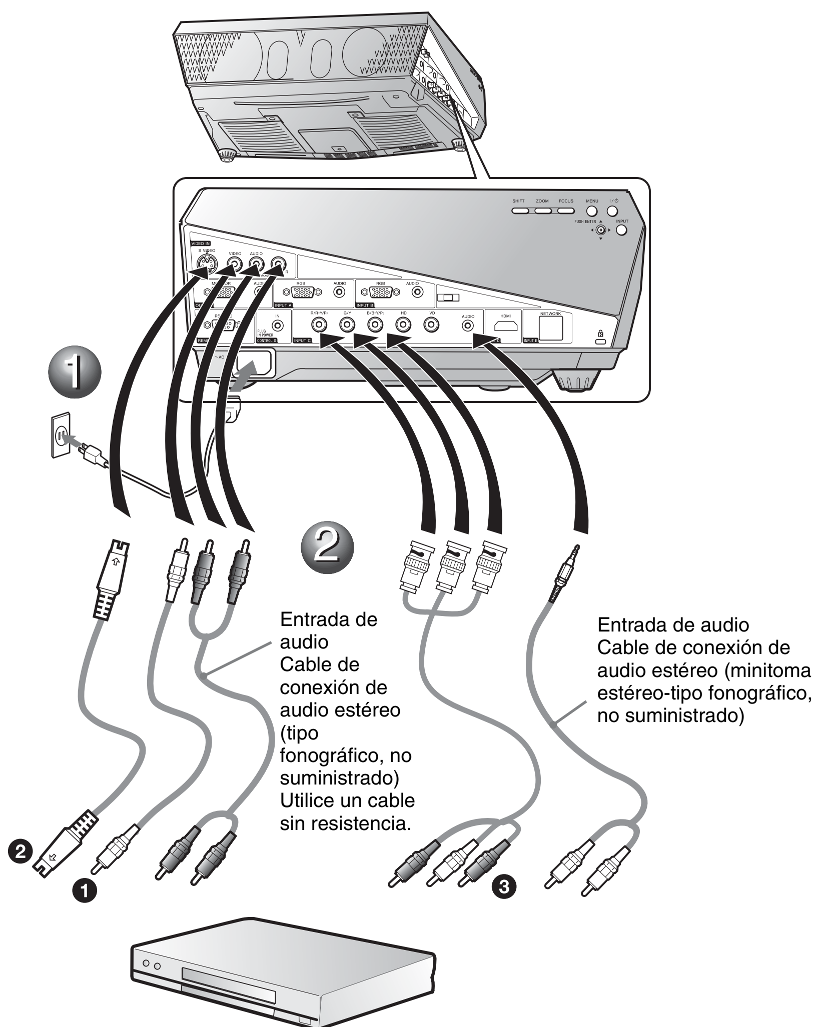


- Asegúrese de usar un cable HDMI con el logotipo HDMI.
- El conector HDMI de este proyector no es compatible con señales DSD (Direct Stream Digital, Flujo directo digital) o CEC (Consumer Electronics Control, Control de electrónica de consumo)

Para conectar a un reproductor VCR/DVD

❶ Enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.

❷ Conecte el proyector a un aparato de vídeo.



Para realizar conexiones de señales de vídeo, dispone de las tres siguientes opciones de conexión:

❶ Cable de vídeo compuesto (clavija fonográfica) (no suministrado)

❷ Cable de S vídeo (mini DIN de 4 contactos) (no suministrado)

❸ Cable de componentes (BNC × 3) (no suministrado) (Utilice un cable sin resistencia)

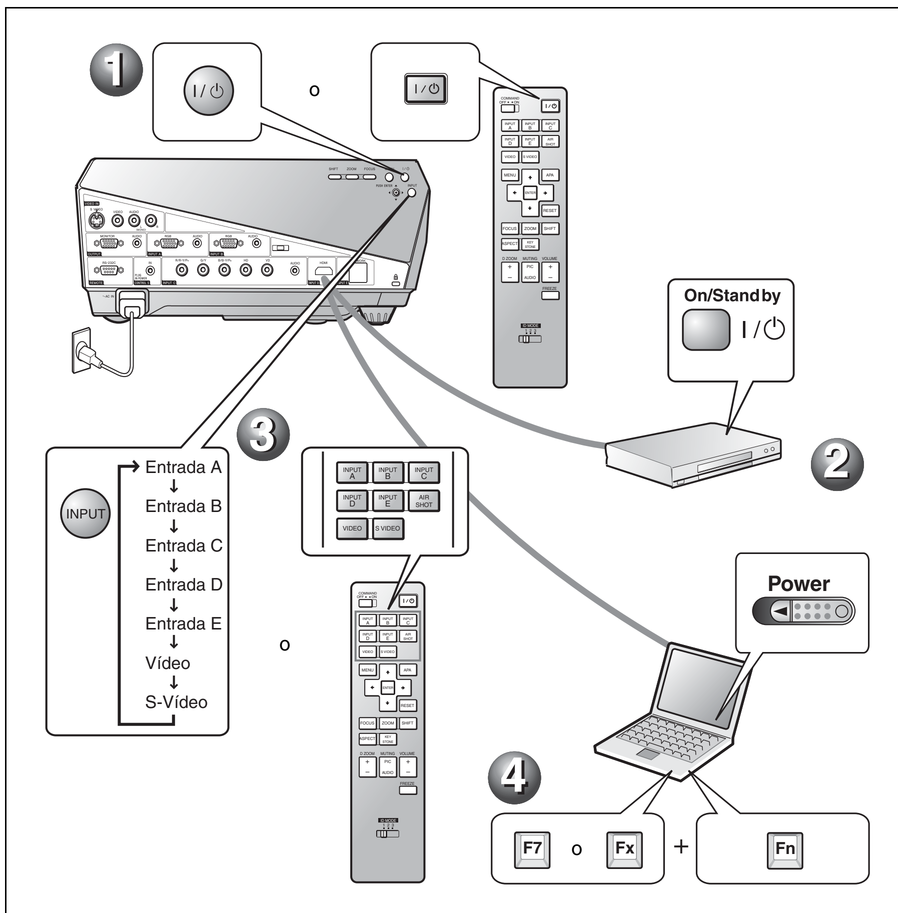
Proyección

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

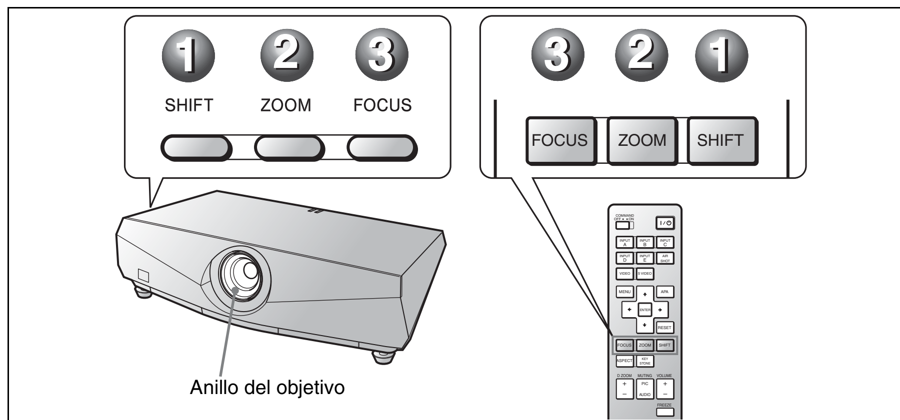
❸ **Pulse la tecla INPUT en el mando a distancia o el panel de control para seleccionar la fuente de entrada.**

❹ **Cuando el ordenador esté conectado, ajústelo de modo que envíe la señal solamente al monitor externo.**



Ajustar el proyector

1. **Ajuste la posición superior, inferior, izquierda o derecha de la imagen.**
2. **Ajuste el tamaño de la imagen.**
3. **Ajuste el enfoque.**
   El proyector está equipado con el menú Imagen, que permite seleccionar el modo de imagen, y con el menú Pantalla, que permite seleccionar la relación de aspecto adecuada para la imagen.

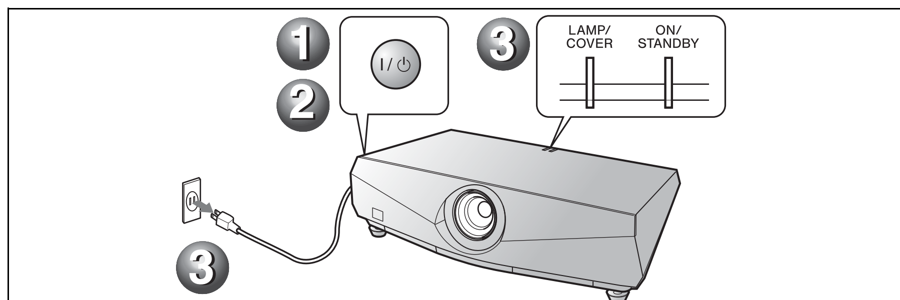


Notas

- El objetivo no se suministra con el modelo VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.
- El VPLL-1008 no tiene función de desplazamiento/zoom. Para ajustar el enfoque de la imagen, gire el anillo del objetivo.

Apagar la alimentación

1. **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**
2. **Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻ (encendido/espera).**
3. **Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y el indicador ON/STANDBY se ilumine en rojo.**



Sustitución de la lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz es un producto consumible. Por lo tanto, debe sustituir la lámpara por una nueva en los casos siguientes.

- Cuando la lámpara se funde o disminuye su brillo
- Cuando aparece en la pantalla “Sustituya la lámpara y limpie el filtro.”.
- El indicador LAMP/COVER parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)

La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.
Sustitúyala por una lámpara de proyector LMP-F270.
El uso de lámparas diferentes de la LMP-F270 puede dañar el proyector.

Precaución

La lámpara continúa estando caliente después de haber apagado el proyector con la tecla I/⏻. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora hasta que se enfríe.**

Notas

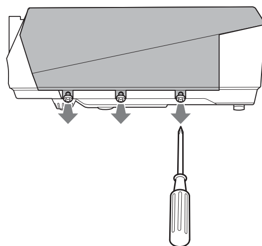
- Si la lámpara se rompe, consulte con personal especializado.
- Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el mando. Si toca la lámpara, puede quemarse o herirse.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y, a continuación tírelo hacia fuera. No incline la lámpara. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras se encuentra inclinada y la lámpara se rompe, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma de ca.

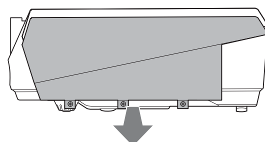
Nota

Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

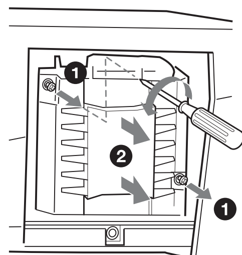
2 Afloje los tres tornillos con el destornillador de estrella para abrir la cubierta de la lámpara.



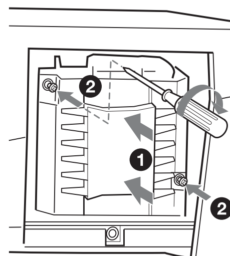
3 Retire la cubierta de la lámpara levantándola hacia delante, situando los dedos en la ranura del proyector.



4 Afloje los dos tornillos de la unidad de la lámpara con el destornillador de estrella (❶), sujete el mando (❷) y, a continuación, extraiga la unidad de la lámpara.



5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio (❶). Apriete los dos tornillos (❷).



Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara.
- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

6 Devuelva la cubierta de la lámpara a la posición original y apriete los tres tornillos con el destornillador de estrella.

Nota

Asegúrese de fijar bien la cubierta de la lámpara como estaba. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

7 Conecte el cable de alimentación.
El indicador ON/STANDBY se ilumina en rojo.

8 Pulse la tecla I/⏻ para encender el proyector.

9 Pulse la tecla MENU y, a continuación, seleccione el menú Configuración.

10 Seleccione "Reiniciar cont. lámp." y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
Se muestra un mensaje.

11 Seleccione "Sí" y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
El contador de la lámpara se inicializa a 0 y se muestra "Reinic. cont. lámp. completa." en la pantalla de menús.

12 Seleccione "OK".

Precaución

Para evitar descargas eléctricas o incendios, no introduzca las manos en la ranura de sustitución de la lámpara, ni permita que se introduzcan líquidos ni ningún otro objeto.

Nota

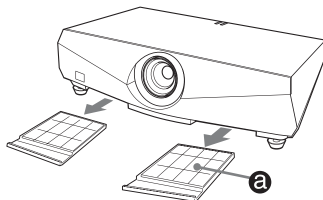
Para borrar un mensaje, pulse cualquier tecla del panel de control del proyector o del mando a distancia.

Limpieza del filtro de aire

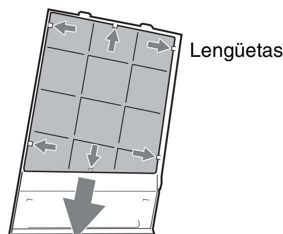
El filtro de aire debe limpiarse siempre que se sustituya la lámpara.
Retire el filtro de aire y, a continuación, quite el polvo con una aspiradora.
El tiempo necesario para limpiar el filtro de aire variará en función del entorno y de cómo se utilice el proyector.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Retire las cubiertas del filtro de aire.
El filtro de aire en el VPL-FX41/FW41 sólo está ubicado en un lado ⓐ .



3 Retire el filtro de aire de las lengüetas (6 posiciones) de la cubierta del filtro del aire.



4 Limpie el filtro del aire con una aspiradora.

5 Coloque el filtro del aire de forma que encaje en las lengüetas (6 posiciones) de la cubierta, y vuelva a colocar la cubierta.

Precaución

No descuide la limpieza del filtro de aire, de lo contrario el polvo podría acumularse hasta llegar a obstruirlo. Ello podría provocar un aumento de la temperatura en el interior de la unidad y originar un incendio, o ser la causa de un mal funcionamiento.

Notas

- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por uno nuevo.
  Para ver información detallada sobre el nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro del aire; la alimentación no puede activarse si no está bien cerrada.
- El filtro de aire tiene una cara delantera y otra trasera. Coloque el filtro de aire de modo que estén visibles los marcos del filtro.
- Para borrar un mensaje, pulse cualquier tecla del panel de control del proyector o del mando a distancia.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener información detallada sobre los síntomas, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• La alimentación se ha desactivado y activado de nuevo con la tecla I/⏻ en un corto intervalo. → Espere unos 60 segundos antes de activar la alimentación. • La cubierta de la lámpara no está fijada. → Cierre firmemente la cubierta de la lámpara. • La cubierta del filtro del aire no está fijada. → Cierre firmemente la cubierta del filtro de aire.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
Sin imagen.	• Hay un cable desconectado o las conexiones son incorrectas. → Compruebe que ha realizado las conexiones adecuadas. • La selección de entrada es incorrecta. → Seleccione correctamente la fuente de entrada mediante la tecla INPUT. • La imagen está apagada. → Pulse la tecla PIC MUTING para liberar el apagado de la imagen. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo, o tanto para un monitor externo como para un monitor LCD de ordenador. → Ajuste el ordenador para que envíe la señal solamente a un monitor externo. → Dependiendo del tipo de ordenador, por ejemplo un portátil o un equipo LCD de tipo "todo en uno", es posible que deba pulsar determinadas teclas o cambiar la configuración del ordenador para conmutar la salida del ordenador al proyector. Para obtener más información, consulte las instrucciones de funcionamiento suministradas con el ordenador.
La imagen aparece con ruido.	Puede que aparezca ruido de fondo, en función de la combinación del número de puntos introducidos desde el conector y el número de píxeles del panel LCD. → Cambie el patrón del escritorio del ordenador conectado.
La imagen no es nítida.	• La imagen está desenfocada. → Ajuste el enfoque. • Se ha acumulado condensación en el objetivo. → Deje el proyector encendido durante unas dos horas.

Síntoma	Causa y solución
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. ➔ Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. ➔ Ajuste correctamente “Desplazamiento” en el menú Pantalla.
La imagen parpadea.	“Fase”, en el menú Pantalla, no se ha ajustado correctamente. ➔ Ajuste correctamente “Fase” en el menú Pantalla.

Indicadores

Mensaje	Significado y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	La cubierta de la lámpara o la del filtro del aire no está fijada. ➔ Fije firmemente la cubierta.
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)	• La lámpara ha llegado al final de su vida útil. ➔ Sustituya la lámpara. • La lámpara ha alcanzado una alta temperatura. ➔ Espere 60 segundos para que la lámpara se enfríe y vuelva a activar la alimentación.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La temperatura interna es anormalmente alta. ➔ Compruebe que nada bloquee los orificios de ventilación. • Se está utilizando el proyector a una altitud elevada. ➔ Compruebe que la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración está ajustada en “Sí”.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 4 flashes)	El ventilador está averiado. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.
ON/STANDBY parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 6 flashes)	Desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma mural cuando se apague el indicador ON/STANDBY, enchufe el cable de alimentación en la toma mural y encienda el proyector de nuevo. Si ON/STANDBY parpadea en rojo y el problema persiste, el sistema eléctrico ha fallado. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.

Especificaciones

Sistema de proyección
3 paneles LCD, 1 objetivo, sistema de obturación de 3 colores primarios

Panel LCD
VPL-FE40: panel SXGA+ de 0,79 pulgadas (20,1 mm), 4.410.000 píxeles (1400 × 1050 × 3)
VPL-FX40/FX41: panel XGA de 0,79 pulgadas (20,1 mm), 2.359.296 píxeles (1024 × 768 × 3)
VPL-FW41: panel WXGA de 0,75 pulgadas (19,1 mm), 3.072.000 píxeles (1280 × 800 × 3)

Objetivo
Objetivo zoom de 1,3 aumentos (eléctrico)
* El objetivo no se suministra con el modelo VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L.

Lámpara
Lámpara de presión ultra alta de 275 W

Tamaño de imagen proyectada
40 a 600 pulgadas (1.016 a 15.240 mm) (Cuando se utiliza el VPLL-1008: 60 a 300 pulgadas (1.524 a 7.620 mm))

Salida de luz
VPL-FE40/FX40: 4000 lúmenes ANSI
VPL-FX41: 5200 lúmenes ANSI
VPL-FW41: 4500 lúmenes ANSI
(Cuando el Modo Lámpara está establecido en “Alto”.)

Distancia de proyección (si se coloca en el suelo).
VPL-FE40/FX40/FX41:
(Cuando se introduce una señal SXGA+ (VPL-FE40)/XGA (VPL-FX40/FX41))
40 pulgadas (1.016 mm): 1,5 a 1,9 m (4,9 a 6,2 pies)
60 pulgadas (1.524 mm): 2,3 a 2,9 m (7,4 a 9,5 pies)
80 pulgadas (2.032 mm): 3,0 a 3,9 m (9,9 a 12,7 pies)
100 pulgadas (2.540 mm): 3,8 a 4,8 m (12,5 a 15,9 pies)
150 pulgadas (3.810 mm): 5,7 a 7,3 m (18,8 a 23,9 pies)
200 pulgadas (5.080 mm): 7,7 a 9,7 m (25,2 a 32,0 pies)
300 pulgadas (7.620 mm): 11,6 a 14,6 m (37,9 a 48,0 pies)
400 pulgadas (10.160 mm): 15,4 a 19,5 m (50,6 a 64,1 pies)
500 pulgadas (12.700 mm): 19,3 a 24,4 m (63,3 a 80,2 pies)
600 pulgadas (15.240 mm): 23,2 a 29,4 m (76,0 a 96,3 pies)

VPL-FW41:
(Cuando “Aspecto” en el menú Pantalla está ajustado en “Completo2” o “Completo”)
40 pulgadas (1.016 mm): 1,6 a 2,0 m (5,1 a 6,5 pies)
60 pulgadas (1.524 mm): 2,4 a 3,0 m (7,8 a 9,9 pies)
80 pulgadas (2.032 mm): 3,2 a 4,1 m (10,4 a 13,3 pies)
100 pulgadas (2.540 mm): 4,0 a 5,1 m (13,1 a 16,7 pies)
120 pulgadas (3.048 mm): 4,8 a 6,1 m (15,8 a 20,1 pies)
150 pulgadas (3.810 mm): 6,0 a 7,7 m (19,8 a 25,1 pies)
200 pulgadas (5.080 mm): 8,1 a 10,2 m (26,4 a 33,5 pies)
300 pulgadas (7.620 mm): 12,1 a 15,4 m (39,7 a 50,4 pies)
400 pulgadas (10.160 mm): 16,2 a 20,5 m (53,1 a 67,3 pies)
500 pulgadas (12.700 mm): 20,2 a 25,7 m (66,4 a 84,2 pies)
600 pulgadas (15.240 mm): 24,3 a 30,8 m (79,7 a 101,1 pies)

Es posible que exista una pequeña diferencia entre el valor real y el valor de diseño antes mostrado.

Sistema de color
Sistemas NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, de conmutación automática/manual

Señales de ordenador aceptables
fH: 19 a 92 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: UXGA 1600 × 1200 fV: 60 Hz)

Señal de vídeo compatible
15 kHz RGB 50/60 Hz, Componentes progresivos 50/60 Hz, DTV, Vídeo compuesto, Vídeo Y/C

Dimensiones
532 × 145 × 352 mm (21 × 5 3/4 × 13 7/8 pulgadas) (ancho/alto/profundidad) (sin las partes salientes)

Masa
Aprox. 9,8 kg (21 lb 10 oz) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Aprox. 9,0 kg (19 lb 13 oz) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)

Requisitos de alimentación
ca 100 a 240 V, 4,1 a 1,7 A, 50/60 Hz
Consumo eléctrico
400 W máx. (en espera (estándar): 15 W, en espera (baja): 0,5 W)
Accesorios suministrados
Mando a distancia (1)
Pilas tamaño AA (R6) (2)
Tapa del objetivo (1) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Cubierta del orificio del objetivo (1) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)
Cable de alimentación de ca (1)
CD-ROM (Instrucciones de funcionamiento, software de aplicación) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Normativa de seguridad (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones de la unidad, incluidos los accesorios opcionales, están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-F270 (de repuesto)
Soporte de suspensión del proyector
PSS-610
Herramienta de presentación
RM-PJPK1
Objetivo de proyección
Objetivo fijo de enfoque corto VPLL-1008
Objetivo zoom de enfoque corto VPLL-Z1014
Objetivo zoom de enfoque medio VPLL-Z1024
Objetivo zoom de enfoque largo VPLL-Z1032

No todos los accesorios opcionales están disponibles en todos los países y zonas. Solicite información al distribuidor autorizado de Sony más cercano.

Info zu den mitgelieferten Anleitungen

Die folgenden Anleitungen und Software-Programme werden mit dem Projektor geliefert.
Auf einem Macintosh-System können Sie nur die Bedienungsanleitung und die Installationsanleitung für Händler lesen.

Anleitungen

Sicherheitsbestimmungen (getrennte Druckschrift)

Diese Anleitung enthält wichtige Hinweise und Vorsichtsmaßnahmen, die bei der Handhabung und Benutzung dieses Projektors zu beachten sind.

Kurzreferenz (vorliegende Anleitung)

Diese Anleitung beschreibt die grundlegende Bedienung für das Projizieren von Bildern nach der Herstellung der erforderlichen Anschlüsse.

Bedienungsanleitung (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Funktionen dieses Projektors.

Bedienungsanleitung für Netzwerk (auf der CD-ROM)

Diese Bedienungsanleitung beschreibt die Einrichtung und Bedienung der Netzwerkpräsentation.

Installationsanleitung für Händler (auf der CD-ROM)

Diese Anleitung enthält Informationen zum Anschluss von optionalen Objektiven und zur Installation des Projektors.

Software (auf der CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx) (nur Japanisch und Englisch)

Dies ist eine Anwendungs-Software für die Datenübertragung von einem Computer zum Projektor.

Info zur Kurzreferenz

Diese Kurzreferenz erläutert die Anschlüsse und grundlegenden Bedienungsverfahren dieses Gerätes und enthält Hinweise zu den für die Wartung erforderlichen Vorgehensweisen und Informationen.
Einzelheiten zu den Bedienungsvorgängen finden Sie in der Bedienungsanleitung, die in der mitgelieferten CD-ROM enthalten ist.
Angaben zu Sicherheitsmaßnahmen finden Sie in der getrennten Druckschrift „Sicherheitsbestimmungen“.

Wenn nicht anders angegeben, gelten die Angaben in dieser Anleitung bezüglich VPL-FE40 auch für VPL-FE40L, die Angaben bezüglich VPL-FX40 gelten auch für VPL-FX40L, die Angaben bezüglich VPL-FX41 gelten auch für VPL-FX41L und die Angaben bezüglich VPL-FW41 gelten auch für VPL-FW41L.

Benutzung der CD-ROM-Anleitungen

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung, die ReadMe-Datei und die Installationsanleitung für Händler in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch, Chinesisch und Russisch. Lesen Sie zuerst die ReadMe-Datei durch.

Vorbereitungen

Um die Bedienungsanleitung auf der CD-ROM lesen zu können, benötigen Sie Adobe Acrobat Reader 5.0 oder später. Falls Adobe Acrobat Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die Software Acrobat Reader von der Adobe Systems-Website kostenlos herunterladen.

So lesen Sie die Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung ist in der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Die CD-ROM wird dann kurz darauf automatisch gestartet. Wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.
Je nach der Einstellung des Computers startet die CD-ROM u.U. nicht automatisch. Öffnen Sie in diesem Fall die Bedienungsanleitungsdatei wie folgt:

(Im Falle von Windows)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.

② Rechtsklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol, und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

(Im Falle von Macintosh)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

Hinweise

Falls sich die Datei „index.htm“ nicht öffnen lässt, doppelklicken Sie auf die gewünschte Bedienungsanleitung unter denen im Ordner „Operating_Instructions“.

Info zu Warenzeichen

- Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Macintosh ist ein eingetragenes Warenzeichen von Apple Inc. in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.
- Adobe und Acrobat Reader sind eingetragene Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated in den Vereinigten Staaten und/oder in anderen Ländern.

Alle anderen Warenzeichen und eingetragene Warenzeichen sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen des jeweiligen Inhabers. In dieser Anleitung werden die ™- und ®-Marken nicht angegeben.

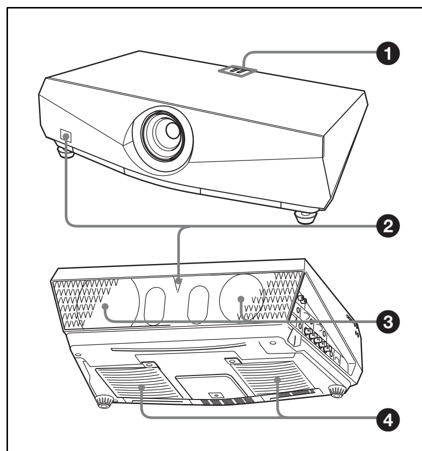
DE

Benutzungshinweise

Hinweis zu den Lüftungsöffnungen

Die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) dürfen nicht blockiert werden. Falls sie blockiert werden, kann es zu einem internen Wärmestau kommen, der einen Brand oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.
Die Lage der Lüftungsöffnungen können Sie anhand der folgenden Abbildungen feststellen.

Weitere Vorsichtsmaßnahmen sind im Beiblatt „Sicherheitsbestimmungen“ angegeben, das Sie sorgfältig durchlesen sollten.



1 Anzeigen

2 Fernbedienungssensor

3 Lüftungsöffnungen (Auslass)

4 Lüftungsöffnungen (Einlass)

Die Lüftungsöffnung (Einlass) des VPL-FX41/FW41 befindet sich nur an einer Seite.

Projizieren

Anschließen des Projektors

Achten Sie beim Anschließen des Projektors auf Folgendes:

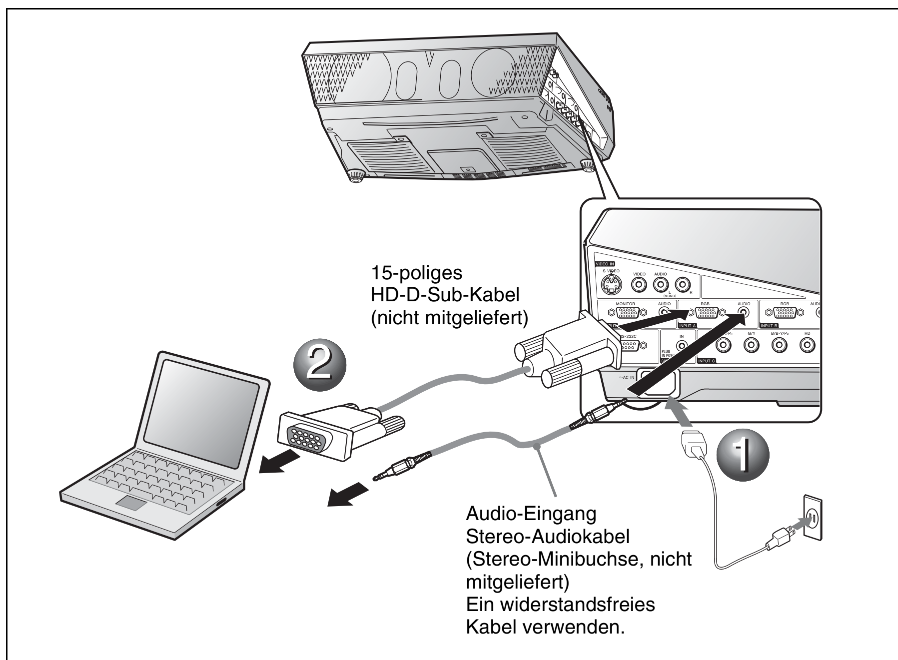
- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die korrekten Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest ein. Ziehen Sie beim Abtrennen eines Kabels am Stecker, nicht am Kabel selbst.

Schlagen Sie auch in der Bedienungsanleitung des anzuschließenden Gerätes nach.

Anschluss eines Computers (analog)

1 Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

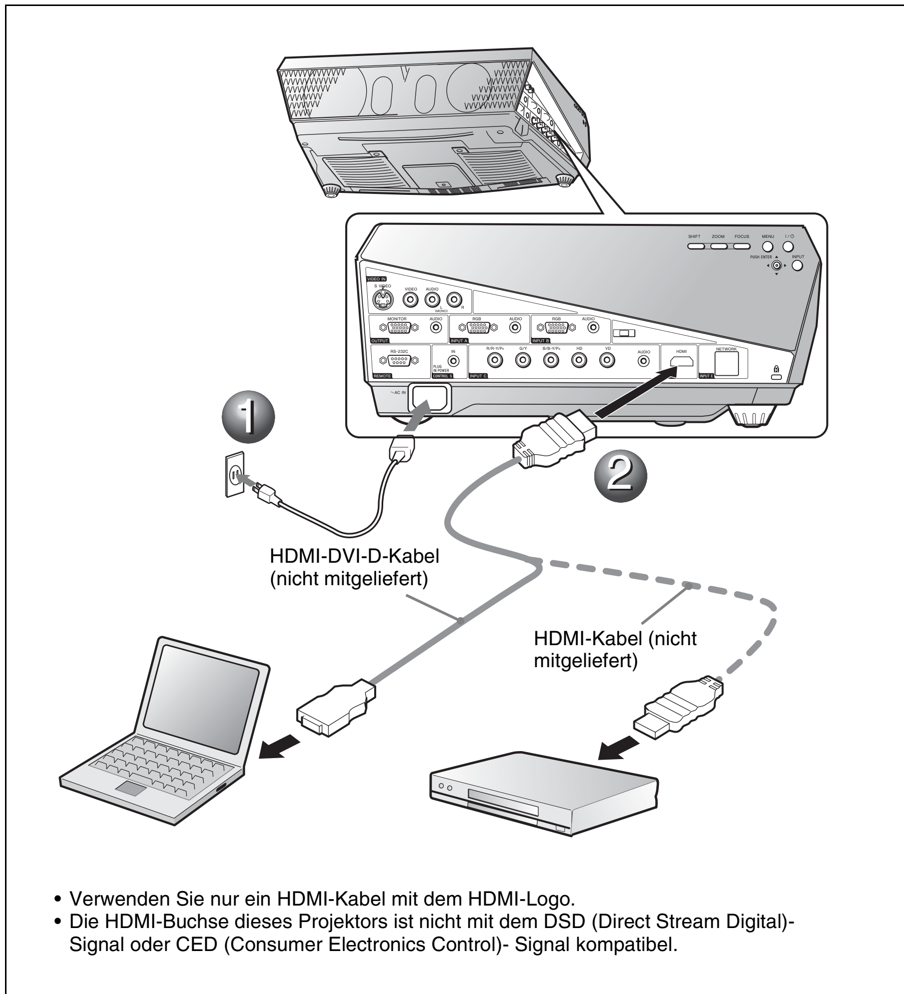
2 Schließen Sie den Projektor an den Computer an.



Anschluss eines Computers (digital) oder Videogerätes (digital)

❶ Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❷ Schließen Sie den Projektor an einen Computer oder ein Videogerät an.

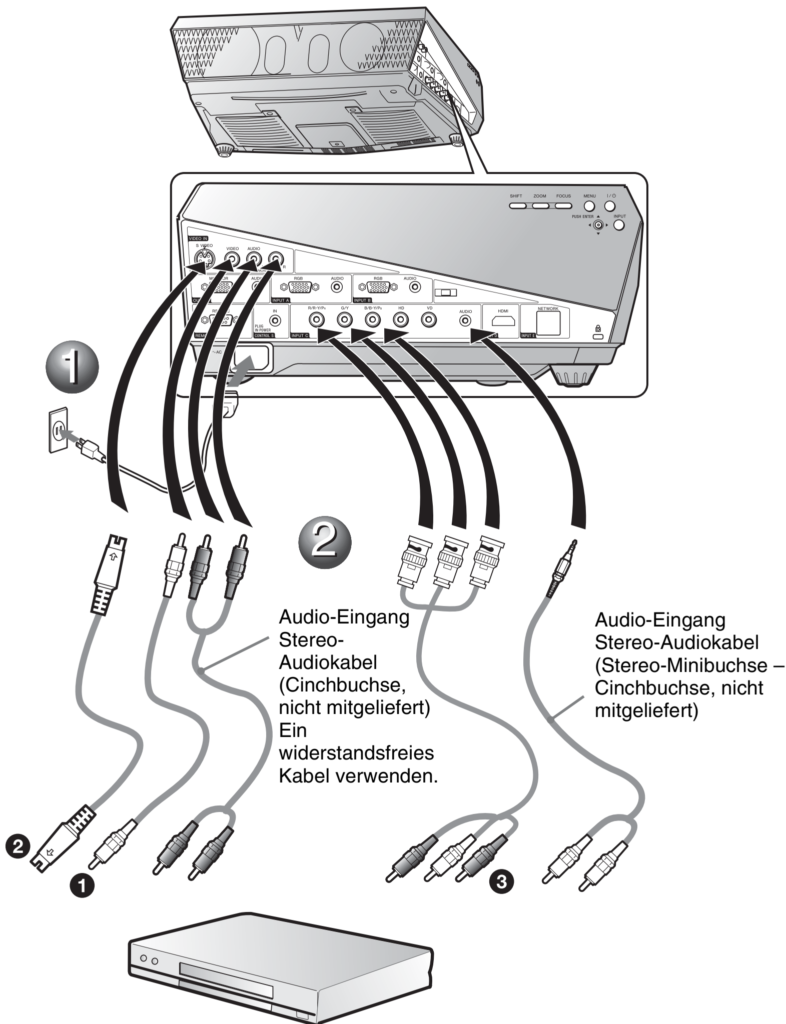


- Verwenden Sie nur ein HDMI-Kabel mit dem HDMI-Logo.
- Die HDMI-Buchse dieses Projektors ist nicht mit dem DSD (Direct Stream Digital)-Signal oder CED (Consumer Electronics Control)- Signal kompatibel.

Anschluss eines Videorecorders/DVD-Players

❶ Stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

❷ Schließen Sie den Projektor an ein Videogerät an.



Für die Videosignalverbindung sind die folgenden drei Anschlussoptionen verfügbar:

❶ FBAS-Videokabel (Cinchstecker) (nicht mitgeliefert)

❷ S-Videokabel (Mini-DIN, 4-polig) (nicht mitgeliefert)

❸ Komponentenkabel (BNC × 3) (nicht mitgeliefert) (ein widerstandsfreies Kabel verwenden.)

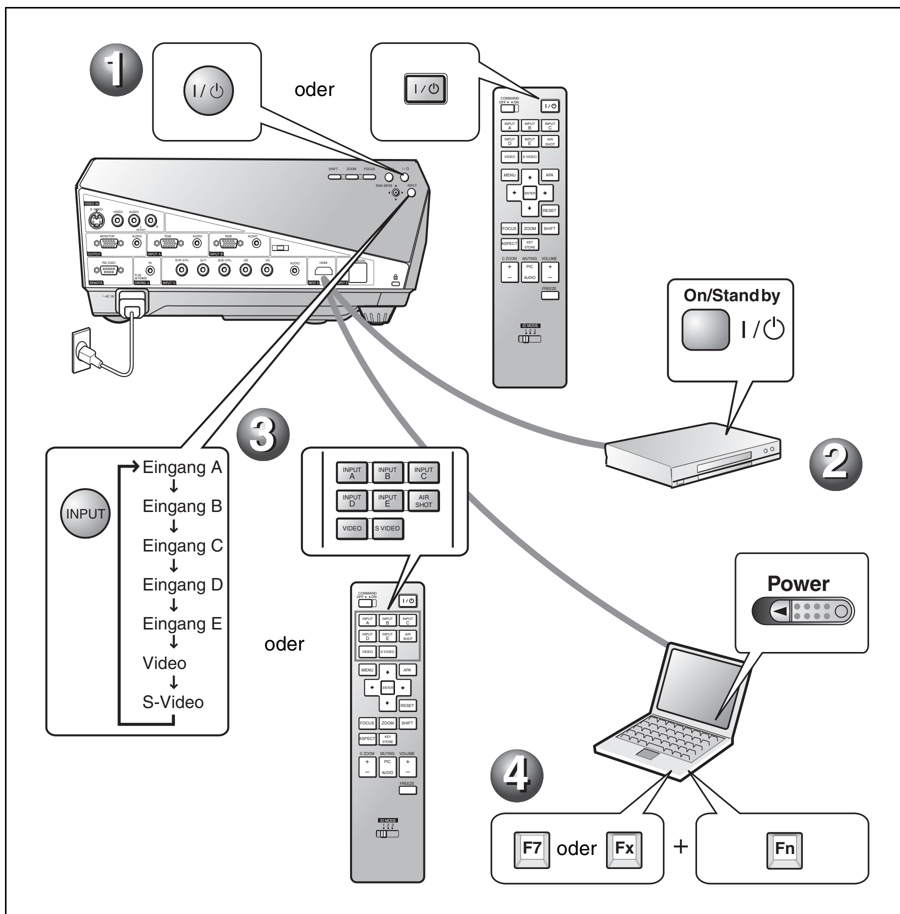
Projizieren

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Schalten Sie das an den Projektor angeschlossene Gerät ein.**

❸ **Drücken Sie die Taste INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld zur Wahl der Eingangsquelle.**

❹ **Wenn Sie einen Computer anschließen, stellen Sie ihn so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.**

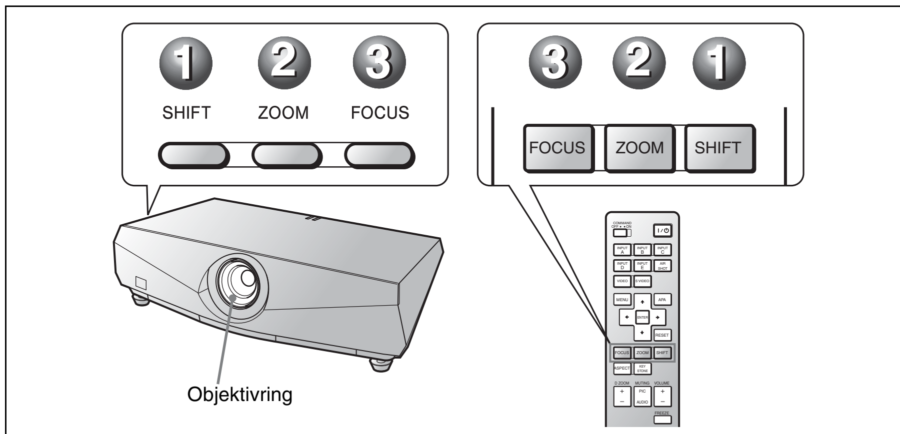


Einstellen des Projektors

❶ **Stellen Sie die obere, untere, linke oder rechte Bildposition ein.**

❷ **Stellen Sie die Bildgröße ein.**

❸ **Stellen Sie die Schärfe ein.**
Der Projektor verfügt über das Menü Bild zur Wahl des Bildmodus und das Menü Bildschirm zur Wahl des geeigneten Bildseitenverhältnisses.



Hinweise

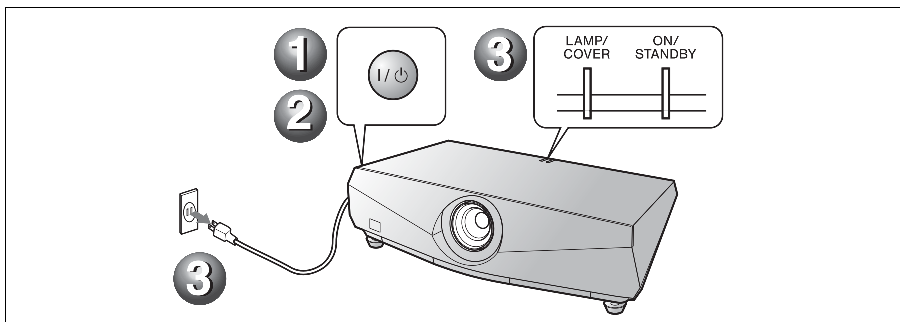
- Das Modell VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L wird ohne Objektiv geliefert.
- Das Objektiv VPLL-1008 verfügt nicht über die Verschiebungs-/Zoomfunktion. Um den Fokus des Bilds einzustellen, drehen Sie den Objektivring.

Ausschalten des Projektors

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/ Bereitschaft) erneut.**

❸ **Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Lüfter stehen bleibt und die Anzeige ON/STANDBY in Rot aufleuchtet.**



Auswechseln der Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe ist ein Verbrauchsprodukt. Ersetzen Sie daher diese Lampe in den folgenden Fällen durch eine neue.

- Wenn die Lampe durchgebrannt ist oder schwach wird
- Wenn „Bitte die Lampe auswechseln und den Filter reinigen.“ auf dem Bildschirm erscheint
- Die Anzeige LAMP/COVER blinkt in Rot. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)

Die Lampenlebensdauer hängt von den Benutzungsbedingungen ab.
Verwenden Sie eine Projektorlampe LMP-F270 als Ersatzlampe.
Werden anstelle der Lampe LMP-F270 andere Lampen verwendet, kann der Projektor beschädigt werden.

Vorsicht

Die Lampe bleibt auch nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻ noch längere Zeit heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.**

Hinweise

- Wenden Sie sich im Falle eines Lampenausfalls an qualifiziertes Personal.
- Ziehen Sie die Lampe am Knopf heraus. Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich verbrennen oder verletzen.
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass sie horizontal bleibt, und ziehen Sie sie gerade heraus. Die Lampe nicht kippen. Falls Sie die Lampeneinheit schräg herausziehen und die Lampe bricht, können die Bruchstücke verstreut werden und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

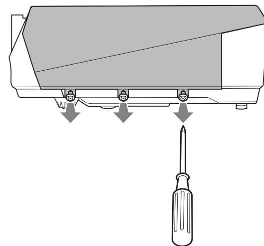
Hinweis

Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

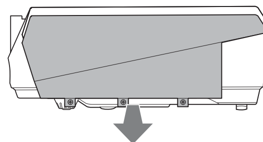
Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie nicht den Glaskörper der Lampe berühren.

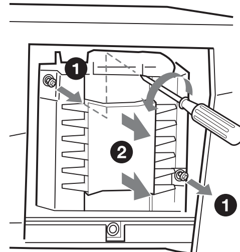
2 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der drei Schrauben mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.



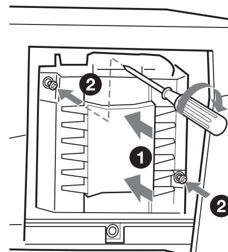
3 Entfernen Sie die Lampenabdeckung, indem Sie sie mit den Fingern im Schlitz des Projektors nach vorn anheben.



4 Lösen Sie die zwei Schrauben an der Lampeneinheit mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher (❶), halten Sie den Knopf (❷), und ziehen Sie dann die Lampeneinheit heraus.



5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt (❶). Ziehen Sie die zwei Schrauben an (❷).



- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, falls die Lampe nicht einwandfrei gesichert ist.

6 Bringen Sie die Lampenabdeckung wieder in ihre Ausgangsstellung, und ziehen Sie die drei Schrauben mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher an.

Hinweis

Befestigen Sie die Lampenabdeckung wieder vorschriftsmäßig. Anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

7 Schließen Sie das Netzkabel an.
Die Anzeige ON/STANDBY leuchtet in Rot.

8 Drücken Sie die Taste I/⏻, um den Projektor einzuschalten.

9 Drücken Sie die Taste MENU, und wählen Sie dann das Menü Einrichtung.

10 Wählen Sie „Lampentimer-Rückstellung", und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Eine Meldung wird angezeigt.

11 Wählen Sie „Ja", und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Der Lampentimer wird auf 0 zurückgestellt, und „Lampentimer-Rückstellung fertig!" wird auf dem Menübildschirm angezeigt.

12 Wählen Sie „OK".

Vorsicht

Greifen Sie nicht in den Lampensteckplatz, und achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper in den Steckplatz eindringen, **um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden.**

Hinweis

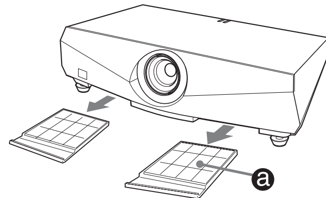
Um eine Meldung zu löschen, drücken Sie eine beliebige Taste am Bedienfeld des Projektors oder an der Fernbedienung.

Reinigen des Luftfilters

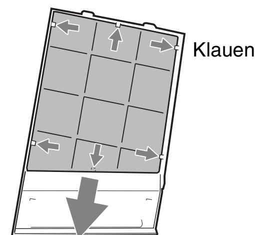
Der Luftfilter sollte bei jedem Auswechseln der Lampe gereinigt werden.
Nehmen Sie den Luftfilter heraus, und entfernen Sie dann den Staub mit einem Staubsauger.
Die für die Reinigung des Luftfilters erforderliche Zeit hängt von der Umgebung oder der Benutzungsweise des Projektors ab.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Entfernen Sie die Luftfilterabdeckungen.
Beim VPL-FX41/FW41 befindet sich nur an einer Seite ⓐ ein Luftfilter.



3 Nehmen Sie den Luftfilter von den Klauen (6 Positionen) der Luftfilterabdeckung ab.



4 Reinigen Sie den Luftfilter mit einem Staubsauger.

5 Bringen Sie den Luftfilter so an, dass er von den Klauen (6 Positionen) an der Luftfilterabdeckung gehalten wird, und setzen Sie die Abdeckung wieder ein.

Vorsicht

Falls die Reinigung des Luftfilters vernachlässigt wird, kann er sich durch angesammelten Staub zusetzen. Als Folge davon kann die Temperatur im Inneren des Projektors ansteigen, was zu einer möglichen

Funktionsstörung oder einem Brand führen kann.

Hinweise

- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch einen neuen.
  Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, konsultieren Sie bitte qualifiziertes Sony-Personal.
- Schließen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei; anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.
- Der Luftfilter hat eine Vorder- und Rückseite. Setzen Sie den Luftfilter so ein, dass der Rahmen am Luftfilter sichtbar ist.
- Um eine Meldung zu löschen, drücken Sie eine beliebige Taste am Bedienfeld des Projektors oder an der Fernbedienung.

Fehlerbehebung

Falls der Projektor nicht richtig zu funktionieren scheint, versuchen Sie zunächst, die Störung mithilfe der folgenden Anweisungen ausfindig zu machen und zu beheben. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Einzelheiten zu den Symptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Der Projektor lässt sich nicht einschalten.	• Der Projektor ist mit der Taste I/⏻ in kurzen Abständen aus- und eingeschaltet worden. ➔ Warten Sie bis zum erneuten Einschalten etwa 60 Sekunden. • Die Lampenabdeckung ist losgelöst. ➔ Schließen Sie die Lampenabdeckung einwandfrei. • Die Luftfilterabdeckung ist los. ➔ Schließen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Die Eingangswahl ist falsch. ➔ Wählen Sie die Eingangsquelle mit der Taste INPUT korrekt aus. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Bildabschaltung aufzuheben. • Der Computer ist so eingestellt, dass sein Signal entweder gar nicht zu einem externen Monitor oder sowohl zu einem externen Monitor als auch zum LCD-Monitor des Computers ausgegeben wird. ➔ Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe nur zu einem externen Monitor erfolgt. ➔ Je nach der Art Ihres Computers (z.B. Notebook-Computer oder voll integrierter LCD-Typ) müssen Sie den Computer eventuell durch Drücken bestimmter Tasten oder durch Ändern der Einstellungen so einstellen, dass das Ausgangssignal an den Projektor ausgegeben wird. Einzelheiten hierzu entnehmen Sie bitte der Bedienungsanleitung Ihres Computers.
Das Bild ist verrauscht.	Je nach der Kombination der über die Buchse eingegebenen Bildpunktezahl und der Pixelzahl auf dem LCD-Panel kann Hintergrundrauschen auftreten. ➔ Ändern Sie das Desktopmuster am angeschlossenen Computer.
Das Bild ist nicht klar.	• Bild ist nicht fokussiert. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Kondensation hat sich auf dem Objektiv niedergeschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild steht von der Leinwand über.	Die Taste APA ist gedrückt worden, obwohl schwarze Ränder um das Bild vorhanden sind. ➔ Projizieren Sie das volle Bild auf die Leinwand, und drücken Sie die Taste APA. ➔ Stellen Sie „Lage“ im Menü Bildschirm korrekt ein.
Das Bild flimmert.	„Phase“ im Menü Bildschirm ist nicht richtig eingestellt worden. ➔ Stellen Sie „Phase“ im Menü Bildschirm korrekt ein.

Anzeigen

Meldung	Bedeutung und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	Die Lampenabdeckung oder die Luftfilterabdeckung ist abgenommen. ➔ Bringen Sie die Abdeckung sicher an.
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)	• Die Lampe hat das Ende ihrer Nutzungsdauer erreicht. ➔ Wechseln Sie die Lampe aus. • Die Lampe ist zu heiß geworden. ➔ Lassen Sie die Lampe 60 Sekunden lang abkühlen, bevor Sie den Projektor wieder einschalten.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. ➔ Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen durch nichts blockiert werden. • Der Projektor wird in großer Höhe benutzt. ➔ Vergewissern Sie sich, dass „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ gesetzt ist.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 4 Blinkzeichen)	Der Lüfter ist defekt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
ON/STANDBY blinkt in Rot. (Wiederholrate von 6 Blinkzeichen)	Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, nachdem die Anzeige ON/STANDBY erloschen ist, schließen Sie dann das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie den Projektor wieder ein. Falls die Anzeige ON/STANDBY in Rot blinkt und das Problem weiterhin bestehen bleibt, liegt eine Störung im elektrischen System vor. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Spezifikationen

Projektionssystem
3 LCD-Panel, 1 Objektiv, 3-Primärfarben-Verschlusssystem
LCD-Panel VPL-FE40: 0,79-Zoll (20,1 mm)-SXGA+ Panel, 4.410.000 Pixel (1400 × 1050 × 3)
VPL-FX40/FX41: 0,79-Zoll (20,1 mm) -XGA-Panel, 2.359.296 Pixel (1024 × 768 × 3)
VPL-FW41: 0,75-Zoll (19,1 mm)-WXGA Panel, 3.072.000 Pixel (1280 × 800 × 3)
Objektiv 1,3-fach-Zoomobjektiv (motorgetrieben)
* Das Modell VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L wird ohne Objektiv geliefert.
Lampe 275-W-Ultra-Hochdrucklampe
Projektionsbildgröße
40 bis 600 Zoll (1.016 bis 15.240 mm) (Bei Verwendung von VPLL-1008: 60 bis 300 Zoll (1.524 bis 7.620 mm))
Lichtleistung VPL-FE40/FX40: 4000 ANSI-Lumen
VPL-FX41: 5200 ANSI-Lumen
VPL-FW41: 4500 ANSI-Lumen
(Bei Einstellung des Lampenmodus auf „Hoch“)
Projektionsentfernung (Bei Bodenaufstellung)
VPL-FE40/FX40/FX41:
(Bei Eingabe eines SXGA+ Signals (VPL-FE40)/XGA-Signals (VPL-FX40/FX41))
40-Zoll (1.016 mm): 1,5 bis 1,9 m
60-Zoll (1.524 mm): 2,3 bis 2,9 m
80-Zoll (2.032 mm): 3,0 bis 3,9 m
100-Zoll (2.540 mm): 3,8 bis 4,8 m
150-Zoll (3.810 mm): 5,7 bis 7,3 m
200-Zoll (5.080 mm): 7,7 bis 9,7 m
300-Zoll (7.620 mm): 11,6 bis 14,6 m
400-Zoll (10.160 mm): 15,4 bis 19,5 m
500-Zoll (12.700 mm): 19,3 bis 24,4 m
600-Zoll (15.240 mm): 23,2 bis 29,4 m
VPL-FW41:
(Wenn „Seitenverhältnis“ im Menü Bildschirm auf „Voll2“ oder „Voll“ eingestellt ist)
40-Zoll (1.016 mm): 1,6 bis 2,0 m
60-Zoll (1.524 mm): 2,4 bis 3,0 m
80-Zoll (2.032 mm): 3,2 bis 4,1 m
100-Zoll (2.540 mm): 4,0 bis 5,1 m
120-Zoll (3.048 mm): 4,8 bis 6,1 m
150-Zoll (3.810 mm): 6,0 bis 7,7 m
200-Zoll (5.080 mm): 8,1 bis 10,2 m
300-Zoll (7.620 mm): 12,1 bis 15,4 m
400-Zoll (10.160 mm): 16,2 bis 20,5 m
500-Zoll (12.700 mm): 20,2 bis 25,7 m
600-Zoll (15.240 mm): 24,3 bis 30,8 m

Es kann eine geringe Differenz zwischen dem tatsächlichen Wert und dem oben angegebenen Nennwert auftreten.

Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60-System, automatische/manuelle Umschaltung
Akzeptable Computersignale
fH: 19 bis 92 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: UXGA 1600 × 1200 fV: 60 Hz)
Kompatibles Videosignal
15k RGB 50/60Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV, FBAS-Videosignal, Y/C-Videosignal
Abmessungen 532 × 145 × 352 mm (B/H/T) (ohne vorspringende Teile)
Gewicht ca. 9,8 kg (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
ca. 9,0 kg (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)
Stromversorgung
100 bis 240 V Wechselstrom, 4,1 bis 1,7 A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
Max. 400 W
(bei Bereitschaft (normal): 15 W, bei Bereitschaft (niedrig): 0,5 W)
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Batterien der Größe AA (R6) (2)
Objektivdeckel (1) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Objektivöffnungsdeckel (1) (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)
Netzkabel (1)
CD-ROM (Bedienungsanleitung, Anwendungs-Software) (1)
Kurzreferenz (1)

Sicherheitsbestimmungen (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Änderungen an Gerät und Sonderzubehör, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-F270 (Ersatz)
Projektor-Deckenhalter
PSS-610
Präsentationstool
RM-PJPK1
Projektionsobjektiv
Objektiv VPLL-1008 mit feststehender Kurzbrennweite
Zoomobjektiv VPLL-Z1014 mit kurzer Brennweite
Zoomobjektiv VPLL-Z1024 mit mittlerer Brennweite
Zoomobjektiv VPLL-Z1032 mit langer Brennweite

Das genannte Sonderzubehör ist nicht in allen Ländern und Regionen erhältlich. Bitte überprüfen Sie die Verfügbarkeit bei Ihrem Sony-Fachhändler vor Ort.

Informazioni sui manuali forniti

Con il proiettore sono forniti i seguenti manuali e software.
Su un sistema Macintosh è possibile leggere solo le istruzioni d'uso e il manuale d'installazione per i rivenditori.

Manuali

Normative di sicurezza (manuale stampato a parte)

Questo manuale fornisce note e precauzioni importanti da osservare nel maneggiare e utilizzare il proiettore.

Guida rapida all'uso (questo manuale)

Questo manuale descrive le funzioni fondamentali per proiettare le immagini dopo aver effettuato i collegamenti necessari.

Istruzioni d'uso (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono l'impostazione e il funzionamento del proiettore.

Istruzioni d'uso della rete (sul CD-ROM)

Queste istruzioni d'uso descrivono come impostare ed effettuare presentazioni in rete.

Manuale d'installazione per i rivenditori (sul CD-ROM)

Questo manuale illustra le informazioni di montaggio sul proiettore degli obiettivi opzionali e l'installazione del proiettore.

Software (sul CD-ROM)

Projector Station for Air Shot Version 2 (versione 2.xx) (solo in giapponese e inglese)

Software applicativo per la trasmissione dati da un computer al proiettore.

Informazioni sulla guida rapida all'uso

Questa guida rapida all'uso spiega i collegamenti e il funzionamento di base di questa unità e contiene delle note sulle funzioni e sulle informazioni relative alla manutenzione.
Per dettagli sul funzionamento, fare riferimento alle istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM in dotazione.
Per le precauzioni di sicurezza, fare riferimento alle "Normative di sicurezza" a parte.

Se non diversamente specificato nelle note, il VPL-FE40 descritto in questo manuale fa riferimento sia al VPL-FE40, sia al VPL-FE40L, il VPL-FX40 fa riferimento sia al VPL-FX40, sia al VPL-FX40L, il VPL-FX41 fa riferimento sia al VPL-FX41, sia al VPL-FX41L e il VPL-FW41 fa riferimento sia al VPL-FW41, sia al VPL-FW41L.

Uso dei manuali su CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le istruzioni d'uso, il file ReadMe e il manuale di installazione per i rivenditori in giapponese, inglese, francese, tedesco, italiano, spagnolo, cinese e russo. Fare innanzi tutto riferimento al file ReadMe.

Preparazione

Per leggere le istruzioni d'uso su CD-ROM è necessario Adobe Acrobat Reader 5.0 o successivo. Se sul computer di cui si dispone non è installato Adobe Acrobat Reader, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader dall'URL di Adobe Systems.

Leggere le istruzioni d'uso

Le istruzioni d'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM nell'apposita unità del computer e dopo un momento sì avvierà automaticamente. Selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.
In funzione del computer utilizzato il CD-ROM potrebbe non avviarsi automaticamente. In tal caso, aprire il file delle istruzioni d'uso come segue:

(Caso di Windows)

① Aprire "Risorse del computer".

② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM e selezionare "Esplora".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

(Caso di Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

Note

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle istruzioni d'uso che si desidera leggere fra quelle contenute nella cartella "Operating_Instructions".

Informazioni sui marchi commerciali

- Windows è un marchio commerciale registrato di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Macintosh è un marchio commerciale registrato di Apple Inc. negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Adobe e Acrobat Reader sono marchi registrati di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.

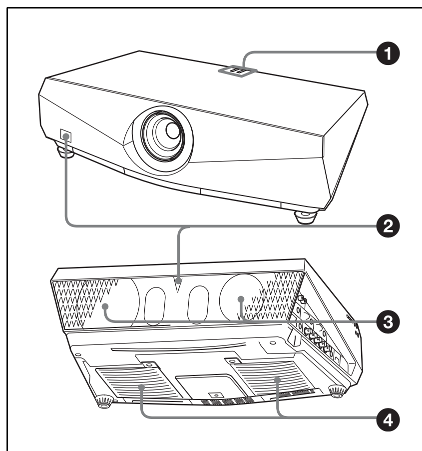
Tutti gli altri marchi commerciali e marchi commerciali registrati sono marchi commerciali o marchi commerciali registrati dei rispettivi proprietari. In questo manuale, i marchi ™ e ® non sono specificati.

Note sull'uso

Note sulle prese di ventilazione

Non ostruire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione). Se fossero ostruite, potrebbe verificarsi un surriscaldamento interno e provocare incendio o guasto dell'unità.
Verificare la posizione delle prese di ventilazione mostrate nelle illustrazioni che seguono.

Per altre precauzioni, leggere attentamente le "Normative di sicurezza" a parte.



1. **Spie**
2. **Rivelatore del telecomando**
3. **Prese di ventilazione (scarico)**
4. **Prese di ventilazione (aspirazione)**
   La presa di ventilazione (aspirazione) di VPL-FX41/FW41 si trova solo su un lato.

Proiezione

Collegamento del proiettore

Nel collegare il proiettore, prestare attenzione a quanto segue:

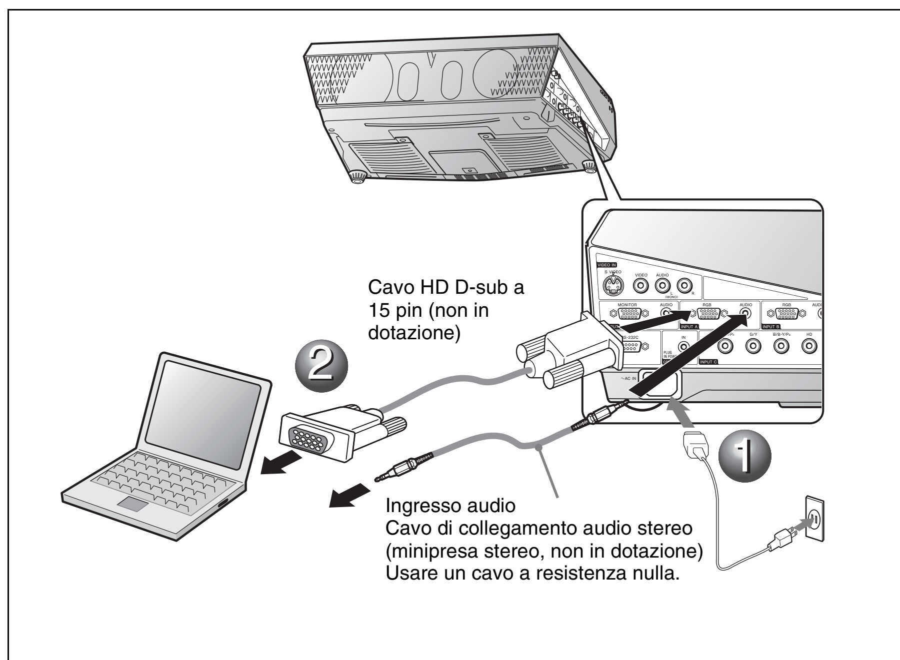
- Spegnere tutte le apparecchiature prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare cavi adatti a ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi. Per scollegare un cavo, afferrare la spina senza tirare il cavo stesso.

Fare anche riferimento al manuale di istruzioni dell'apparecchiatura da collegare.

Collegamento di un computer (analogico)

❶ Inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

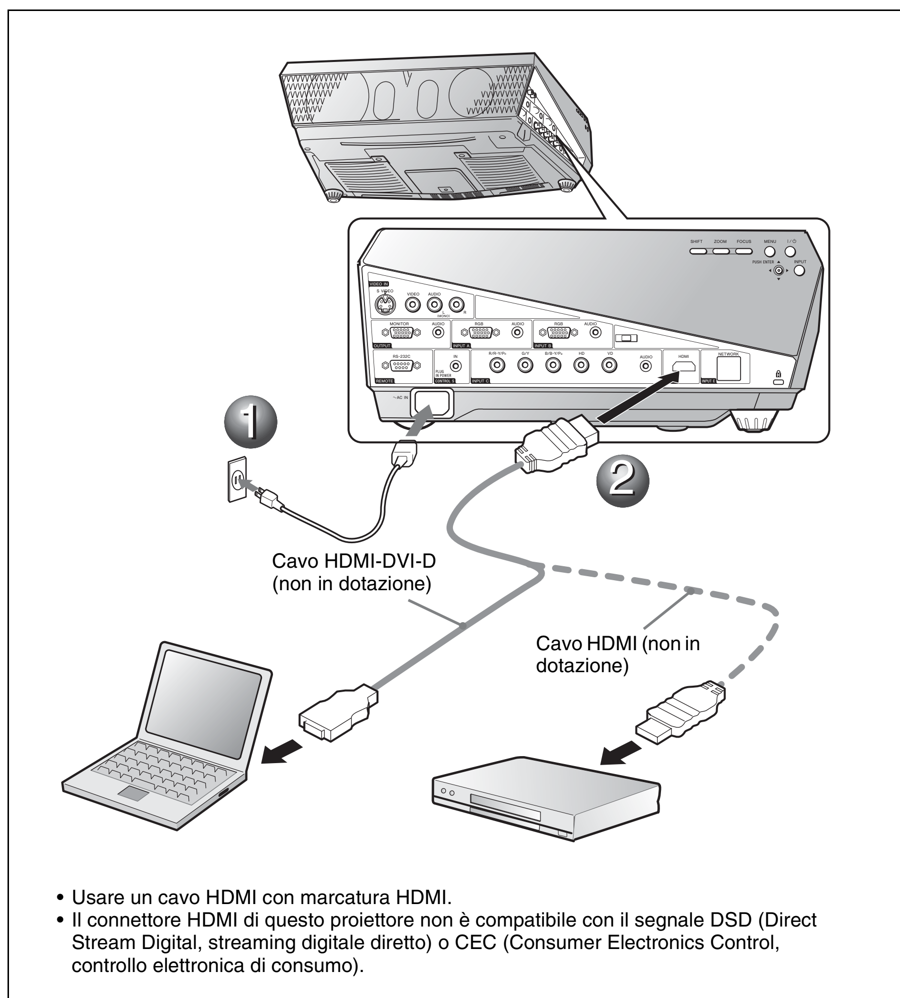
❷ Collegare il proiettore al computer.



Collegamento di un computer (digitale) o di apparecchiatura video (digitale)

❶ **Inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.**

❷ **Collegare il proiettore a un computer o apparecchiatura video.**

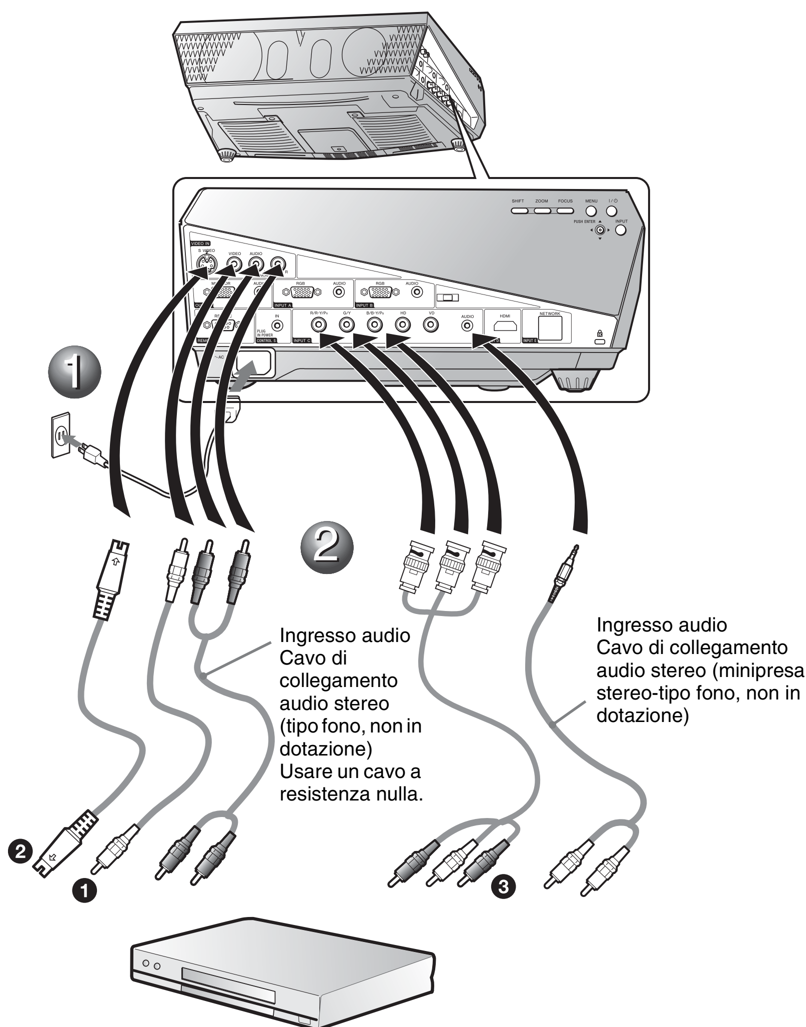


- Usare un cavo HDMI con marcatura HDMI.
- Il connettore HDMI di questo proiettore non è compatibile con il segnale DSD (Direct Stream Digital, streaming digitale diretto) o CEC (Consumer Electronics Control, controllo elettronica di consumo).

Collegamento a un videoregistratore/lettore DVD

❶ Inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

❷ Collegare il proiettore all'apparecchiatura video.



I collegamenti di segnali video disponibili sono i seguenti:

❶ Cavo video composito (spina fono) (non in dotazione)

❷ Cavo S video (mini DIN a 4 pin) (non in dotazione)

❸ Cavo componente (BNC × 3) (non in dotazione) (Usare un cavo a resistenza nulla.)

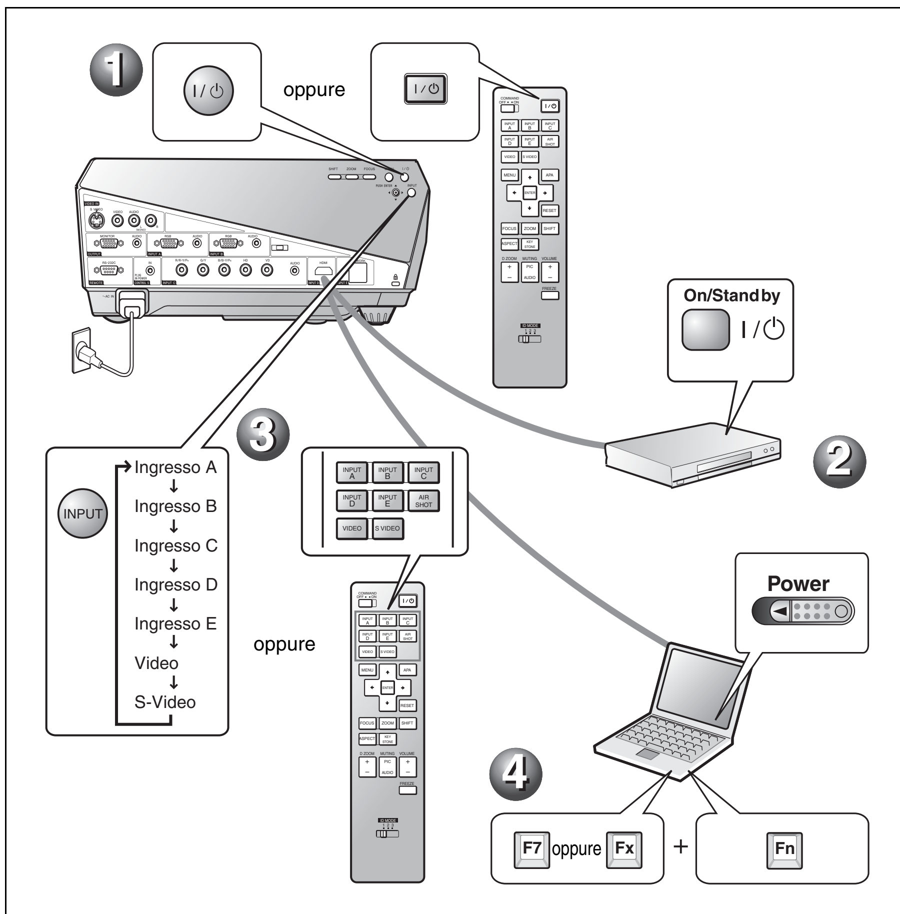
Proiezione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (acceso/attesa).**

❷ **Accendere l’apparecchiatura collegata al proiettore.**

❸ **Premere il tasto INPUT sul telecomando o sul pannello di controllo per selezionare la sorgente d’ingresso.**

❹ **Quando il computer è collegato, impostarlo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.**



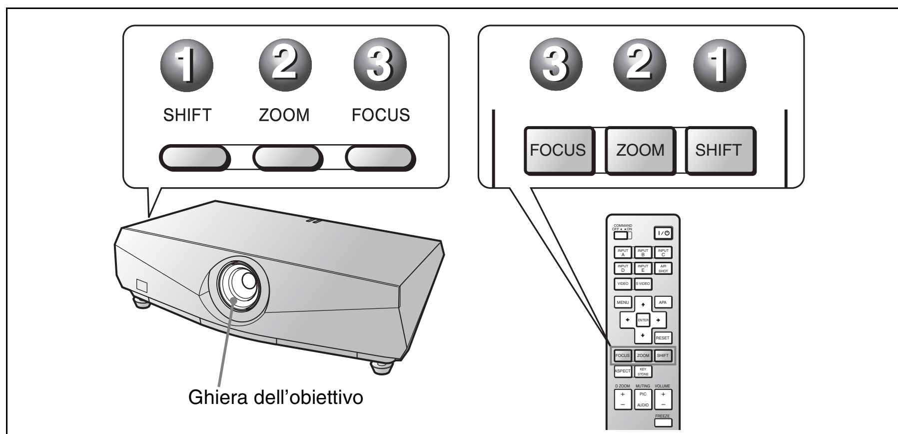
Regolazione del proiettore

❶ **Regolare la posizione dell'immagine verso l'alto, basso, sinistra o destra.**

❷ **Regolare le dimensioni dell'immagine.**

❸ **Regolare la messa a fuoco.**

Il proiettore dispone del menu Immagine per selezionare il modo dell'immagine e del menu Schermo per selezionare la proporzione adatta all'immagine.



Note

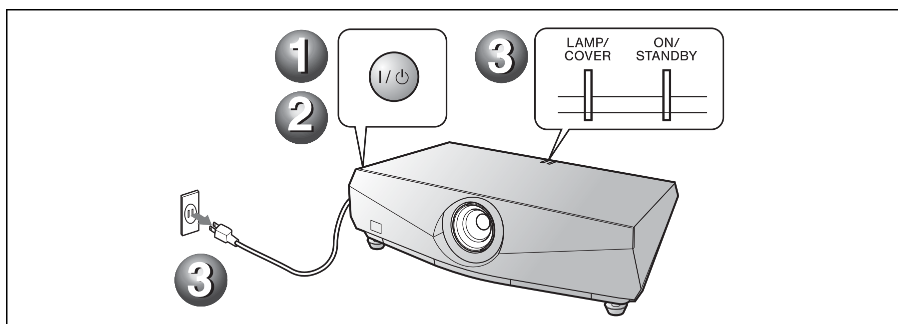
- Con il VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L non viene fornito l'obiettivo.
- Il VPLL-1008 non è dotato della funzione spostamento/zoom. Per regolare la messa a fuoco dell'immagine, ruotare la ghiera dell'obiettivo.

Spegnimento dell'alimentazione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (acceso/attesa).**

❷ **Quando appare un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻ (acceso/attesa).**

❸ **Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa di rete dopo che la ventola si è fermata e che la spia ON/STANDBY si è accesa in rosso.**



Sostituzione della lampada

La lampada che costituisce la sorgente di luce è un prodotto consumabile. Quindi deve essere sostituita con una lampada nuova nei casi che seguono.

- Quando la lampada è bruciata o poco luminosa
- Quando sullo schermo appare “Sostituire la lampada e pulire il filtro.”
- La spia LAMP/COVER lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)

La vita utile della lampada varia in funzione delle condizioni d’uso.
Come lampada di ricambio, usare la lampada per proiettore LMP-F270.
L’uso di qualsiasi altra lampada diversa dalla LMP-F270 potrebbe guastare il proiettore.

Attenzione

La lampada è ancora calda dopo aver spento il proiettore con il tasto I/⏻. **Toccando la lampada, ci si potrebbe ustionare le dita. Quando si sostituisce la lampada, aspettare almeno un’ora che si raffreddi.**

Note

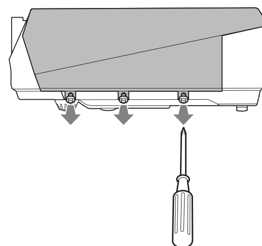
- Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale qualificato.
- Tirare fuori la lampada afferrando la manopola. Toccare la lampada potrebbe causare ustioni o lesioni.
- Tirare direttamente fuori la lampada prestando attenzione che rimanga orizzontale. Non inclinare la lampada. Se la lampada viene tirata fuori inclinata e si rompe, i frammenti potrebbero disperdersi, causando lesioni.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

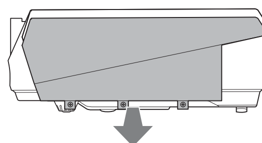
Nota

Quando si sostituisce la lampada dopo aver usato il proiettore, aspettare almeno un’ora che la lampada si raffreddi.

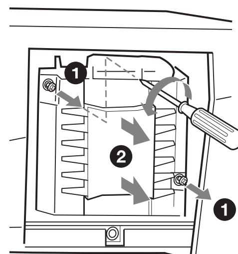
2 Aprire il coperchio della lampada svitando le tre viti con un cacciavite con punta a croce.



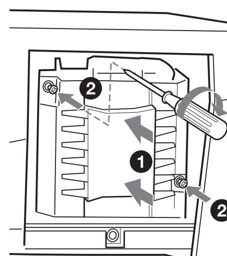
3 Smontare il coperchio della lampada sollevandolo in avanti con le dita sull’apertura del proiettore.



4 Usare un cacciavite con punta a croce per allentare le due viti sull’unità della lampada (❶), afferrare la manopola (❷), quindi tirare fuori l’unità della lampada.



5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione (❶). Serrare le due viti (❷).



Note

- Prestare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada.
- L'alimentazione non si accenderà se la lampada non è fissata correttamente.

6 Rimontare il coperchio della lampada nella posizione originale, quindi serrare le tre viti usando il cacciavite con punta a croce.

Nota

Aver cura di montare saldamente il coperchio della lampada come era in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

7 Collegare il cavo di alimentazione.
La spia ON/STANDBY si illumina in rosso.

8 Premere il tasto I/⏻ per accendere il proiettore.

9 Premere il tasto MENU, quindi selezionare il menu Impostazione.

10 Selezionare "Reimposta timer lampada", quindi premere il tasto ENTER.
Viene visualizzato un messaggio.

11 Selezionare "Sì", quindi premere il tasto ENTER.
Il timer della lampada è inizializzato a 0 e nella schermata di menu viene visualizzato "Timer lampada reimpostato!".

12 Selezionare "OK".

Attenzione

Non infilare le mani nella sede di sostituzione della lampada e fare in modo che non ci cadano dei liquidi o degli oggetti **per evitare scossa elettrica o incendio.**

Nota

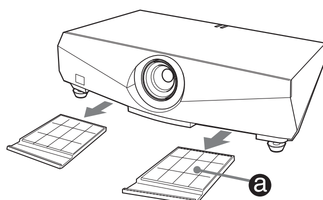
Per cancellare un messaggio, premere un tasto qualsiasi sul pannello di controllo del proiettore o sul telecomando.

Pulizia del filtro dell'aria

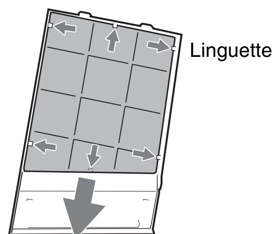
Il filtro dell'aria deve essere pulito ogni volta che si sostituisce la lampada.
Smontare il filtro dell'aria, quindi togliere la polvere con un aspirapolvere.
Il tempo necessario per pulire il filtro dell'aria dipende dall'ambiente o dall'uso del proiettore.

1 Spegnere l'alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Smontare i coperchi del filtro dell'aria.
Il filtro dell'aria del VPL-FX41/FW41 si trova solo su un lato ⓐ.



3 Liberare il filtro dell'aria da ciascuna linguetta (6 posizioni) sul relativo coperchio.



4 Pulire il filtro dell'aria con un aspirapolvere.

5 Montare il filtro dell'aria in modo che si inserisca in ciascuna delle linguette (6 posizioni) sul coperchio del filtro dell'aria e rimontare il coperchio.

Attenzione

Se il filtro dell'aria non viene pulito, la polvere potrebbe accumularsi e intasarlo. Conseguentemente, la temperatura all'interno dell'unità potrebbe salire e causare guasto o incendio.

Note

- Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell'aria, sostituirlo con un filtro nuovo.
  Per dettagli sul nuovo filtro dell'aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Prestare attenzione a montare saldamente il coperchio del filtro dell'aria: se non è chiuso completamente, non sarà possibile accendere l'alimentazione.
- Il filtro dell'aria ha un lato anteriore e un lato posteriore. Montare il filtro dell'aria in modo che le relative lamelle siano visibili.
- Per cancellare un messaggio, premere un tasto qualsiasi sul pannello di controllo del proiettore o sul telecomando.

Risoluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e correggere il problema con le seguenti istruzioni. Se il problema permane, rivolgersi a personale Sony qualificato.
Per dettagli sui sintomi, vedere le istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e rimedio
L'alimentazione non si accende.	• L'alimentazione è stata spenta e accesa poco dopo con il tasto I / ⏻. ➔ Attendere circa 60 secondi prima di accendere l'alimentazione. • Il coperchio della lampada è staccato. ➔ Chiudere completamente il coperchio della lampada. • Il coperchio del filtro dell'aria è staccato. ➔ Chiudere saldamente il coperchio del filtro dell'aria.

Immagine

Sintomo	Causa e rimedio
Nessuna immagine.	• Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Verificare che siano stati effettuati i collegamenti corretti. • La selezione dell'ingresso è errata. ➔ Selezionare correttamente la sorgente di ingresso con il tasto INPUT. • L'immagine è disattivata. ➔ Premere il tasto PIC MUTING per annullare la disattivazione dell'immagine. • Il segnale dal computer non è stato impostato per la visualizzazione su monitor esterno, oppure è stato impostato per la visualizzazione sia su un monitor esterno, sia sul monitor LCD del computer. ➔ Impostare il segnale del computer per la visualizzazione solo su un monitor esterno. ➔ In funzione del tipo di computer utilizzato, per esempio un notebook, o un modello con LCD incorporato, potrebbe essere necessario impostare il computer in modo che visualizzi sul proiettore premendo dei tasti particolari o cambiando le impostazioni del computer. Per i dettagli, fare riferimento alle istruzioni d'uso fornite con il computer.
L'immagine è rumorosa.	Potrebbe presentarsi del rumore sullo sfondo in funzione del rapporto fra il numero di punti del segnale in ingresso sul connettore e il numero di pixel del pannello LCD. ➔ Cambiare l'impostazione del desktop del computer collegato.
L'immagine non è nitida.	• L'immagine è sfocata. ➔ Regolare la messa a fuoco. • Si è depositata della condensazione sull'obiettivo. ➔ Lasciare il proiettore acceso per circa due ore.

Sintomo	Causa e rimedio
L’immagine si estende oltre lo schermo.	È stato premuto il tasto APA nonostante ci siano dei bordi neri intorno all’immagine. → Visualizzare sullo schermo l’immagine completa e premere il tasto APA. → Regolare correttamente “Spostamento” nel menu Schermo.
L’immagine sfarfalla.	“Fase” nel menu Schermo non è stato regolato correttamente. → Regolare correttamente “Fase” nel menu Schermo.

Spie

Messaggio	Significato e rimedio
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	Il coperchio della lampada oppure il coperchio del filtro dell’aria è staccato. → Montare saldamente il coperchio.
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)	• La lampada ha raggiunto il termine della vita utile. → Sostituire la lampada. • La lampada ha raggiunto una temperatura elevata. → Attendere 60 secondi che la lampada si raffreddi, quindi riaccendere l’alimentazione.
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• La temperatura interna è insolitamente elevata. → Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Il proiettore è utilizzato a una quota elevata. → Verificare che “Modo quota el.:” nel menu Impostazione sia impostato su “Inser.”.
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 4 lampeggi)	La ventola è guasta. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
ON/STANDBY lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 6 lampeggi)	Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro dopo che la spia ON/STANDBY si è spenta, inserire il cavo di alimentazione nella presa a muro, quindi riaccendere il proiettore. Se la spia ON/STANDBY lampeggia in rosso e il problema permane, si è verificato un guasto nel circuito elettrico. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 pannelli LCD, 1 obiettivo, sistema ad otturatore a tre colori primari

Panello LCD VPL-FE40: pannello SXGA+ da 0,79 pollici (20,1 mm), 4.410.000 pixel (1400 × 1050 × 3)
VPL-FX40/FX41: pannello XGA da 0,79 pollici (20,1 mm), 2.359.296 pixel (1024 × 768 × 3)
VPL-FW41: pannello WXGA da 0,75 pollici (19,1 mm), 3.072.000 pixel (1280 × 800 × 3)

Obiettivo obiettivo zoom da 1,3 ingrandimenti (asservito)
* Con il VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L non viene fornito l'obiettivo.

Lampada lampada ad altissima pressione di 275 W

Dimensione dell'immagine proiettata
da 40 a 600 pollici (1.016 a 15.240 mm) (Quando si usa il VPLL-1008: da 60 a 300 pollici (1.524 a 7.620 mm))

Flusso luminoso
VPL-FE40/FX40: 4000 lumen ANSI
VPL-FX41: 5200 lumen ANSI
VPL-FW41: 4500 lumen ANSI
(quando modo lampada è impostato su "Alto".)

Distanza di proiezione (quando sistemato sul pavimento.)
VPL-FE40/FX40/FX41:
(quando il segnale di ingresso è SXGA+ (VPL-FE40)/XGA (VPL-FX40/FX41))
40 pollici (1.016 mm): da 1,5 a 1,9 m
60 pollici (1.524 mm): da 2,3 a 2,9 m
80 pollici (2.032 mm): da 3,0 a 3,9 m
100 pollici (2.540 mm): da 3,8 a 4,8 m
150 pollici (3.810 mm): da 5,7 a 7,3 m
200 pollici (5.080 mm): da 7,7 a 9,7 m
300 pollici (7.620 mm): da 11,6 a 14,6 m
400 pollici (10.160 mm): da 15,4 a 19,5 m
500 pollici (12.700 mm): da 19,3 a 24,4 m
600 pollici (15.240 mm): da 23,2 a 29,4 m

VPL-FW41:
(quando "Formato" nel menu Schermo è impostato su "Pieno 2" o "Pieno")
40 pollici (1.016 mm): da 1,6 a 2,0 m
60 pollici (1.524 mm): da 2,4 a 3,0 m
80 pollici (2.032 mm): da 3,2 a 4,1 m
100 pollici (2.540 mm): da 4,0 a 5,1 m
120 pollici (3.048 mm): da 4,8 a 6,1 m
150 pollici (3.810 mm): da 6,0 a 7,7 m
200 pollici (5.080 mm): da 8,1 a 10,2 m
300 pollici (7.620 mm): da 12,1 a 15,4 m
400 pollici (10.160 mm): da 16,2 a 20,5 m
500 pollici (12.700 mm): da 20,2 a 25,7 m
600 pollici (15.240 mm): da 24,3 a 30,8 m

Potrebbe esserci una piccola differenza fra il valore effettivo e il valore di progetto precedentemente indicato.

Sistema colore
sistema NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, commutato automaticamente/manualmente

Segnali da computer compatibili
fH: da 19 a 92 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(massima risoluzione del segnale di ingresso: UXGA 1600 × 1200 fV: 60 Hz)

Segnale video compatibile
15k RGB 50/60 Hz, componente progressivo 50/60 Hz, DTV, video composito, video Y/C

Dimensioni 532 × 145 × 352 mm (l/a/p) (senza le parti sporgenti)

Massa circa 9,8 kg (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
circa 9,0 kg (VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L)

Requisiti di alimentazione
da 100 a 240 V c.a., da 4,1 a 1,7 A, 50/60 Hz
Potenza assorbita
Max. 400 W
(in modo di attesa (standard): 15 W, in modo di attesa (bassa): 0,5 W)
Accessori forniti
Telecomando (1)
Batterie formato AA (R6) (2)
Coperchio dell'obiettivo (1) (VPL-FE40/FX40/FX41/FW41)
Coperchio foro obiettivo (1) (VPL-FE40L/FX40LFX41L/FW41L)
Cavo di alimentazione c.a. (1)
CD-ROM (Istruzioni d'uso, software applicativo) (1)
Guida rapida all'uso (1)
Normative di sicurezza (1)
Targhetta di sicurezza (1)

Il design e le caratteristiche tecniche dell'unità, inclusi gli accessori opzionali, sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Accessori opzionali

Lampada del proiettore
LMP-F270 (ricambio)
Supporto per appendere il proiettore
PSS-610
Strumento di presentazione
RM-PJPK1
Obiettivo di proiezione
Obiettivo di lunghezza focale fissa corta VPLL-1008
Obiettivo di lunghezza focale zoom corta VPLL-Z1014
Obiettivo zoom di lunghezza focale media VPLL-Z1024
Obiettivo zoom di lunghezza focale lunga VPLL-Z1032

Non tutti gli accessori opzionali sono disponibili in tutte le nazioni e aree geografiche.
Consultare il proprio rivenditore autorizzato Sony.

关于随机附带的手册

本机附带有下列手册和软件。
在 Macintosh 系统上，您只能阅读使用说明书和经销商用安装说明书。

手册

安全规则 （另行印刷的手册）

本手册记述了在操作和使用本投影机时您必须注意的重要注意事项和警告。

快速参考手册 （本手册）

本手册介绍进行所需的连接以后投影图像时的基本操作。

使用说明书 （在 CD-ROM 上）

本使用说明书记述了本投影机的设置和操作方法。

使用说明书用于网络 （在 CD-ROM 上）

本使用说明书记述了如何设置和操作网络发表。

经销商用安装说明书 （在 CD-ROM 上）

本手册介绍在投影机上安装选购镜头以及安装投影机的信息。

软件 （在 CD-ROM 中）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（仅限于日语和英语）

这是一个用来从电脑向投影机传输数据用的应用程序软件。

关于快速参考手册

本快速参考手册介绍本机的连接方法和基本操作方法，并提供有关操作的注意事项和维护用信息。
有关操作的详细信息，请参见附带的 CD-ROM 上的使用说明书。
有关安全注意事项，请参见另行提供的 "安全规则"。

除非在注释中另有说明，本手册中所述的 VPL-FE40 指的是 VPL-FE40 和 VPL-FE40L 两种机型，VPL-FX40 指的是 VPL-FX40 和 VPL-FX40L 两种机型，VPL-FX41 指的是 VPL-FX41 和 VPL-FX41L 两种机型，VPL-FW41 指的是 VPL-FW41 和 VPL-FW41L 两种机型。

使用 CD-ROM 手册

附带的 CD-ROM 中含有日语、英语、法语、德语、意大利语、西班牙语、汉语和俄语版本的使用说明书、ReadMe 文件和经销商用安装说明书。首先请阅读 ReadMe 文件。

准备工作

若要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，需要有 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，可以从 Adobe Systems 的网站免费下载 Acrobat Reader 软件。

要阅读使用说明书

使用说明书包含在附带的 CD-ROM 中。
将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，片刻后 CD-ROM 会自动启动。 选择您想要阅读的使用说明书。
根据电脑的不同，CD-ROM 可能不会自动启动。这种情况下，请按以下步骤打开使用说明书的文件：

（使用 Windows 时）

① 打开 “My Computer”。

② 右击 CD-ROM 图标并选择 “Explorer”。

③ 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

（使用 Macintosh 时）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

注

如果无法打开 “index.htm” 文件，在 “Operating_Instructions” 文件夹中双击您想要阅读的使用说明书。

关于商标

- Windows 是 Microsoft 公司在美国和 / 或其他国家（或地区）的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Inc. 在美国和 / 或其他国家的注册商标。
- Adobe 和 Acrobat Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和 / 或其他国家的注册商标。

所有其他商标或注册商标均为其特定持有人的商标或注册商标。本手册中， ™ 和 ® 标记并非特指。

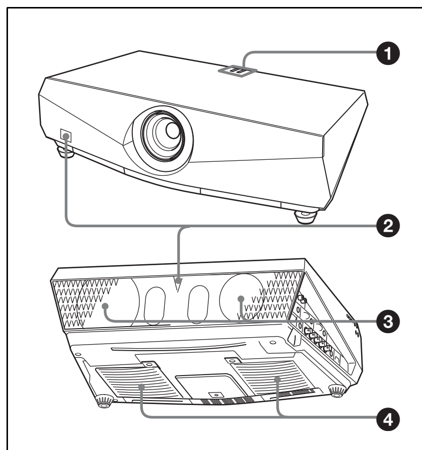
CS

使用须知

关于通风孔的注意事项

请勿堵塞通风孔 （排气 / 进气）。如果通风孔堵塞，可能会造成内部蓄热并引起火灾或导致本机受损。
请在以下图示中查看通风孔的位置。

有关其他注意事项，请仔细阅读另行提供的 “安全规则”。



❶ 指示灯

❷ 遥控检测器

❸ 通风孔 （排气）

❹ 通风孔 （进气）
VPL-FX41/FW41 的通风孔 （进气）仅位于一侧。

投影

连接投影机

当连接投影机时，务必确认：

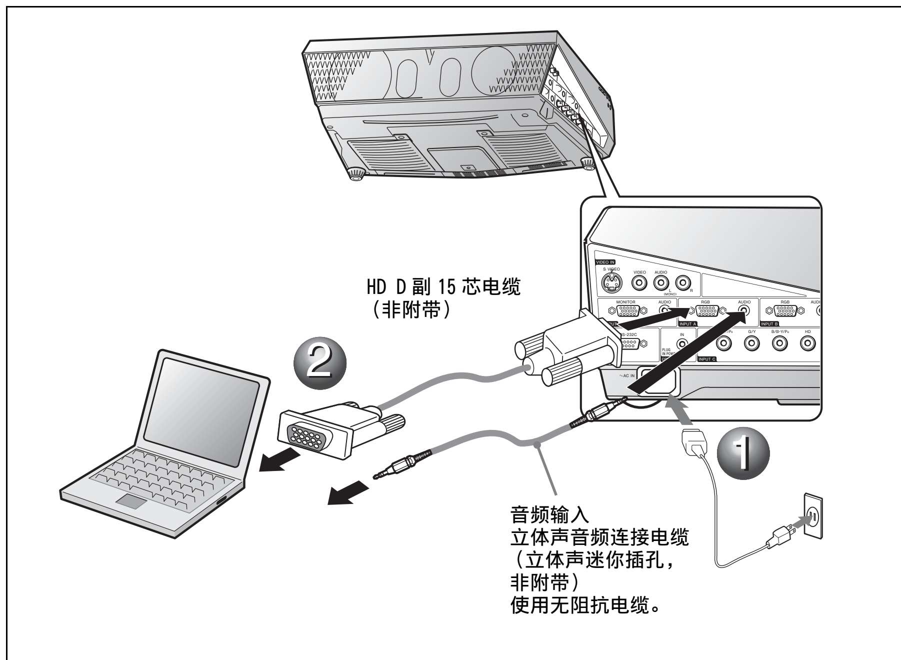
- 进行任何连接前关闭所有设备。
- 正确使用各连接用的电缆。
- 插紧电缆插头。在拔出电缆时，务必拔插头，不可拉扯电缆本身。

也请参见要连接的设备的使用说明书。

要连接电脑时 （模拟）

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

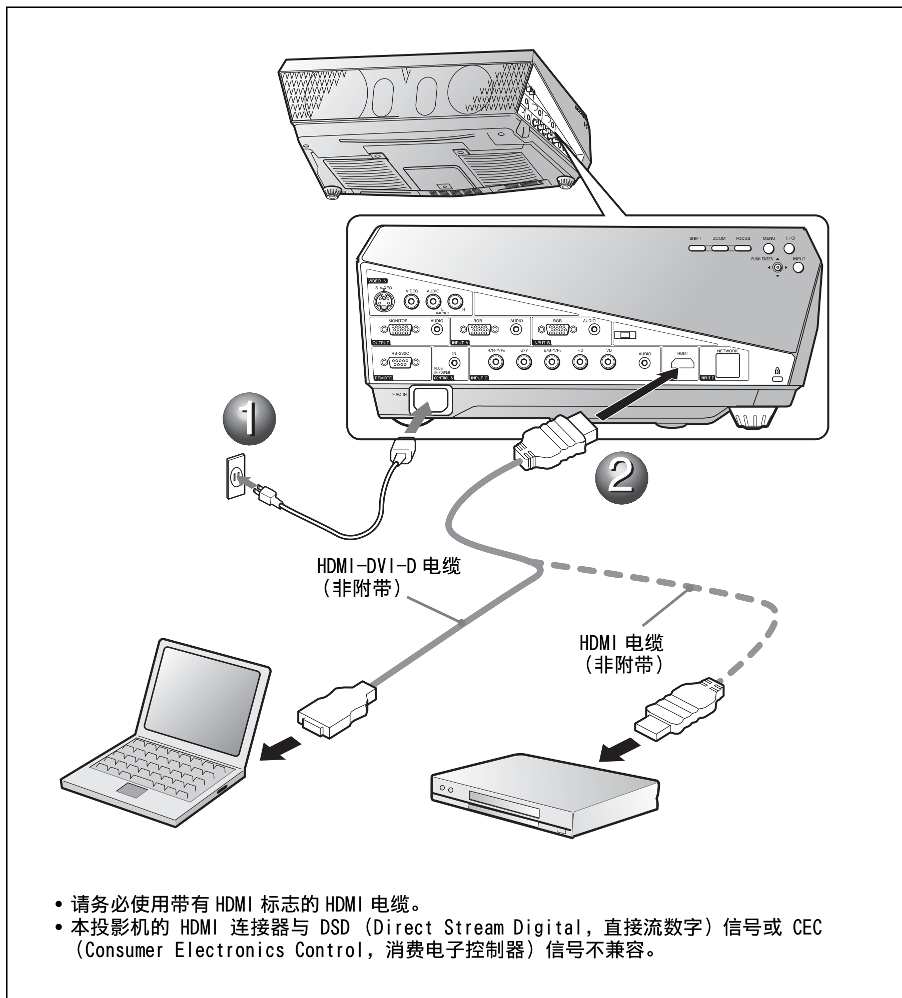
❷ 连接投影机至电脑。



要连接电脑（数码）或视频设备（数码）时

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

❷ 连接投影机至电脑或视频设备。

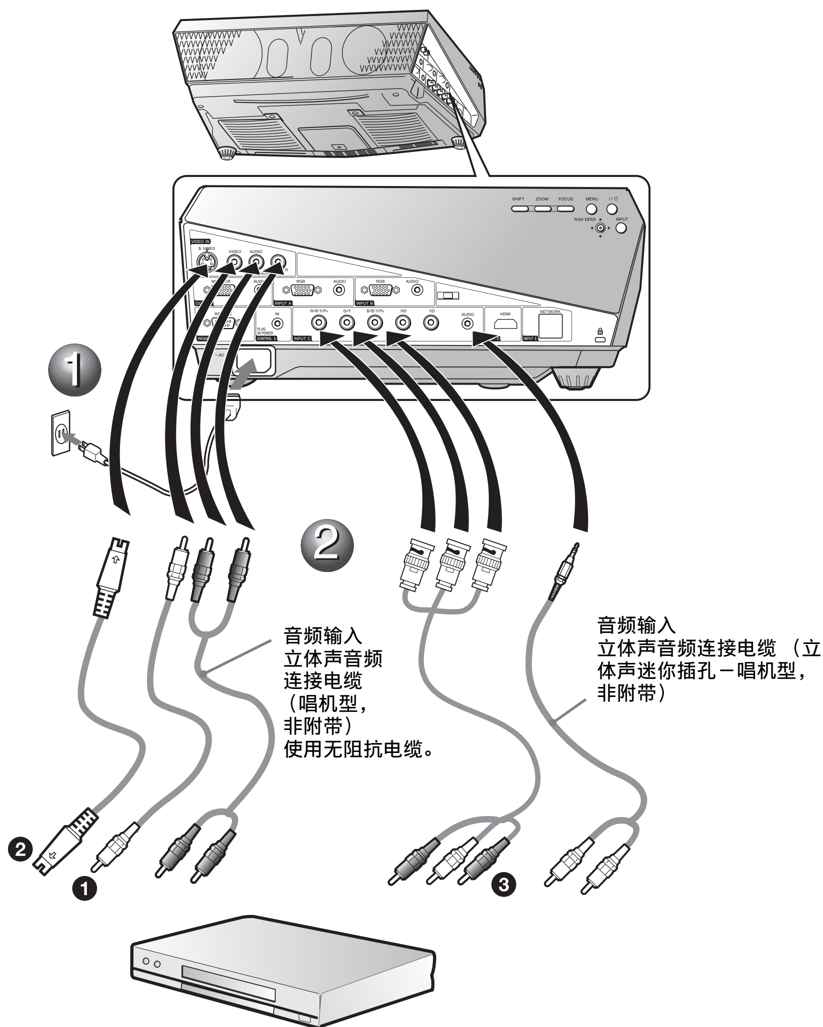


- 请务必使用带有 HDMI 标志的 HDMI 电缆。
- 本投影机的 HDMI 连接器与 DSD（Direct Stream Digital，直接流数字）信号或 CEC（Consumer Electronics Control，消费电子控制器）信号不兼容。

要连接 VCR/DVD 播放机时

❶ 将交流电源线插入墙上电源插座。

❷ 连接投影机至视频设备。



对于视频信号连接，可以采用以下三种连接方式：

❶ 复合视频 （唱机插头）电缆 （非附带）

❷ S 视频 （微型 DIN 4 芯）电缆 （非附带）

❸ 分量 （BNC × 3）电缆 （非附带）（使用无阻抗电缆。）

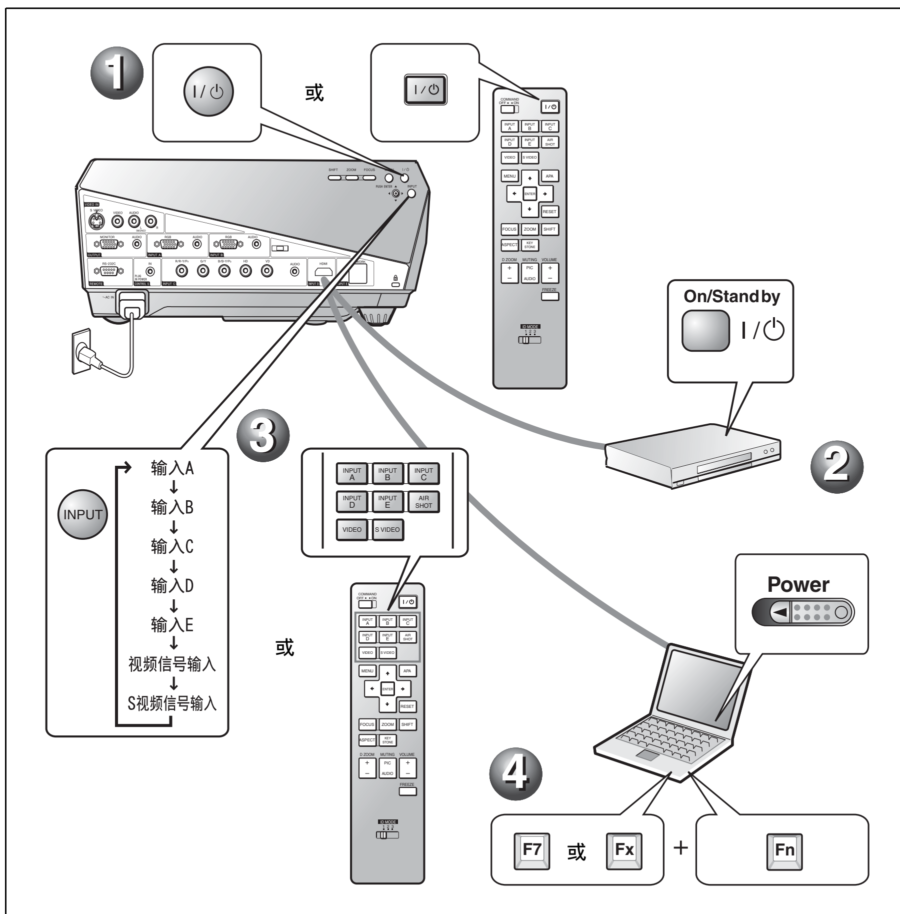
投影

❶ 按 I/⏻ （接通 / 待机）键。

❷ 打开与投影机相连的设备。

❸ 按遥控器上或控制面板上的 INPUT 键选择输入源。

❹ 当连接电脑时，请将其设定为仅向外接显示器输出信号。

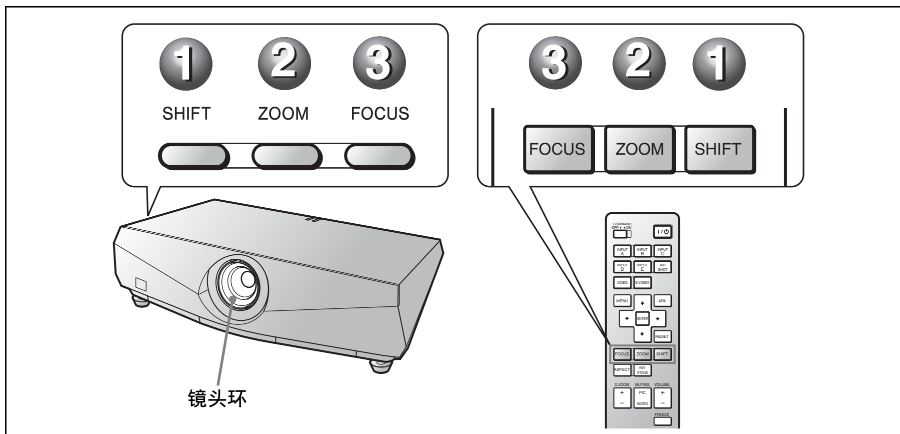


调整投影机

❶ 调整图像的上方、下方、左侧或右侧的位置。

❷ 调整图像尺寸。

❸ 调整对焦。
本投影机装备有用来选择图像模式的图像设定菜单和用来选择适当的图像纵横比的屏幕设定菜单。



注

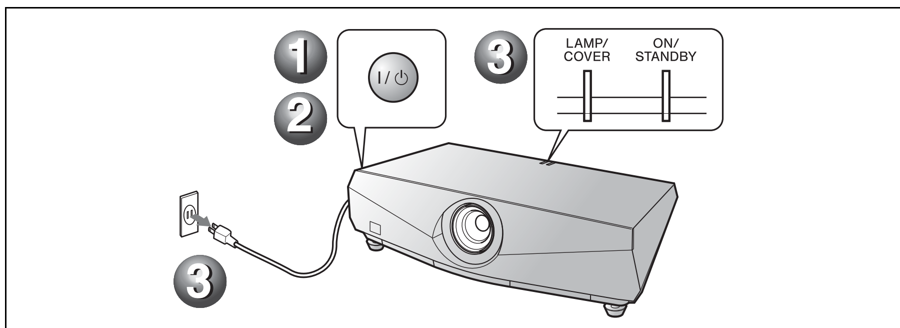
- VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L 未附带镜头。
- VPLL-1008 没有移位／放大功能。 若要调整图像的聚焦，请转动镜头环。

关闭电源

❶ 按 I/⏻ （接通 / 待机）键。

❷ 当出现信息时，再次按 I/⏻ （接通 / 待机）键。

❸ 在冷却扇停止运转且ON/STANDBY指示灯点亮呈红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。



更换投影灯

光源所使用的投影灯是消耗品。 因此，在下述情况下请更换新的投影灯。

- 投影灯烧坏或变暗时
- 屏幕上出现 “请更换投影灯并清洁滤网 .”
- LAMP/COVER 指示灯以红色闪烁。（以 3 次闪烁为一个循环）

投影灯的寿命根据使用条件不同而不同。

请用 LMP-F270 投影机用投影灯进行更换。

使用 LMP-F270 以外的任何其它投影灯均可能造成投影机损坏。

注意

用 I/⏻ 键关闭投影机电源后，投影灯的温度仍然很高。**如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。 更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。**

注

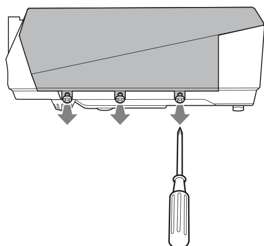
- 如果投影灯损坏，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 握住突起部将投影灯拉出。如果触摸投影灯，可能会被烫伤或受伤。
- 拆下投影灯时，令投影灯处于水平状态，然后将其径直拉出。请勿倾斜投影灯。 如果在倾斜状态下拉出投影灯，万一投影灯损坏，碎片可能散落并导致人身伤害。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔下交流电源线。

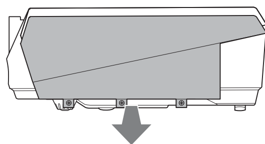
注

在使用投影机后更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。

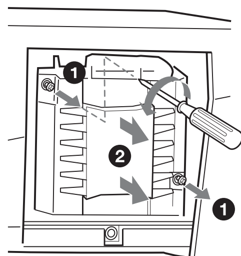
2 用十字螺丝刀拧松 3 个螺丝，打开投影灯盖。



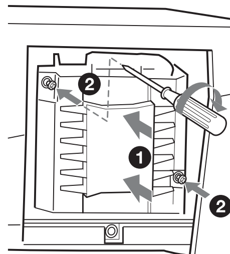
3 将手指放在投影机的缝隙处向前掀起投影灯盖将其取下。



4 用十字螺丝刀拧松投影灯单元上的两个螺丝 （❶），握住突起部 （❷），然后将投影灯单元拉出。



5 将新的投影灯完全插入，使其固定到位置 （❶）。拧紧两个螺丝 （❷）。



注

- 小心不要触摸投影灯的玻璃表面。
- 如果投影灯没有完全固定好，将无法接通电源。

6 将投影灯盖放回原位并用十字螺丝刀拧紧三个螺丝。

注

务必关严投影灯盖使其恢复原状。 否则，无法接通投影机的电源。

7 连接电源线。
ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色。

8 按 I/⏻ 键接通投影机的电源。

9 按 MENU 键，然后选择设置菜单。

10 选择 “重设投影灯操作时间”，然后按 ENTER 键。
显示一条信息。

11 选择 “是”，然后按 ENTER 键。
投影灯操作时间被初始化为 0，并在菜单画面上显示 “投影灯操作时间重设完毕！”。

12 选择 “确定”。

注意

请勿将手放进投影灯更换插槽，也不要让任何液体或其它物品落入插槽内，**以免触电或发生火灾。**

注

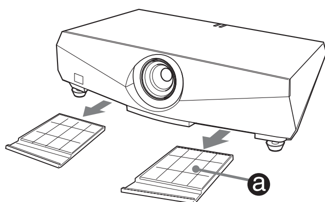
要删除信息时，按投影机控制面板或遥控器上的任意键。

清洁空气滤网

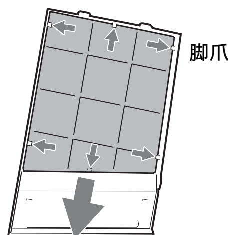
请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。
拆下空气滤网，然后用真空吸尘器清除灰尘。
清洁空气滤网所需的时间根据投影机的使用环境或使用方法而异。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 拆下个空气滤网盖。
VPL-FX41/FW41 的空气滤网仅位于一侧 ⓐ。



3 从空气滤网盖上的每个角爪 （6 处）内拆下空气滤网。



4 用真空吸尘器清洁空气滤网。

5 将空气滤网安装固定在空气滤网盖上的每个脚爪内 （6 处），然后将盖放回原位。

注意

如果疏忽了清洗空气滤网，灰尘会聚积并堵塞滤网。 这种情况下，装置内部的温度会升高，可能导致故障或火灾。

注

- 如果无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。
  有关新的空气滤网的详情，请与 Sony 专业技术人员咨询。
- 务必牢固安装空气滤网盖；如果空气滤网盖没有关严，则无法接通电源。
- 空气滤网有正面和反面。 安装空气滤网时，可以看到空气滤网上的框架。
- 要删除信息时，按投影机控制面板或遥控器上的任意键。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。 如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
有关症状的详细信息，请参见 CD-ROM 上的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	• 用 I/⏻ 键以很短的间隔关闭和接通了电源。 ➔ 接通电源之前请等候约 60 秒钟。 • 投影灯盖松脱。 ➔ 关严投影灯盖。 • 空气滤网盖脱落。 ➔ 关严空气滤网盖。

图像

症状	原因和对策
无图像。	• 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 输入选择不正确。 ➔ 使用 INPUT 键选择正确的输入信号源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键解除图像消除功能。 • 电脑信号未被设定为向外部显示器输出，或被设定为同时向外部显示器和电脑 LCD 显示器输出。 ➔ 将电脑的信号设定为仅向外部显示器输出。 ➔ 根据电脑类型的不同，例如笔记本型或一体型 LCD，可能必须通过按某个键或改变电脑设定来切换电脑的输出，以便向投影机输出信号。 有关详细信息，请参见随电脑附带的电脑使用说明书。
图像有杂讯。	根据由连接器输入的点数和 LCD 面板上的像素数的组合，背景上可能会出现杂讯。 ➔ 改变所连接的电脑的桌面图案。
图像不清晰。	• 图像未聚焦。 ➔ 调整对焦。 • 镜头上有水气凝聚。 ➔ 接通投影机电源并放置约 2 小时。
影像超出屏幕。	尽管按下 APA 键，影像周围仍有黑边。 ➔ 在屏幕上显示完整影像并按 APA 键。 ➔ 正确调整屏幕设定菜单上的 “移位”。
图像闪动。	没有正确地调整屏幕设定菜单上的 “相位”。 ➔ 正确调整屏幕设定菜单上的 “相位”。

指示灯

信息	含义和对策
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。(以 2 次闪烁为一个循环)	投影灯盖或空气滤网盖脱落。 ➔ 将盖装严。
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。(以 3 次闪烁为一个循环)	• 投影灯达到了使用寿命。 ➔ 更换投影灯。 • 投影灯的温度过高。 ➔ 请等候 60 秒钟让投影灯冷却，然后再次接通电源。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。(以 2 次闪烁为一个循环)	• 内部温度异常升高。 ➔ 检查通风孔是否堵塞。 • 在高海拔地区使用投影机。 ➔ 请务必确认设置菜单上的 “高海拔高度模式” 设定为 “开”。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。 (以 4 次闪烁为一个循环)	冷却扇损坏。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁。 (以 6 次闪烁为一个循环)	在 ON/STANDBY 指示灯熄灭后，从墙上电源插座拔下交流电源线，将电源线插进墙上电源插座，然后重新接通投影机电源。如果 ON/STANDBY 指示灯以红色闪烁并且该状态持续，说明电气系统有故障。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

规格

投影系统　3 LCD 面板，1 镜头，3 原色快门系统

LCD 面板　VPL-FE40：0.79 英寸（20.1 mm）SXGA+ 面板，4410000 像素（1400 × 1050 × 3）
VPL-FX40/FX41：0.79 英寸（20.1 mm）XGA 面板，2359296 像素（1024 × 768 × 3）
VPL-FW41：0.75 英寸（19.1 mm）WXGA 面板，3072000 像素（1280 × 800 × 3）

镜头　1.3 倍变焦镜头（电动驱动）
* VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L 未附带镜头。

投影灯　275 W 超高压投影灯泡

投影图像的尺寸（对角线测量）
40 至 600 英寸（1,016 至 15,240 mm）（当使用 VPLL-1008 时：60 至 300 英寸（1,524 至 7,620 mm））

光输出　VPL-FE40/FX40：4000 ANSI 流明
VPL-FX41：5200 ANSI 流明
VPL-FW41：4500 ANSI 流明
（当投影灯模式设置为“高”时。）

投射距离（安装在地板上时。）
VPL-FE40/FX40/FX41:
（当输入 SXGA+（VPL-FE40）/XGA（VPL-FX40/FX41）信号时）
40 英寸（1,016 mm）：1.5 至 1.9 m
60 英寸（1,524 mm）：2.3 至 2.9 m
80 英寸（2,032 mm）：3.0 至 3.9 m
100 英寸（2,540 mm）：3.8 至 4.8 m
150 英寸（3,810 mm）：5.7 至 7.3 m
200 英寸（5,080 mm）：7.7 至 9.7 m
300 英寸（7,620 mm）：11.6 至 14.6 m
400 英寸（10,160 mm）：15.4 至 19.5 m
500 英寸（12,700 mm）：19.3 至 24.4 m
600 英寸（15,240 mm）：23.2 至 29.4 m

VPL-FW41:
（当“屏幕设定”菜单上的“纵横比”被设定为“全屏幕 2”或“全屏幕”时）
40 英寸（1,016 mm）：1.6 至 2.0 m
60 英寸（1,524 mm）：2.4 至 3.0 m
80 英寸（2,032 mm）：3.2 至 4.1 m
100 英寸（2,540 mm）：4.0 至 5.1 m
120 英寸（3,048 mm）：4.8 至 6.1 m
150 英寸（3,810 mm）：6.0 至 7.7 m
200 英寸（5,080 mm）：8.1 至 10.2 m
300 英寸（7,620 mm）：12.1 至 15.4 m
400 英寸（10,160 mm）：16.2 至 20.5 m
500 英寸（12,700 mm）：20.2 至 25.7 m
600 英寸（15,240 mm）：24.3 至 30.8 m

实际值与上面显示的设计值之间可能微有差异。

彩色制式　NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 系统，自动 / 手动切换

可接收的电脑信号
fH：19 至 92 kHz
fV：48 至 92 Hz
（最大输入信号分辨率：UXGA 1600 × 1200 fV：60Hz）

兼容视频信号
15k RGB 50/60Hz，
逐级分量 50/60 Hz，DTV，复合视频，Y/C 视频

尺寸　532 × 145 × 352 mm（宽 / 高 / 深）（不包括突出部分）

重量　约 9.8 kg（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41）
约 9.0 kg（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L）

电源要求　交流 100 至 240 V，4.1 至 1.7 A，50/60 Hz

功耗　最大 400 W
（待机状态时（标准）：15 W，待机状态时（低）：0.5 W）

随机附件　遥控器（1）
AA（R6）尺寸电池（2）
镜头盖（1）（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41）
镜头孔盖（1）（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L）

交流电源线 （1）
CD-ROM （使用说明书，应用程序软件）（1）
快速参考手册 （1）
安全规则（1）
安全标签 （1）

本机的设计和规格 （包括选购附件）如有变更，恕不另行通知。

选购附件

投影灯 LMP-F270 （更换用）
投影机悬挂支架
PSS-610
发表工具 RM-PJPK1
投影镜头 固定短焦距镜头
VPLL-1008
短焦距变焦镜头
VPLL-Z1014
中焦距变焦镜头
VPLL-Z1024
长焦距变焦镜头
VPLL-Z1032

不是在所有国家和地区都有全部选购附件供货。请向当地 Sony 经销商查询。